JAZZ IMPROVISATION

OSCAR PETERSON JAZZ PIANO SOLOS

Transcriptions & Adaptations
from the Original Recordings

Transcribed & Adapted by KAYO MATSUNOBU

オスカー・ピーターソン・ジャズ・ピアノ・ソロ 1

NICHION PUBLICATIONS INC.

JAZZ IMPROVISATION

OSCAR PETERSON JAZZ PIANO SOLOS

Transcriptions & Adaptations
from the Original Recordings

Transcribed & Adapted by KAYO MATSUNOBU

オスカー・ピーターソン・ジャズ・ピアノ・ソロ 1

All rights reserved by Nichion Publications Inc.
No part of this work may be reproduced or
transmitted in any form by any means.

NICHION PUBLICATIONS INC.

使用レコード一覧

〈1981年1月現在〉

NIGHT TRAIN
《ナイト・トレイン》

MV - 2063
POLYDOR (VERVE)

1. Night Train
2. C Jam Blues
3. Georgia On My Mind
4. Bag's Groove
5. Moten Swing
6. Easy Does It

1. Honey Dripper
2. Things Ain't What They Used To Be
3. I Got It Bad And That Ain't Good
4. Band Call
5. Hymn To Freedom

MY FAVORITE INSTRUMENT
《オスカー・ピーターソン・ソロ!!》

UPS - 2116
TEICHIKU (MPS)

1. Someone To Watch Over Me
2. Perdido
3. Body And Soul
4. Who Can I Turn To

1. Bye, Bye Blackbird
2. I Should Care
3. Lulu's Back In Town
4. Little Girl Blue
5. Take The 'A' Train

TRISTEZA
《オスカー・ピーターソンの新しい世界》

UPS - 2121
TEICHIKU (MPS)

1. Tristeza
2. Nightingale
3. Porgy
4. Triste

1. You Stepped Out Of A Dream
2. Watch What Happens
3. Down Here On The Ground
4. Fly Me To The Moon

JAZZ IMPROVISATION

OSCAR PETERSON JAZZ PIANO SOLOS

Contents

●タイトル	●ページ ピアノ/ベース ドラム	●使用レコード	●使用バンド
NIGHT TRAIN	12/81	Night Train	A-1
C JAM BLUES	17/83	Night Train	A-2
GEORGIA ON MY MIND	21/86	Night Train	A-3
BAG'S GROOVE	25/88	Night Train	A-4
I GOT IT BAD AND THAT AIN'T GOOD	30/90	Night Train	B-3
PERDIDO	37	My Favorite Instrument	A-2
BODY AND SOUL	50	My Favorite Instrument	A-3
WHO CAN I TURN TO	55	My Favorite Instrument	A-4
TAKE THE 'A' TRAIN	65	My Favorite Instrument	B-5
TRISTEZA	72/92	Tristeza	A-1

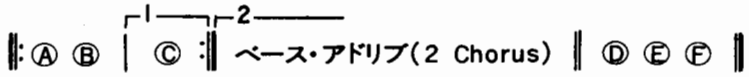
○資料提供：テイチク㈱, ポリドール㈱　浄書：長迫政親　写譜：伊東由隆

演 奏 解 説

NIGHT TRAIN
〈ナイト・トレイン〉

原曲はブルー・ノートをふんだんに使った恐ろしくブルージーなブルースで，1952年，ルイス・シンプキンス／オスカー・ワシントン作詞，ジミー・フォレスト作曲。

トリルとグリス・ダウンにスウィンギーなシンコペーションを加え，変化に富んだⒶとファンキーでリズミカルなⒷ，そしてⒸではピアノのオクターブ・ユニゾンをベースのブレイクでふちどり，そのままアドリブに持ち込んでいる。この後，レコードでは次の進行になる。



しかし，本書ではリピート部分とベースのアドリブ2コーラスは割愛させていただいた。Ⓓではブギウギ・スタイル，Ⓔではビッグ・バンドでいうテュッティ風に，というように12小節を最小単位として，すべてのコーラスに違った性格を与えた構成は実に楽しい。

Composed; Jimmy Forrest, Oscar Washington, Lewis Simpkins
Album; Night Train
Polydor (Verve) MV - 2063 Side A - 1
Rec; 1962/12/15,16
Personel; .....

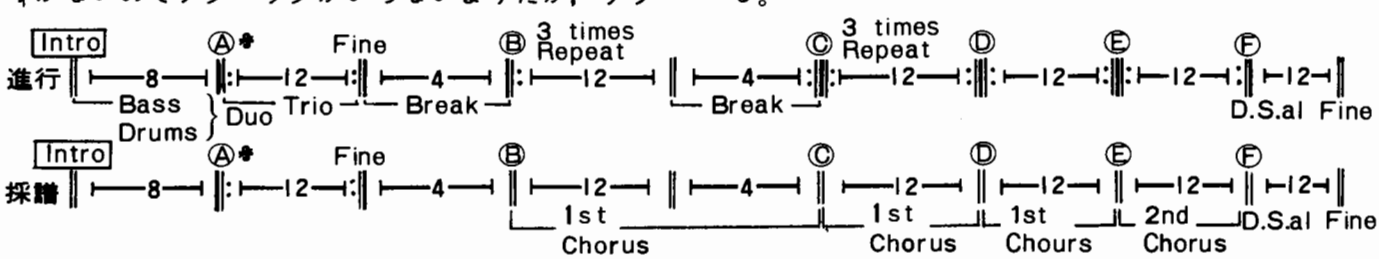
Oscar Peterson	Piano
Ray Brown	Bass
Ed Thigpen	Drums

C JAM BLUES
〈Cジャム・ブルース〉

デューク・エリントンの作品をピーターソンはたびたび演奏しているのだが，オーケストラの編成で行なわれた曲を，そのままの雰囲気で演奏できる楽器はなんといってもピアノしかないだろう。また10指をオーケストラの管1本1本として使えるピアニストの数は少ない。そういった意味で，この演奏の価値は非常に高いものだといえる。このアルバムでは原曲のとおりCという最も単純なゆえに難しいチューンを選んでいるが，しばしば別のテイクではC以外で演奏しているようだ。Cは実際厄介な♭や♮がないのでテクニックがいらないようだが，サウンドという点で単純過ぎてスリル感が出にくい，面白味がないといった問題がある。

テーマをGとCの音だけで構成するとは何と素敵な発想だろうか。エリントンは多分GとCもいらなかったに違いない。あのリズム・パターンを強調するための音符だったのではないだろうか。

当時のピーターソンはこういった内容の曲に対する理解が深く，調理方法も実に巧みで，彼にとっては作り易い素材だったことは，編曲になかなか凝っていることでもうかがえる。進行は次のとおりである。



レイ・ブラウンとエド・シグペンのデュオによるイントロにピーターソンを加えたⒶのテーマの提示，そしてアドリブに続くのだが，Ⓑではベースとドラムの4小節ブレイクを仕掛け，その4小節にポイントを置くために前の12小節はわりに無難にこなしている。速いテンポのブレイクと違い，ここでのブレイクはアドリブによる加熱に文字どおりブレーキをかけるため，全体的に冷静なブレイになる。このブロックは1stコーラスのみ記譜した。Ⓒでブレイクの仕掛けをはずして，のってきたところをⒹの2小節単位のリフの強調で一気に盛り上げるわけである。記譜はⒸⒹとも1stコーラスのみ。盛り上がったところで再びアドリブに入り，Ⓕではテーマに戻すための伏線として演奏される。Ⓔの記譜は2ndコーラスのみ。

以上のように計算的な曲の作り方は，クラシックの経験と，デューク・エリントン楽団などのオーケストレイション的発想によるものと思って良いだろう。

Composed; Duke Ellington
Album; Night Train
Polydor (Verve) MV - 2063 Side A - 2
Rec; 1962/12/15,16
Personel; .....

Oscar Peterson	Piano
Ray Brown	Bass
Ed Thigpen	Drums

GEORGIA ON MY MIND

《ジョージアを想いて》

地に腰を落ち着けたようなゆったりとしたバラードで，彼の黒人としての郷愁を心行くまで歌い尽くせる格好の素材である。ピーターソンは大衆に受け入れられなければ意味が無いといった主義のもとに選曲するために，スタンダードが作品のほとんどを占め，アルバム“NIGHT TRAIN”でも“Hymn To Freedom”のみオリジナル作品のはずである。しかし比較的新しい，例えば1973年のペデルセン，ジョー・パスとの作品では，A面2曲ともピーターソンのオリジナルによるもので，時代に促された選曲を行なうようになって行く。しかし，冒頭でも述べたとおり，音楽の歴史にとっても激動の80年代を彼が今までのスタイルをどう守りぬき，新しいものをどこまで取り入れることができるか問題で，同じ流れを汲むが，若手のピアニストであるモンティ・アレキサンダー（黒人ではないが）あたりに道をゆずるのではないかという懸念がある。ともかくも，1962年に録音された“NIGHT TRAIN”は永遠のベスト・セラーには違いない。

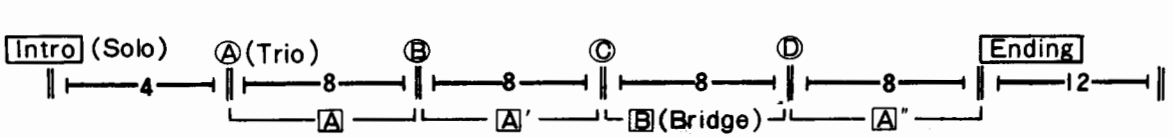
“Georgia On My Mind”のような，テーマの美しさを聴かせる曲には，大きな仕掛けは大体において逆効果であるが，レイ・ブラウンとエド・シグペンが，ピーターソンのフレーズの息つぎをカバーし，長年のトリオの味が出ている。

ブルー・ノート以外にも＊印に示されたような装飾音符を含む歌いまわしやトレモロ，トリルなどを頻繁に使うことにより，ブルージーな，いわゆるクロさがかなり表現できることを知っておくと便利である。逆にいうと，都会的な音作りをしたい時にはそれらをなるべく使わないようにすれば成功するわけである。ピーターソンを学ぼうとする方々には少しずれた話題だが，ラムゼイ・ルイスのフュージョンがアカヌケないのはそのあたりにある。

さて本題に戻ると，進行は次のとおり，32小節の2部形式にイントロ4小節とエンディング12小節を加えた計48小節の作品である。

Composed; Hoagy Carmichael, Stuart Gorrell
Album; Night Train
Polydor (Verve) MV - 2063 Side A - 3
Rec; 1962/12/15,16
Personel; .....

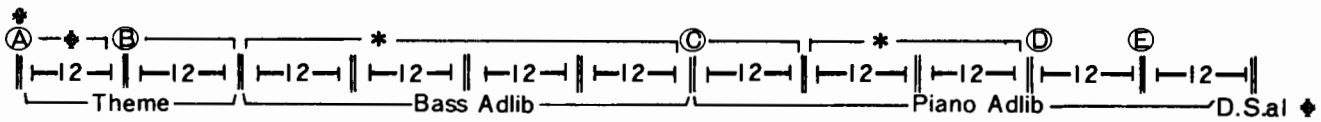
Oscar Peterson	Piano
Ray Brown	Bass
Ed Thigpen	Drums



BAG'S GROOVE
〈バグス・グルーヴ〉

オーソドックスな12小節のブルースで，とぼけていてどこかうら悲しい雰囲気をピーターソンは良くとらえている。要所要所に隠れたアレンジメントを施して，まとまりが良く，親しみやすい曲である。

進行は次のとおりだが，＊印の部分については本書では割愛した。



過去いろいろなプレイヤーによって限りなく演奏されてきたテーマだが，その扱いについては大体において類似しているのがこの曲の特徴だろう。

ピーターソンはⒶを8vbユニゾンで，Ⓑは4声に積まれた各声部の流れをスムースに演奏している。続いてベースのインプロヴィゼイションに入るわけだが，インタープレイが無いかわりに，バック・グラウンド・メロディーを形成してポイントを押さえている。実はこの曲に関する限り，こういった箇所こそ記譜すべきだったと反省している次第であるが，この間12小節×4は前述のとおり割愛した。全体をとおして，初心者がブルースの曲の展開とブルー・ノートの響きを知るには，うってつけの分かりやすいフレーズを使っていて，トリオの事前の打ち合わせも充分聴きとれる。Ⓒと次のコーラスの歌いやすく何気ないインプロヴィゼイションから次のコーラスで盛り上げて，ⒹⒺではシンコペーションをトリオで，ユニゾンで演奏し，クライマックスを作り上げている。

こういった曲では，使われるフレーズ自体の面白さはないが，長年組んで演奏してきた気心の知れた人間同志の暗黙の打ち合わせと，譜面的な操作による“慣れ”の楽しさがある。

Composed; Milt Jackson
Album; Night Train
Polydor (Verve) MV - 2063 Side A - 4
Rec; 1962/12/15,16
Personel; .....

Oscar Peterson	Piano
Ray Brown	Bass
Ed Thigpen	Drums

I GOT IT BAD AND THAT AIN'T GOOD
〈アイ・ゴット・イット・バッド〉

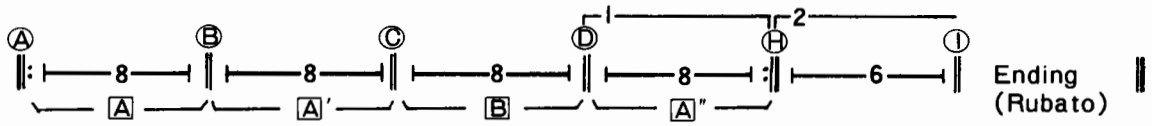
デューク・エリントンの作品だが“C Jam Blues”のような強烈なエリントンのイメージはない。

黄金のトリオといわれたエド・シグペン，レイ・ブラウンとのプレイ，またはソロ・ピアノにおける限り，どんな選曲を行なおうとピーターソンは民族的な色あいの濃いプレイを続けてきた。その中でも“I Got It Bad And That Ain't Good”は黒人の悲哀ともいうべきものに徹し，ジャズの原型を彷彿させる。ピーターソンがエリントンの作品を好んで使うことは，エリントン自身が“私はアメリカン・ニグロの音楽を作る”と宣言したことや，黒人であることを誇りに思っていたということから想像して当然のことであろう。アメリカン・ニグロの音といっても理論的に解釈できる類のものではなく，しいていえばブルース進行の形をとらなくとも完全にブルースの雰囲気を持つ音のことで，ピーターソンはそのエリントンの言葉をそのまま継唱したような雰囲気作りを行なっている。

Composed; Duke Ellington, Paul Webster
Album; Night Train
Polydor (Verve) MV - 2063 Side B - 3
Rec; 1962/12/15,16
Personel; .....

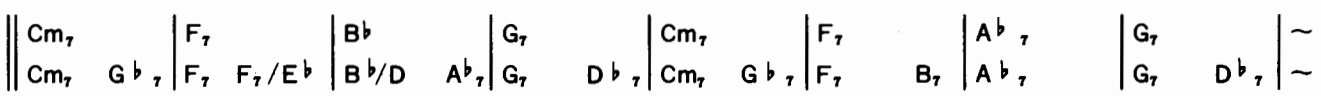
Oscar Peterson	Piano
Ray Brown	Bass
Ed Thigpen	Drums

進行は次のとおり。



PERDIDO
〈パーディド〉

1965年録音のこの演奏では，驚異の左手が満喫できる。勿論右手の雄弁なフレーズとのりはいうまでもない。特に，計算された構成は聴く者を最後まで飽かすことなく楽しませてくれる。8小節のイントロからⒶ～Ⓑ～Ⓒ32小節によるテーマの提示，続いてアドリブへと展開するわけであるが，Ⓔにあたる4thインプロヴィゼイションに特徴があるので，本書では，心残りながらIst，2ndを割愛し，そのあとの3rdから4thインプロヴィゼイションに続けることにした。4thではメロディーに対し2拍ずつリハーモナイズされたブロック・コードで押さえられ，左手のインターバルが♭10thから♮10thに及ぶことに注意していただきたい。これは黒人である彼の体格があって始めて成せる技である。右手は元のコードの響きをそのまま残しているためテンションとして聴きとりにくいが，記譜したので参考にしていただきたい。



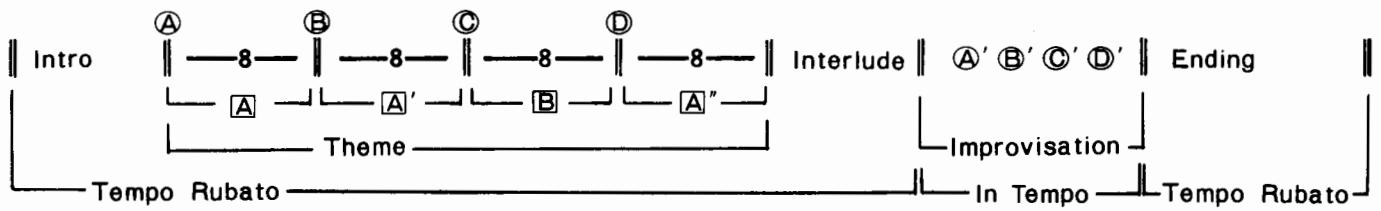
Ⓕの5thインプロヴィゼイションでは，4way(Close)＋Double Lead(8vb)のソリとでもいおうか管楽器的なピーターソンお得意のスタイルが聴ける。同じくⒻのサビまで，ぐいぐい盛り上がった曲想をⒻ24～26小節の下降するフレーズで一気にくずし，新たにⒼのラスト・インプロヴィゼイションではラグタイムを思わせるような楽しさで，実にここでは5オクターブをフルに使い，躍動感あふれるコーラスになっている。

このように，1曲にこれほど多くのエレメントを盛り込めるプレイヤーは少ないであろうし，文句なしに楽しめるということで，ピーターソンが数多くのショーに出演したこともうなずける。

Composed; Juan Tizol
Album; My Favorite Instrument
Teichiku (MPS) UPS-2116 Side A-2
Personel; .....
Oscar Peterson Piano

BODY AND SOUL
〈ボディ・アンド・ソウル〉

今回収録したスロー・ナンバーのソロは，この“Body And Soul”と“Who Can I Turn To”の2曲だが，原曲のコードとメロディーに対する配慮は“Body And Soul”の方が優れていると思う。というかキーの難しさこそあれ，歌い慣れて消化しきっているためなのだろう。進行は次のとおり。



本書における紙幅の都合上，インプロヴィゼイションにおける左手の流れの良い音の積み方など，特記すべきことは充分あったのだが，イントロと，Ⓐ～Ⓓのテーマとエンディングという最小単位のサイズしか採譜できなかったことを，ここでお詫びしておきたい。

D♭というと大変に難しいキーなのだが，それゆえに響きが美しい。テンポ・ルバートによるイントロとⒶ～Ⓓのテーマは，左右の手の役割が完全に分離しているピーターソンの通常の演奏と異なり，バランスが非常に良くとれている。相変わらずトレモロと速いスケールの依存度は高いが，Ⓒの転調部分は特にハーモニーを重視した美しいブロックになっている。

ルバートの譜面の採り方は非常に難しく，耳に物理的に聴こえてくる音の長さをそのまま書かずに，演奏者がどんなつもりで使ったフレーズかを想像しながら採譜するので，コピーする側の意識でかなり変わってくることをご了承願いたい。

Composed; Johnnie Green
Album; My Favorite Instrument
Teichiku (MPS) UPS-2116 Side A-3
Personel; .....
Oscar Peterson Piano

WHO CAN I TURN TO

〈フー・キャン・アイ・ターン・トゥ〉

オスカー・ピーターソンのソロには“Perdido”のような左手を聴かせるものと，スロー・バラードで右手の泣きを聴かせるものの2つのスタイルがあるが，ただテンポやスタイルが違うだけで原点はひとつ，種族的なクロさの表現である。

原曲としてのテーマの改良余地は全くないのだが，隠しきれない彼の特性が恐ろしく速いスケールになって現われている。そしてひとたびアドリブに入ると，そこはもう完全なオスピー節になっている。ビル・エヴァンスの“Who Can I Turn To”と聴き較べると，ピーターソンは中低音域の安定感がかなりずっしりとしていることが分かる。地面に力強く根をはった民族と，理想を追求してやまない民族の違いを見るようで面白い。

こういったスロー・バラードのソロにはテンポ・ルバートがつきもので，深い歌いまわしや，ニュアンスを譜面にとらえることは非常に難しいのだが，本書ではなるべく原曲の小節数を損なわないように記譜した。Ⓐ Ⓐ′

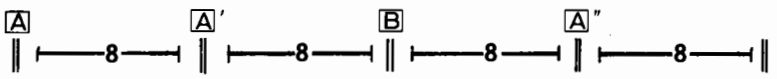
原曲は ‖:16:‖:16:‖ の32小節の作品で，特にⒶ′の後半は官能美ともいうべき美しさを持った曲である。いうなれば，ピーターソン自身が持っていない感性に終始したテーマを，彼がどう作りなおすかが聴きどころというわけである。

ピーターソンのバラードにハーモニーの美しさを見出すことは余りないが，何といっても，あの大きな右手が鍵盤に触れるような速さで上昇，または下降するそのスリル感がたまらない。それらのスケールと，クラシックで ～（Turn）と書き表わされる装飾音符（＊印）が曲の性格を決定している。ⒸⒹは，その2つの要素に と書き表わされるトレモロ（ と は実は違うものだが，便宜上記譜では とした）を加えた右手と，スプレッドで安定した左手の2つの層から成っている。またⒸⒹはイン・テンポ。実際，スケールや装飾音の依存度が高いのだが，スケールの速さと繊細さとはまるで別のものであり，その点でハーモニーに対して異常なまで神経をとがらすビル・エヴァンスと趣を全く異にし，特にⒸⒹにピーターソンのバラードの特質が顕著に現われている。しかしⒺの頭の小節の最初の2拍以降，突然ルバートに戻したことは失敗だったのではないかと思う。あるいは原曲の持つシロさを，最後にきて消化しないまま終わらせてしまったような気がする。

Composed; Leslie Bricusse, Anthony Newley
Album; My Favorite Instrument
Teichiku (MPS) UPS-2116 Side A-4
Personel; .....
Oscar Peterson Piano

TAKE THE 'A' TRAIN
〈A列車で行こう〉

本書は期せずしてデューク・エリントンの作品を中心に収録した形になってしまったが，彼の作品に執着するのはピーターソンに限ったことではない。エリントンと一口にいった場合，彼個人だけでなく，エリントン楽団と影武者であるビリー・ストレイホーンをも指すわけで，それらをひっくるめた“エリントン”はビッグ・バンド・ジャズ・スタイルの土台を成している。そんな意味で直接に間接に影響を受けぬ演奏家はいないのである。



計32小節を4回繰り返しているが，2ndコーラスと3rdコーラスは1つのモチーフをまず最初に作り，それぞれのコーラス内でそのモチーフを徹底して使っている。具体的にいえば，Ⓑではダブル・リードの形で演奏し，Ⓒではラグタイムを思わせるようなキンキラした右手と，振幅の大きい左手に特徴を持たせている。Ⓑで示した＊印は音符で書くとこのようなことになるのだが，俗にいう3拍フレーズである。

Tremolo
なお𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯＝ 𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯𝅘𝅥𝅯 ～として採譜した。

Composed; Billy Strayhorn
Album; My Favorite Instrument
Teichiku (MPS) UPS-2116 Side B-5
Personel; .....

Oscar Peterson	Piano

TRISTEZA
〈トリステーサ〉

アルバム“TRISTEZA”はブラジルのナンバーを中心にサム・ジョーンズ，ボブ・ダーハムの新メンバーによるトリオ演奏になっている。

“Sadness”とでも訳すべきだろうか，原曲はニルチンホーのメランコリーなボサ・ノバだがオスカー・ピーターソンはテンポを上げたことで，陽気なブラジリアンの性格を引き出すことに成功している。

原曲のテーマはもう少し長いのだが，歌いやすい最初の14小節×2のみを使っている。16小節のイントロに続いて，グリス・ダウンとトレモロを使ったテーマをサンバで演奏し（ⒶⒷ），Ⓒからサンバのままインプロヴィゼイションに入る。本書の意図としては，細かい音の分析を全コーラスにわたって行なうことより，全体的な流れと構成を知ろうということなので，ⒸⒹ（1stインプロヴィゼイション）の後2ndにあたる14小節×2は割愛し，Ⓕのインターリュードを含むコーラスをⒺの2小節前から記譜した。

Ⓕでは2小節めのベース・フィル，3、4小節めピアノ・ソロというドラムのブレイクを使ったリフを演じ，再びなだれ込むようなインプロヴィゼイションが行なわれる。Ⓗのインターリュードに続いて，テーマに戻って終わる。

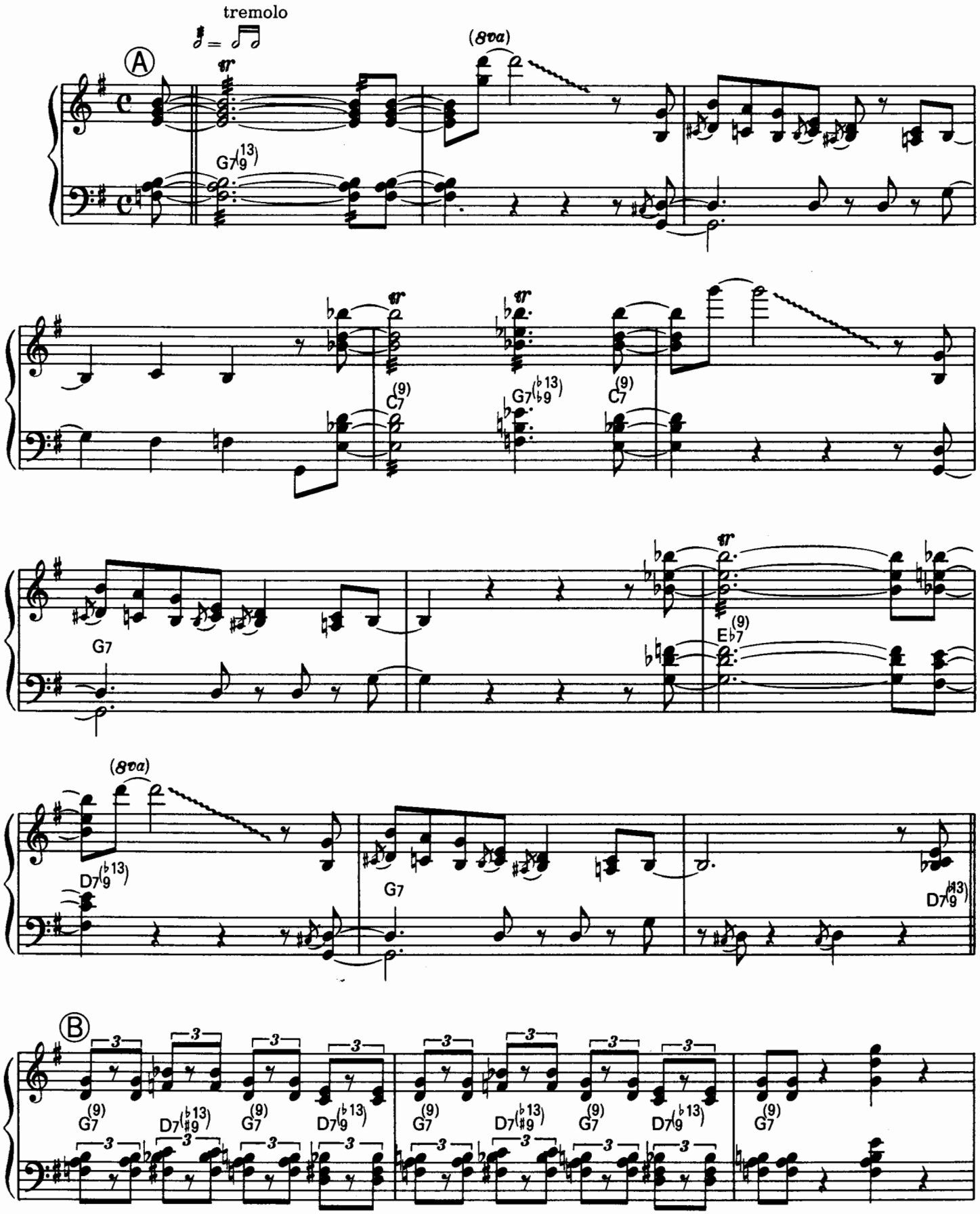
本書で収録した中で“Tristeza”とソロ以外はエド・シグペン，レイ・ブラウンとのトリオだが，新メンバーに変えたピーターソンの音に対する姿勢の変化が顕著に現われている。

Composed; Haroldo Lobo, Niltinho
Album; Tristeza
Teichiku (MPS) UPS-2121 Side A-1
Rec; 1970/2
Personel; .....

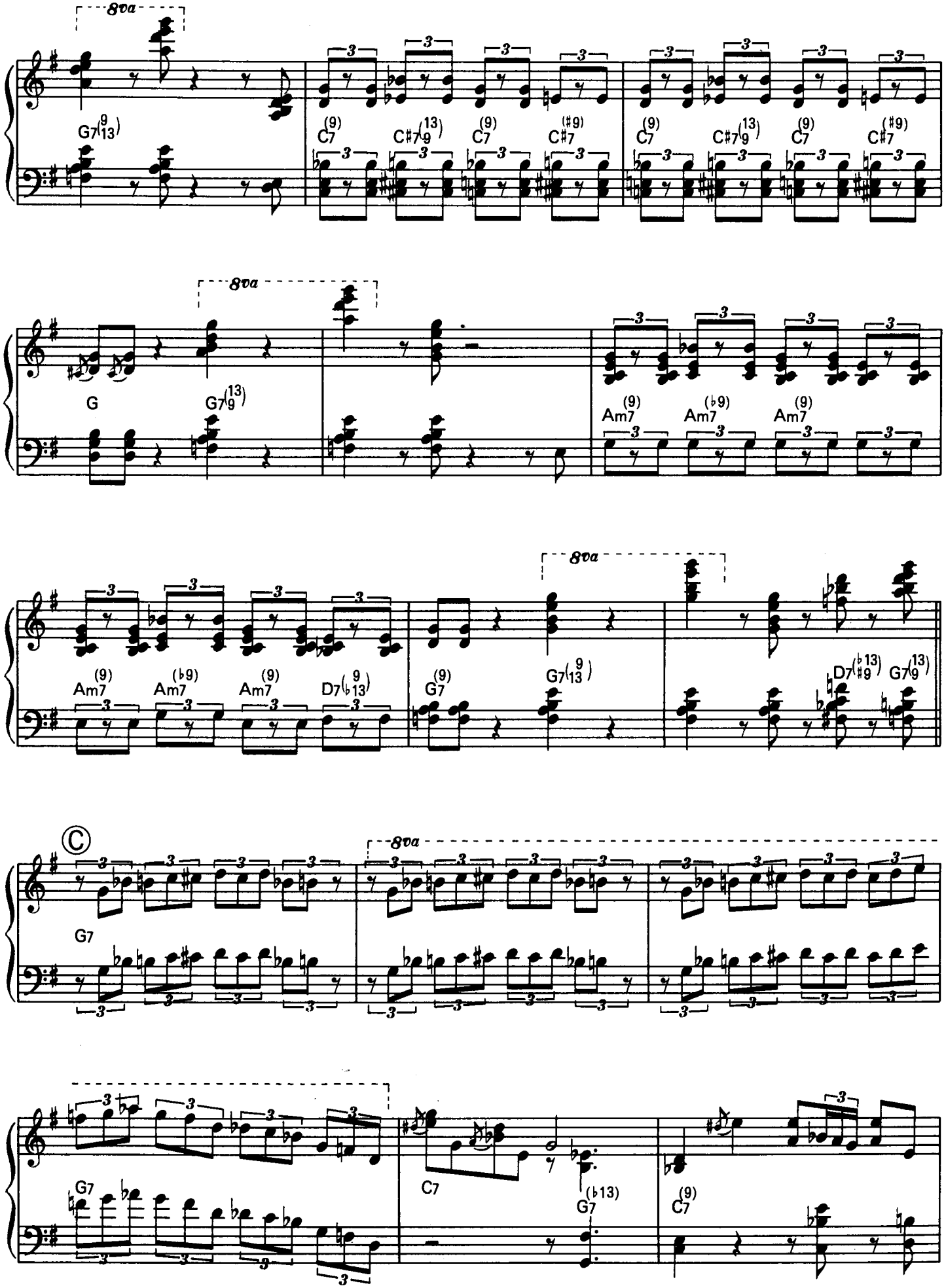
Oscar Peterson	Piano
Sam Jones	Bass
Bob Durham	Drums

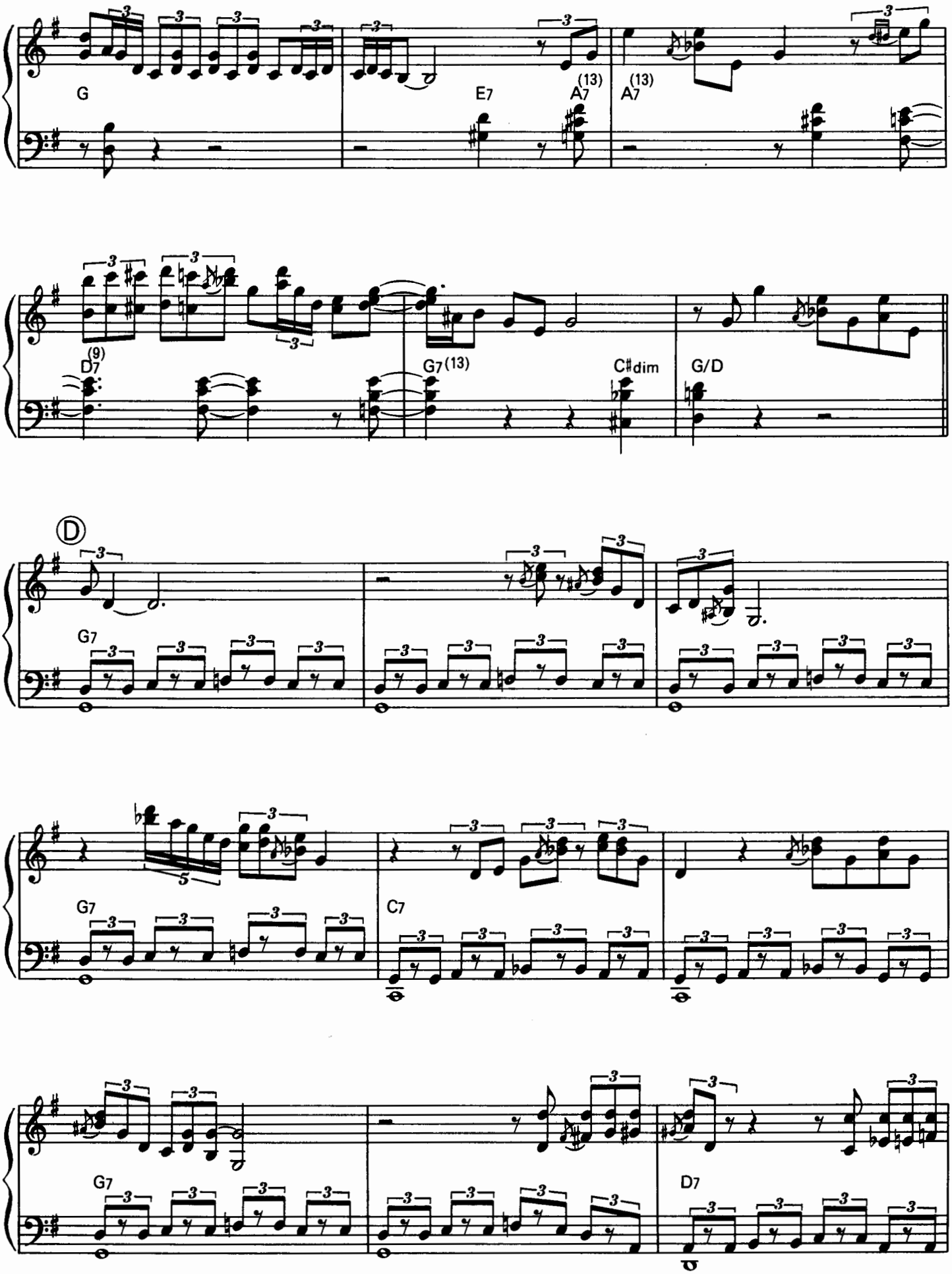
NIGHT TRAIN

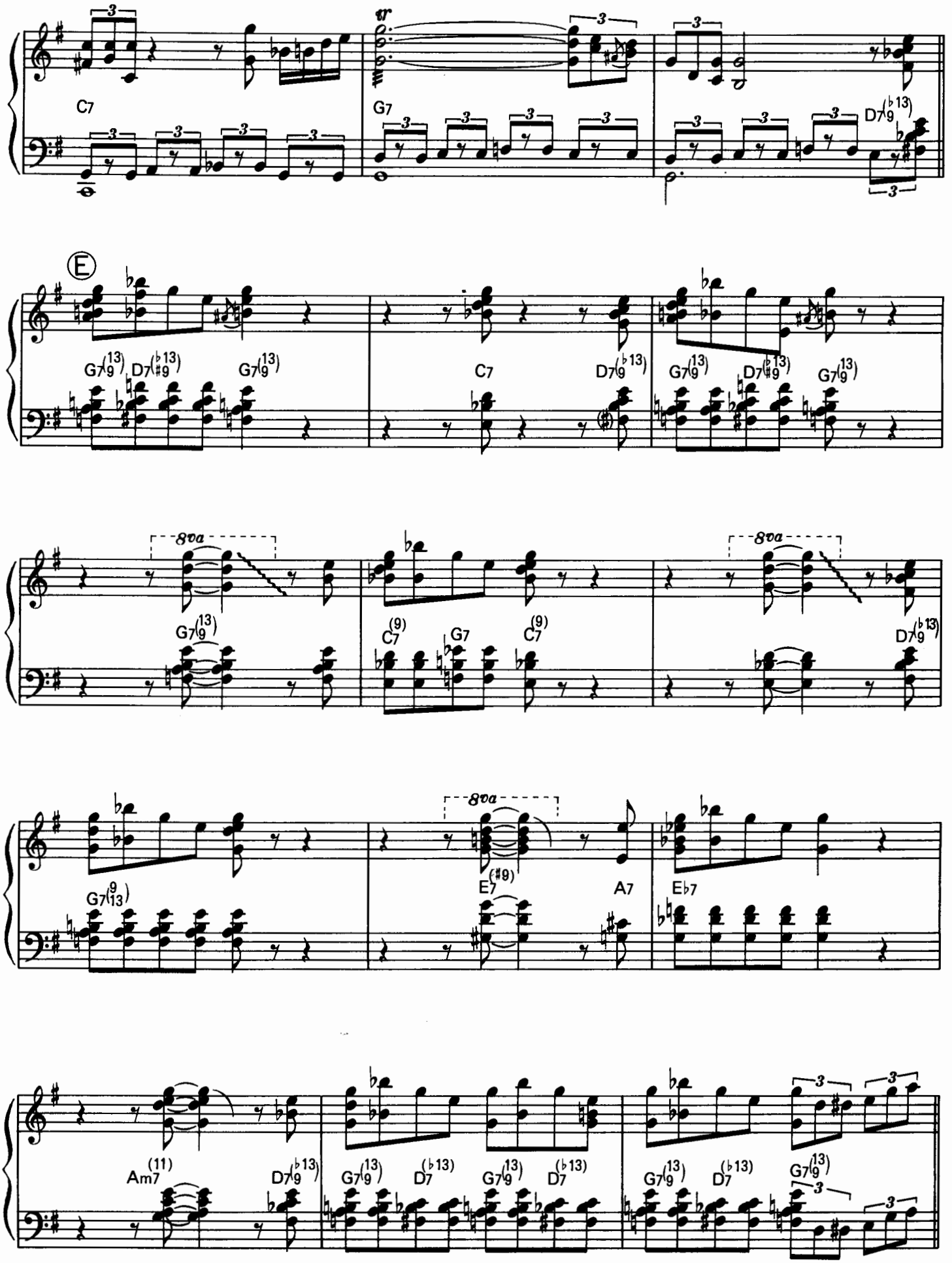
By Jimmy Forrest, Oscar Washington, Lewis Simpkins

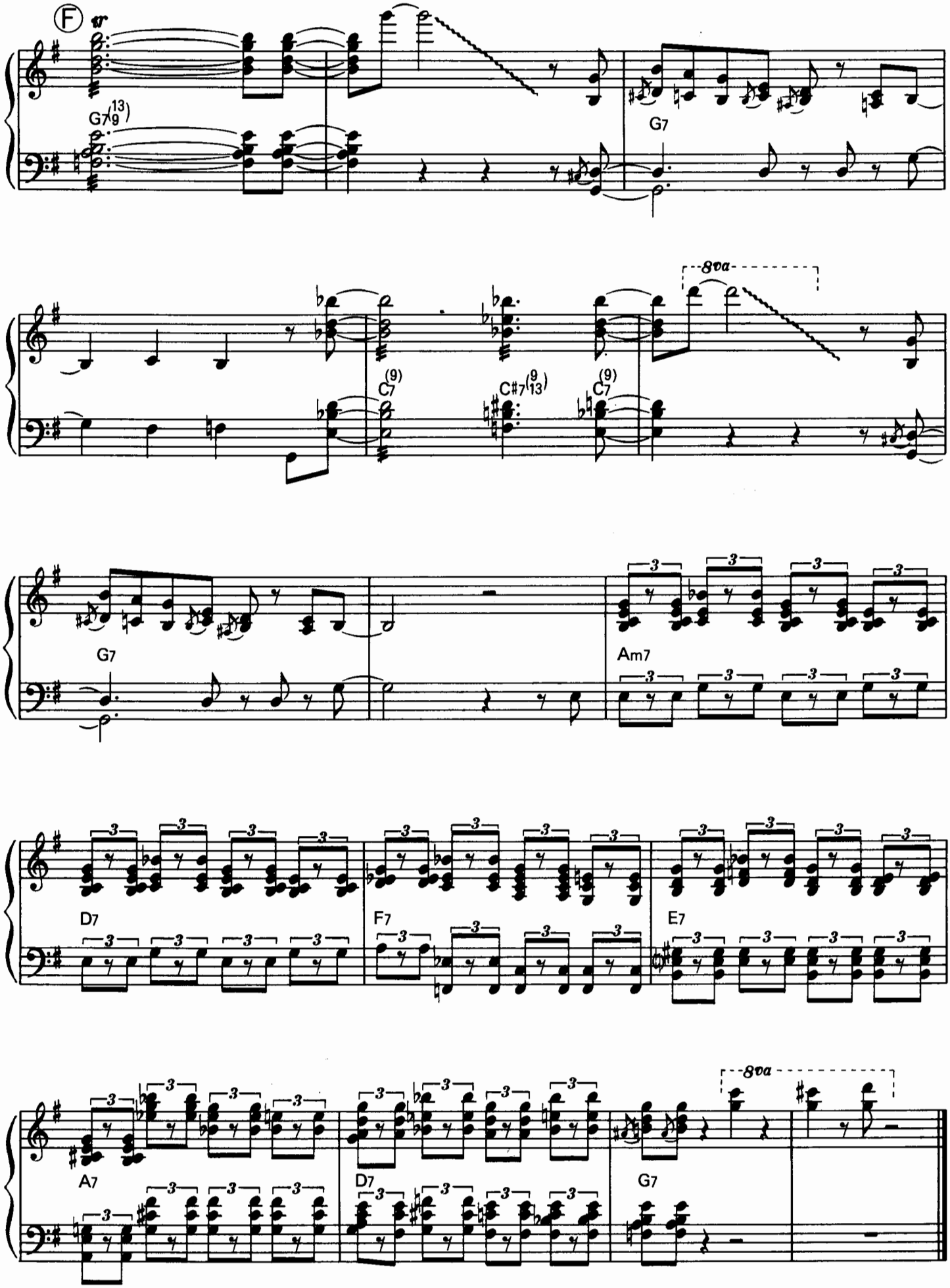


© Copyright 1952 by Pamlee Music Co.
All rights through out the World controlled by Frederick Music Co.
The rights for Japan assigned to Nichion, Inc.


8va
G7(9 13)
C7(9)
C♯7(13 9)
C7(9)
C♯7(♯9)
C7(9)
C♯7(13 9)
C7(9)
C♯7(♯9)
8va
G
G7(13 9)
Am7(9)
Am7(♭9)
Am7(9)
Am7(9)
Am7(♭9)
Am7(9)
D7(9 ♭13)
8va
G7(9)
G7(9 13)
D7(♭13 ♯9)
G7(13 9)
Ⓒ
8va
G7
G7
C7
G7(♭13)
C7(9)

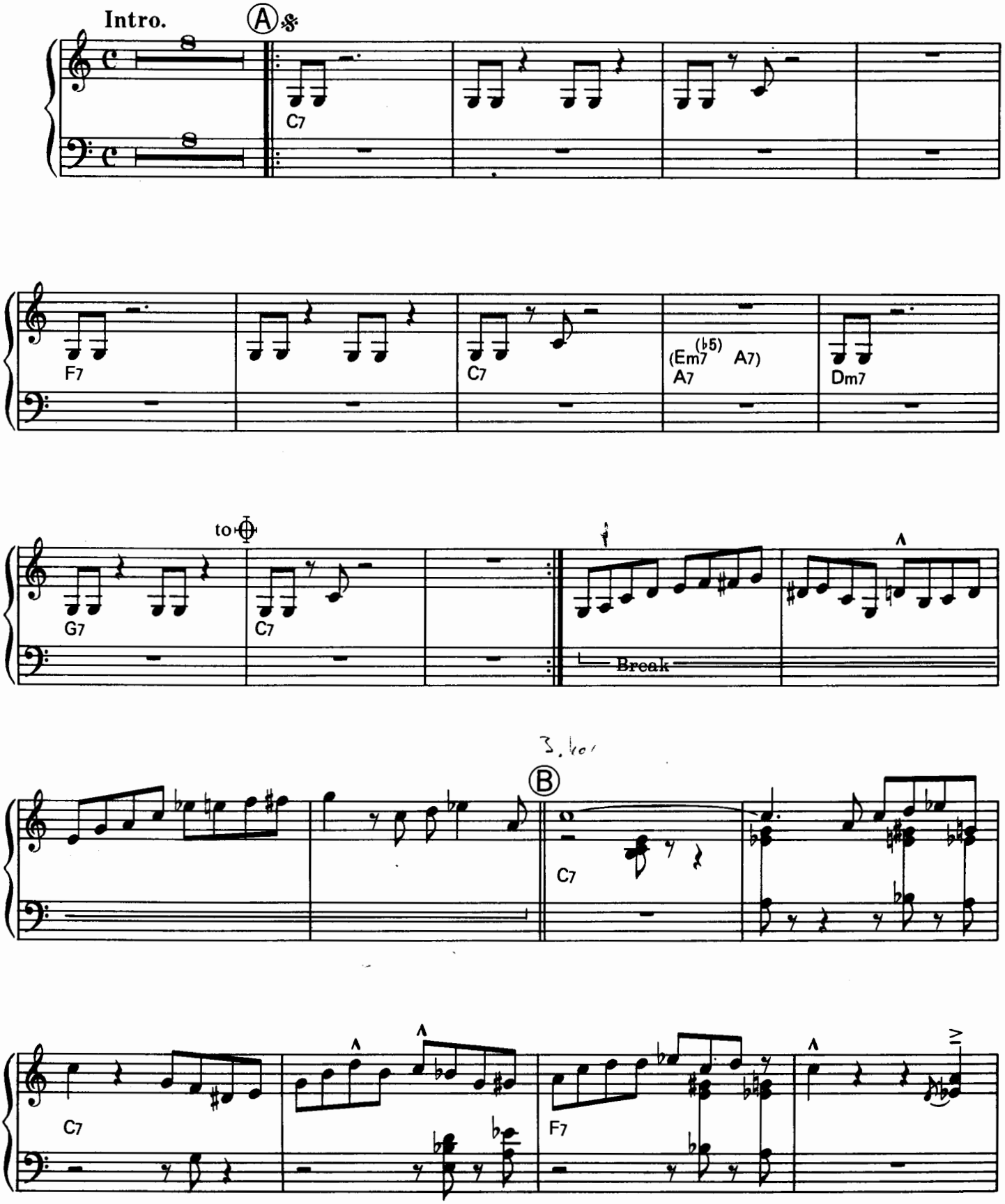

G
E7
A7 (13)
A7 (13)
D7 (9)
G7 (13)
C♯dim
G/D
Ⓓ
G7
G7
C7
G7
D7


C7
G7
D7(♭13)
Ⓔ
G7(13) D7(♭9♯13) G7(13)
C7
D7(♭13)
G7(13) D7(♭9♯13) G7(13)
8va
G7(13)
C7(9) G7 C7(9)
D7(♭13)
8va
G7(9/13)
8va
E7(♯9)
A7
E♭7
Am7(11)
D7(♭13)
G7(13) D7(♭13) G7(13) D7(♭13)
G7(13) D7(♭13) G7(13)

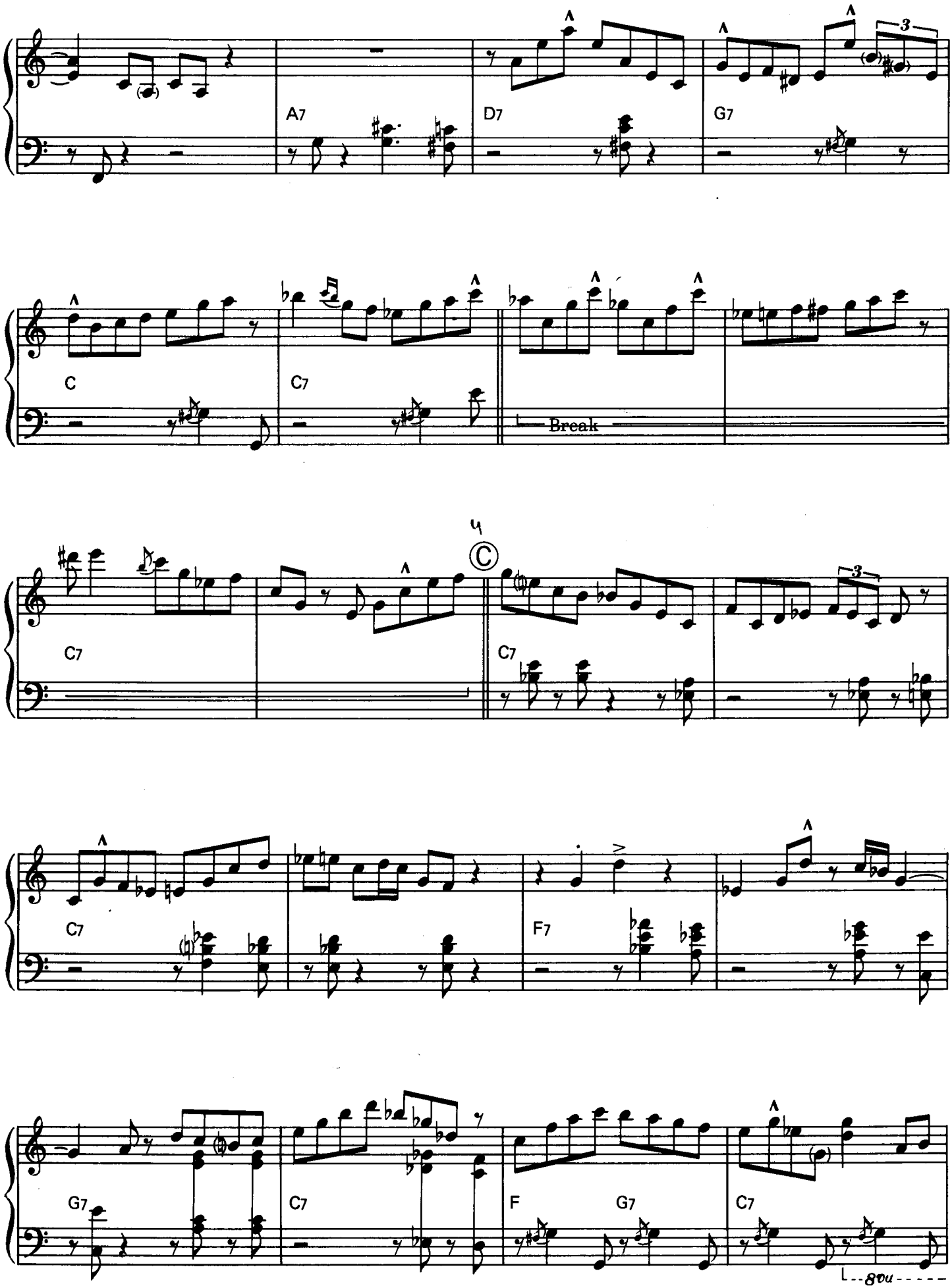

F
G7(13 9)
G7
C7(9)
C#7(9 13)
C7(9)
8va
G7
Am7
D7
F7
E7
A7
D7
G7
8va

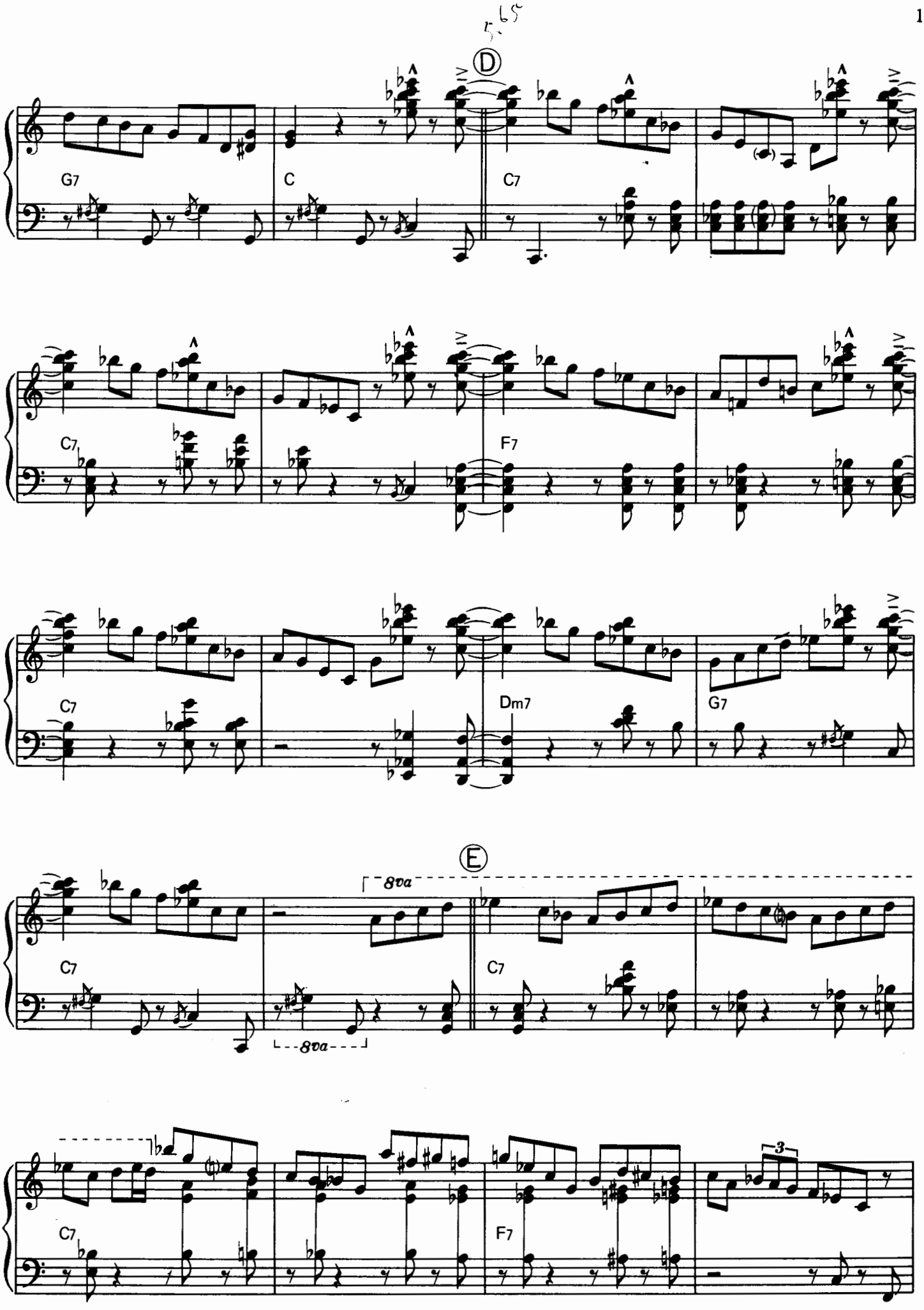
C JAM BLUES

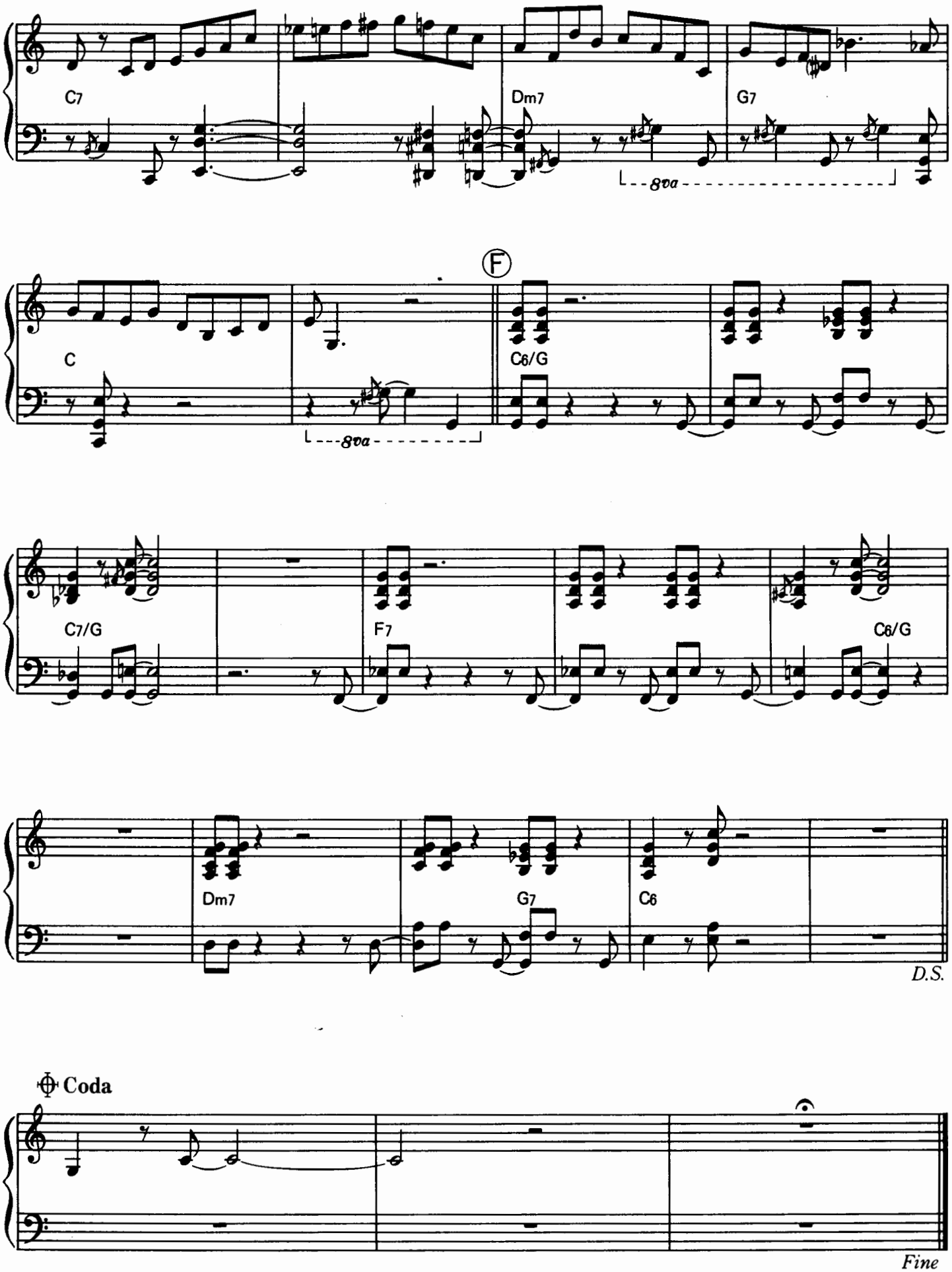
By Duke Ellington



© Copyright 1942 by Robbins Music Corp.
Assigned for Japan to United Artist Music (Japan), Inc.

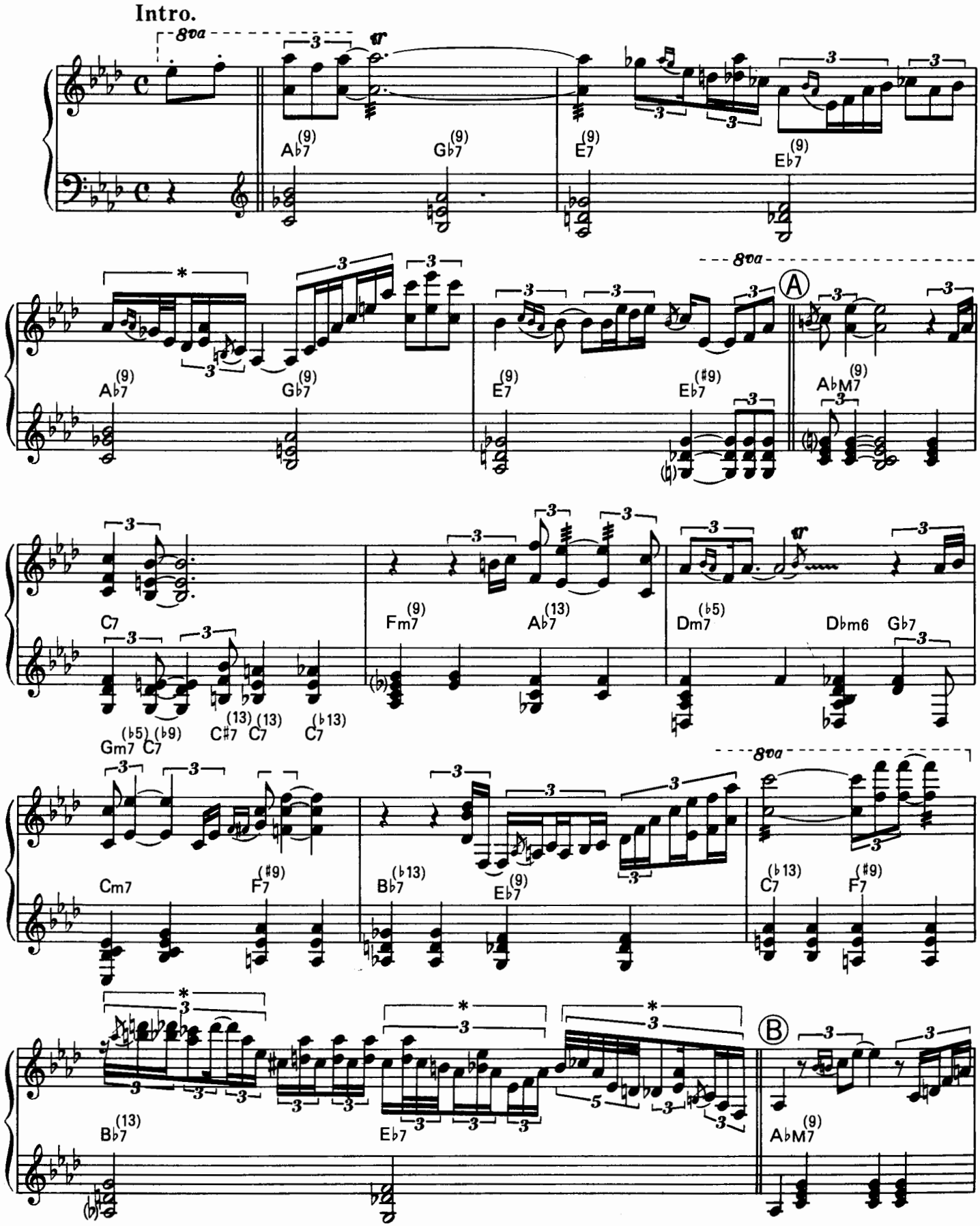

A7
D7
G7
C
C7
Break
C7
C7
C7
F7
G7
C7
F
G7
C7
8va


D
G7
C
C7
C7
F7
C7
Dm7
G7
E
8va
8va
C7
C7
C7
F7
3

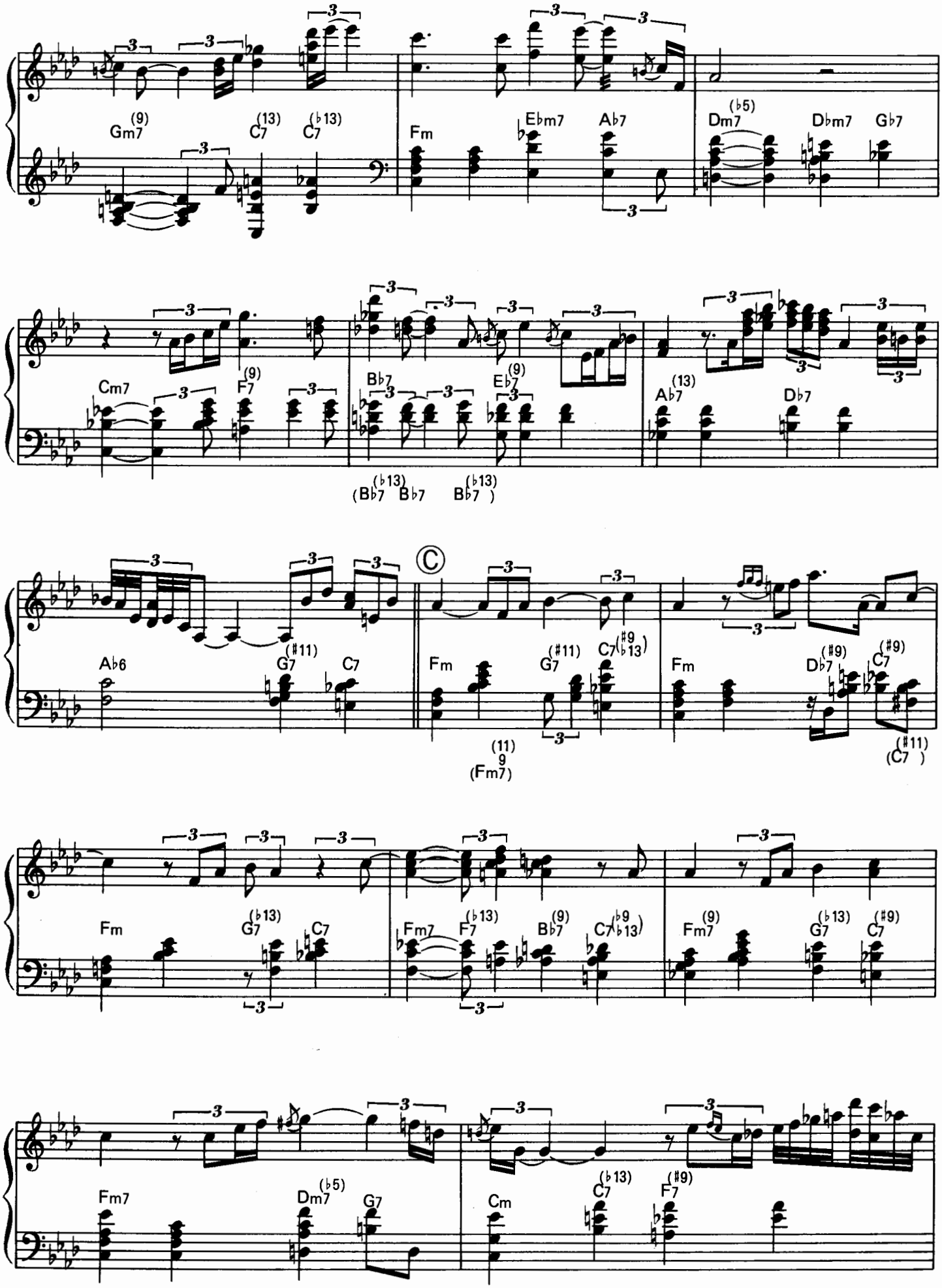

C7
Dm7
G7
8va
Ⓕ
C
C6/G
8va
C7/G
F7
C6/G
Dm7
G7
C6
D.S.
Coda
Fine

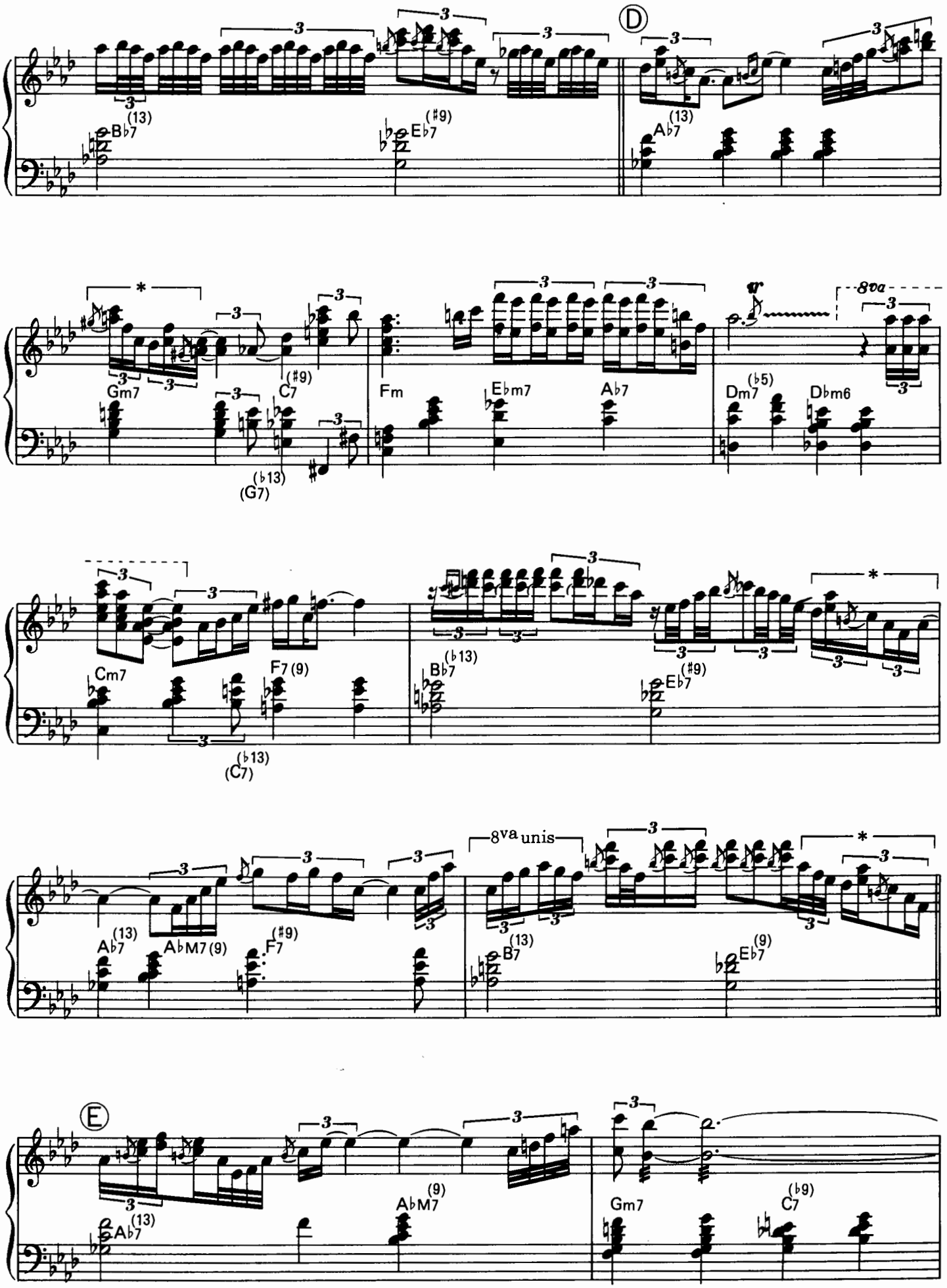
GEORGIA ON MY MIND

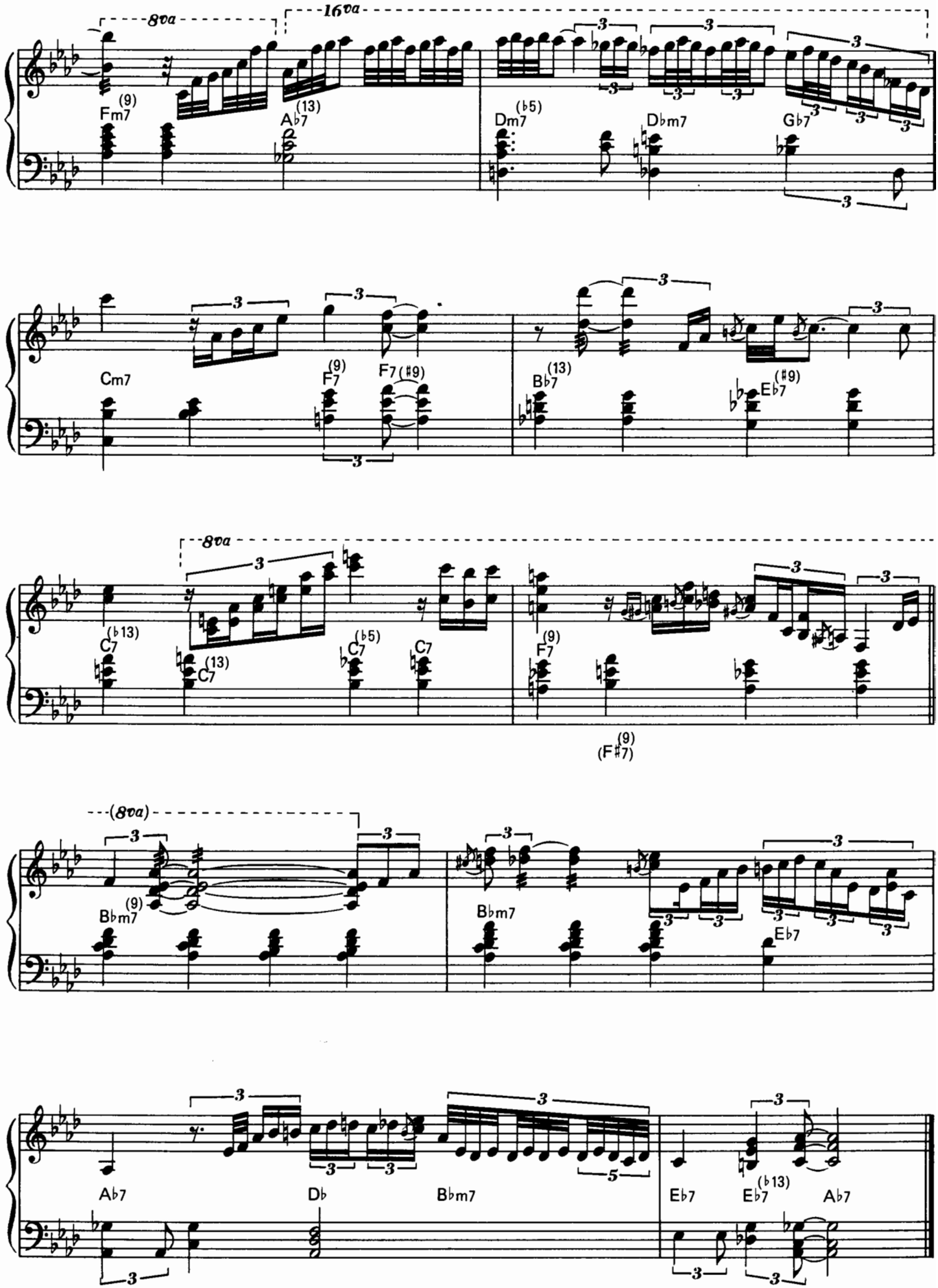
By Hoagy Carmichael, Stuart Gorrell



© Copyright 1930 by Peer International Corp.
Authorized Selling Agent in Japan, High Note Publishing Co., Ltd.

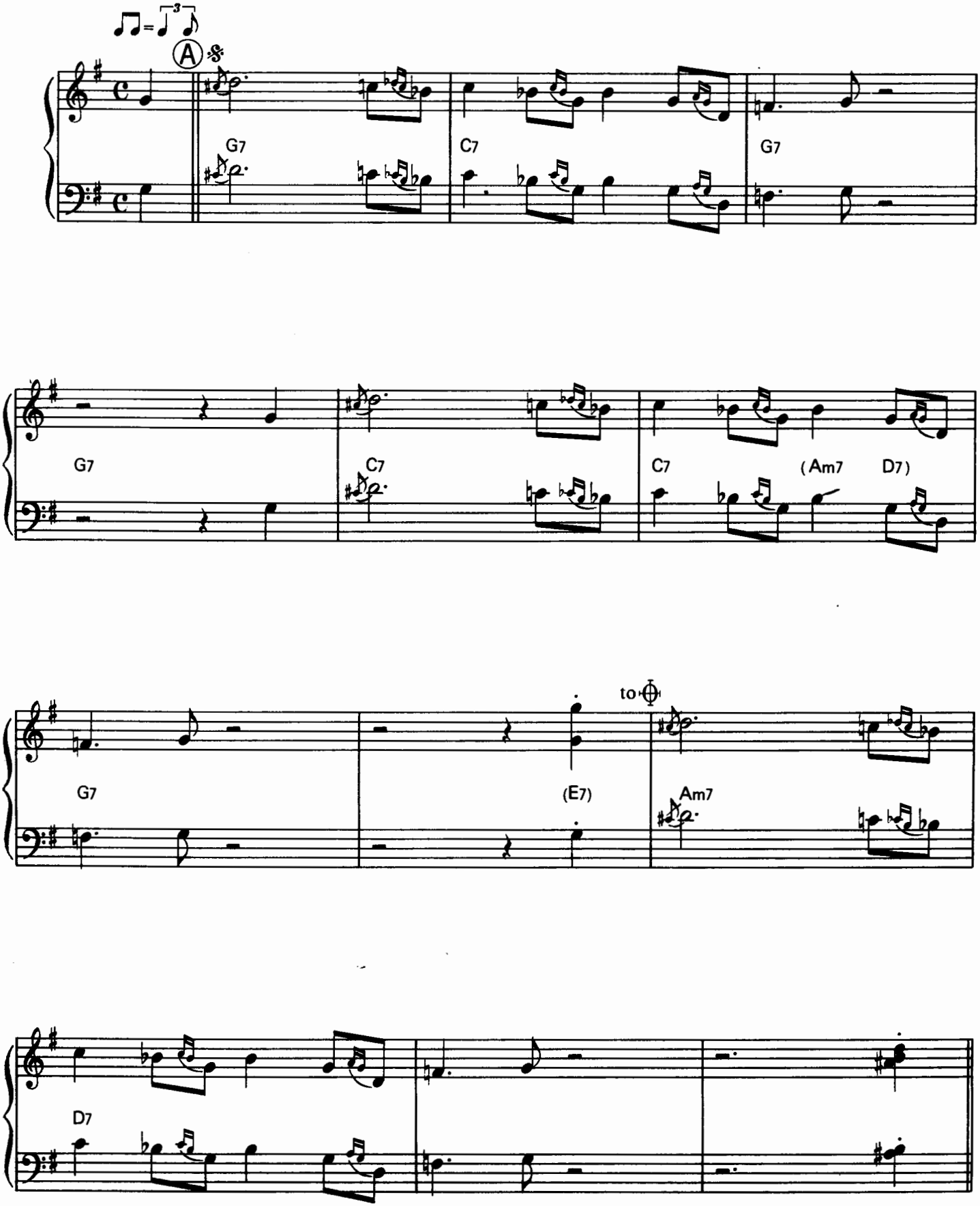

Gm7 (9) C7 (13) C7 (♭13)
Fm Eb♭m7 Ab♭7
Dm7 (♭5) Db♭m7 Gb♭7
Cm7 F7 (9)
B♭7 E♭7 (9)
A♭7 (13) D♭7
(B♭7 (♭13) B♭7 B♭7 (♭13))
A♭6 G7 (♯11) C7
Fm G7 (♯11) C7 (♯9 ♭13)
Fm D♭7 (♯9) C7 (♯9)
(11 9 (Fm7))
(C7 (♯11))
Fm G7 (♭13) C7
Fm7 F7 (♭13) B♭7 (9) C7 (♭9 ♭13)
Fm7 (9) G7 (♭13) C7 (♯9)
Fm7 Dm7 (♭5) G7
Cm C7 (♭13) F7 (♯9)


D
B♭7 (13)
E♭7 (♯9)
A♭7 (13)
Gm7
C7 (♯9)
(G7) (♭13)
Fm
E♭m7
A♭7
Dm7 (♭5)
D♭m6
8va
Cm7
F7 (9)
(C7) (♭13)
B♭7 (♭13)
E♭7 (♯9)
A♭7 (13)
A♭M7 (9)
F7 (♯9)
8va unis
B7 (13)
E♭7 (9)
E
A♭7 (13)
A♭M7 (9)
Gm7
C7 (♭9)

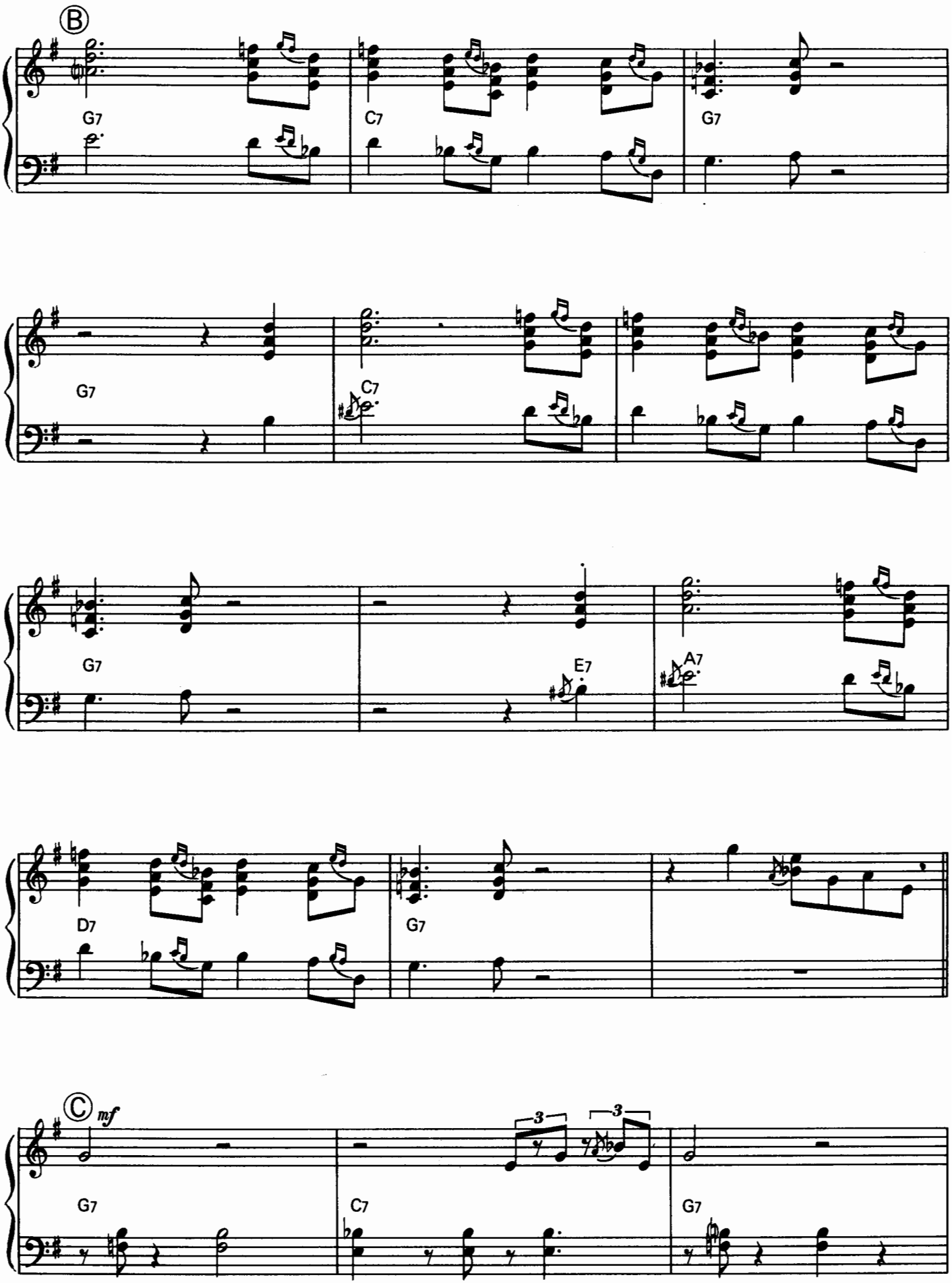

8va
16va
Fm7 (9)
Ab7 (13)
Dm7 (b5)
Dbm7
Gb7
Cm7
F7 (9)
F7 (#9)
Bb7 (13)
Eb7 (#9)
8va
C7 (b13)
C7 (13)
C7 (b5)
C7
F7 (9)
(F#7) (9)
(8va)
Bbm7 (9)
Bbm7
Eb7
Ab7
Db
Bbm7
Eb7
Eb7 (b13)
Ab7

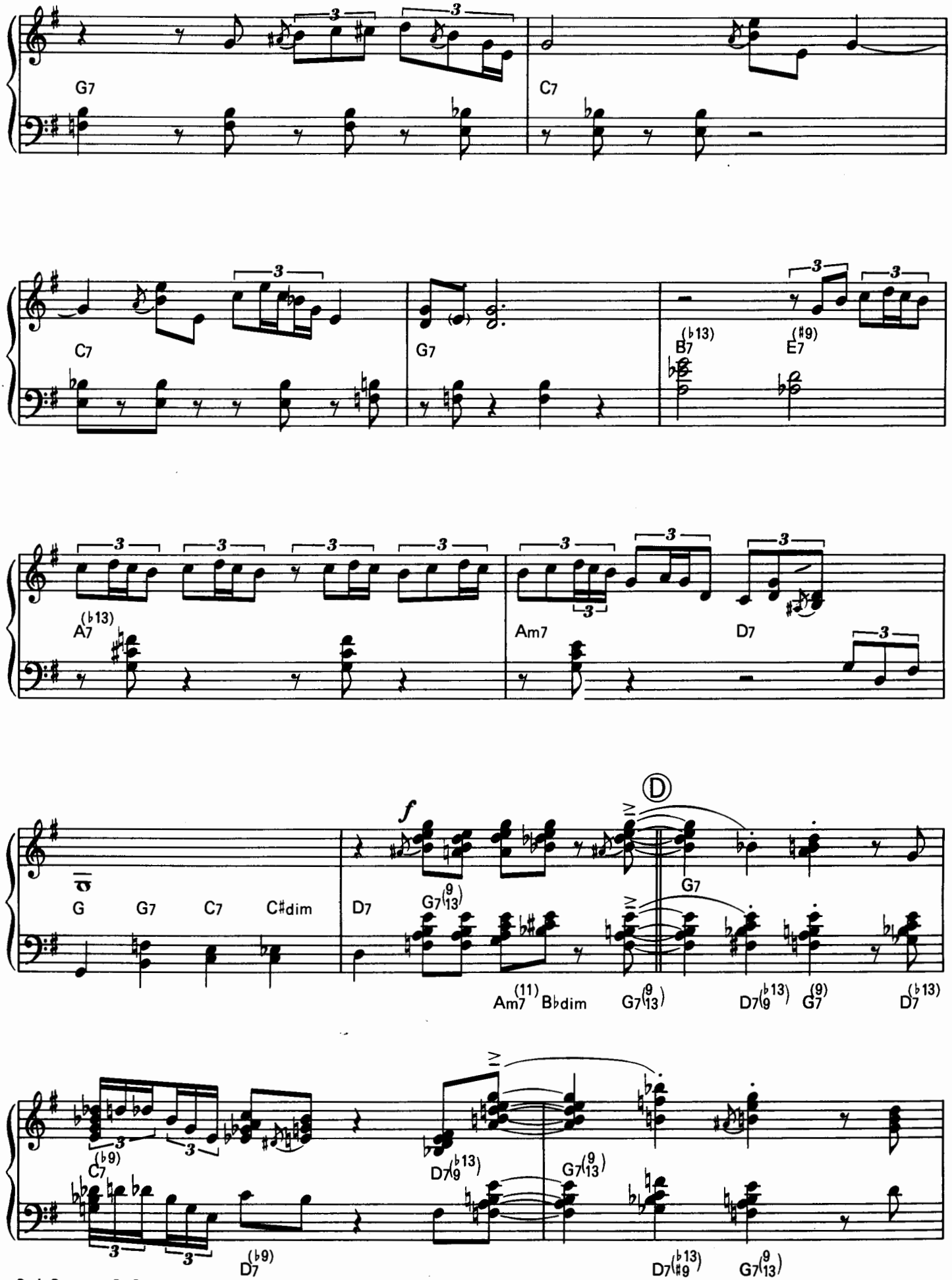
BAG'S GROOVE

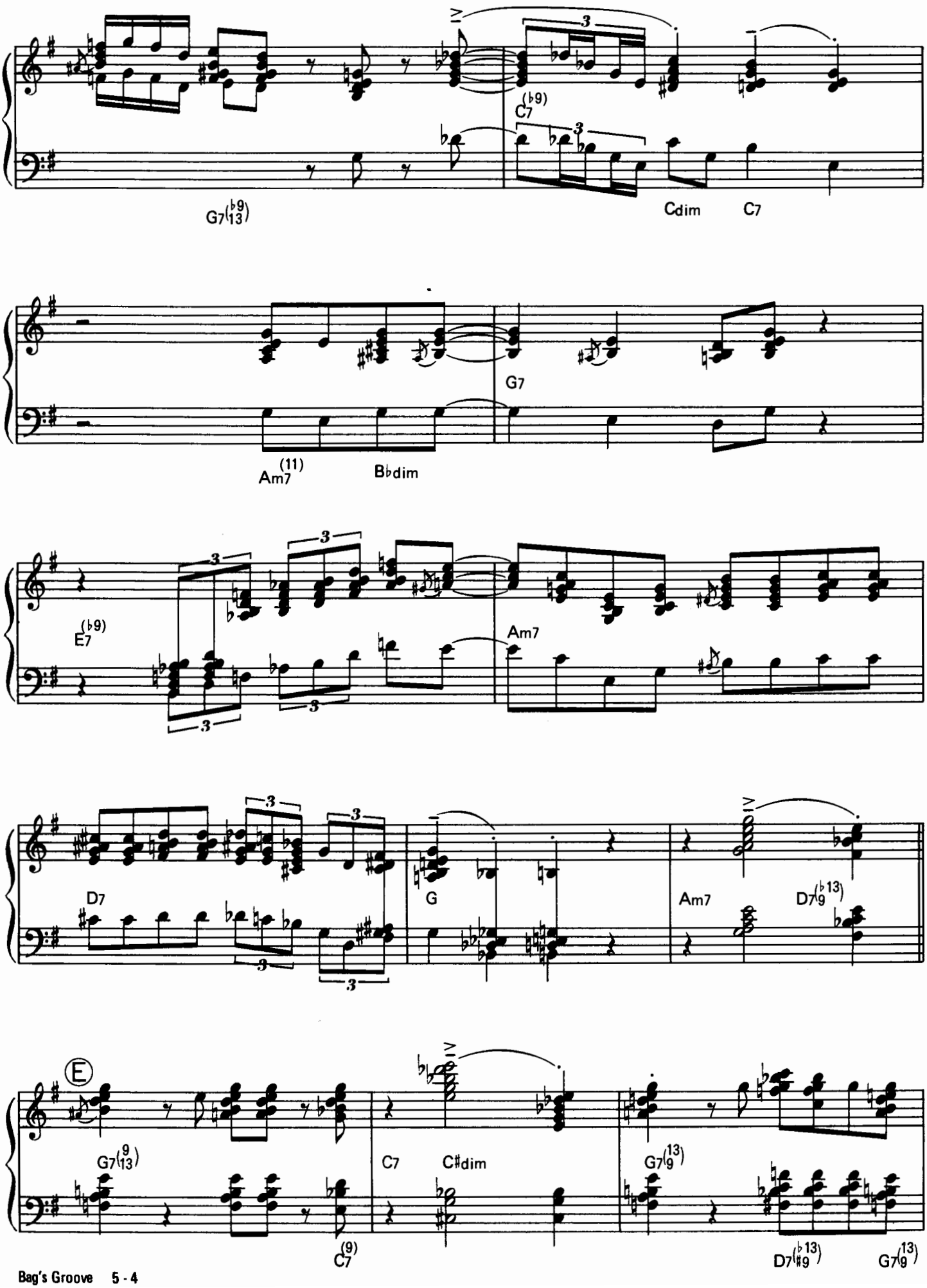
By Milt Jackson

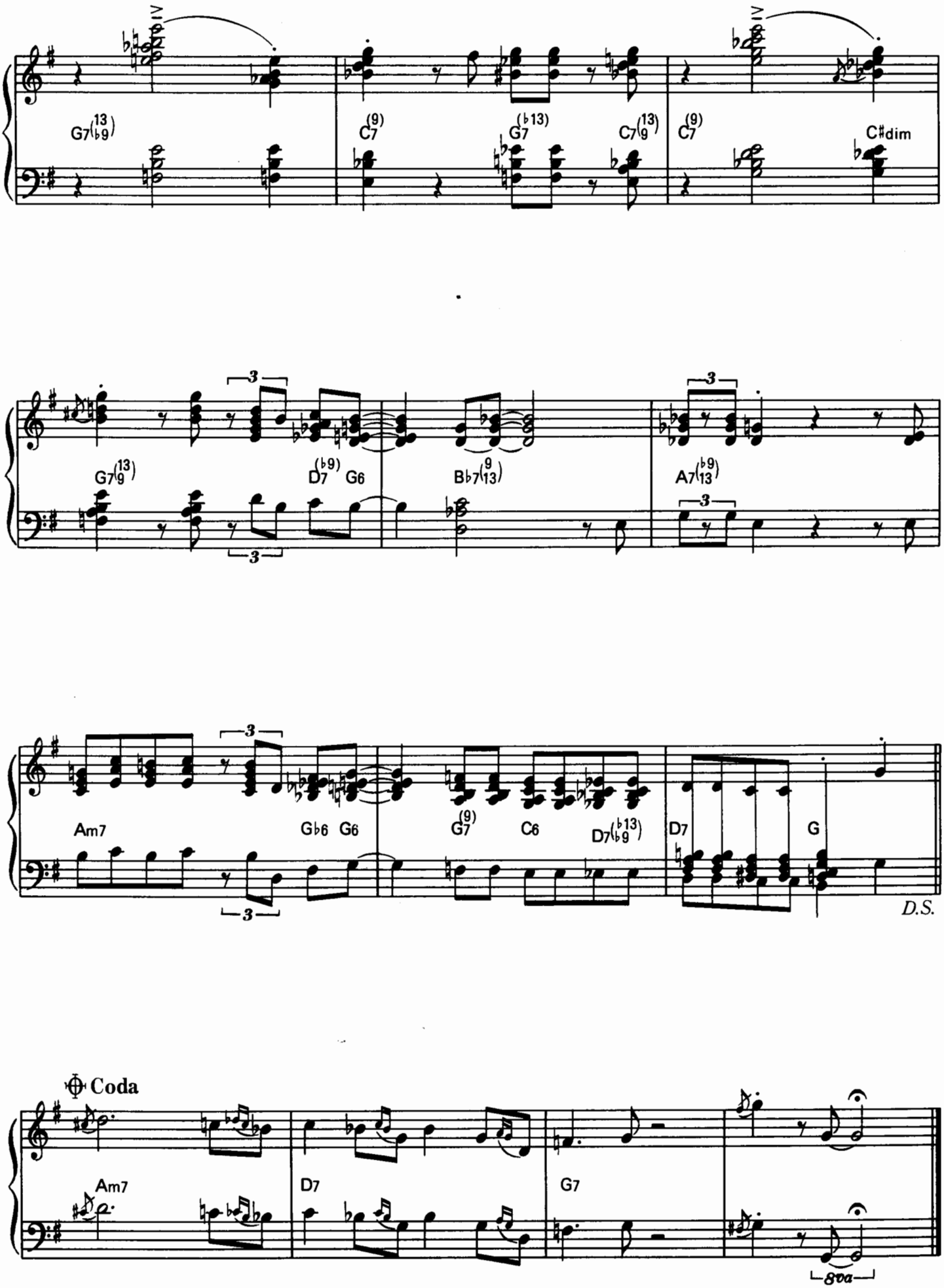


© Copyright 1954 by Warner Music Corp. New York.
Rights for Japan assigned to Kogakusha Music Pub. Co., Ltd.


B
G7
C7
G7
G7
C7
G7
E7
A7
D7
G7
C
mf
3
3
G7
C7
G7

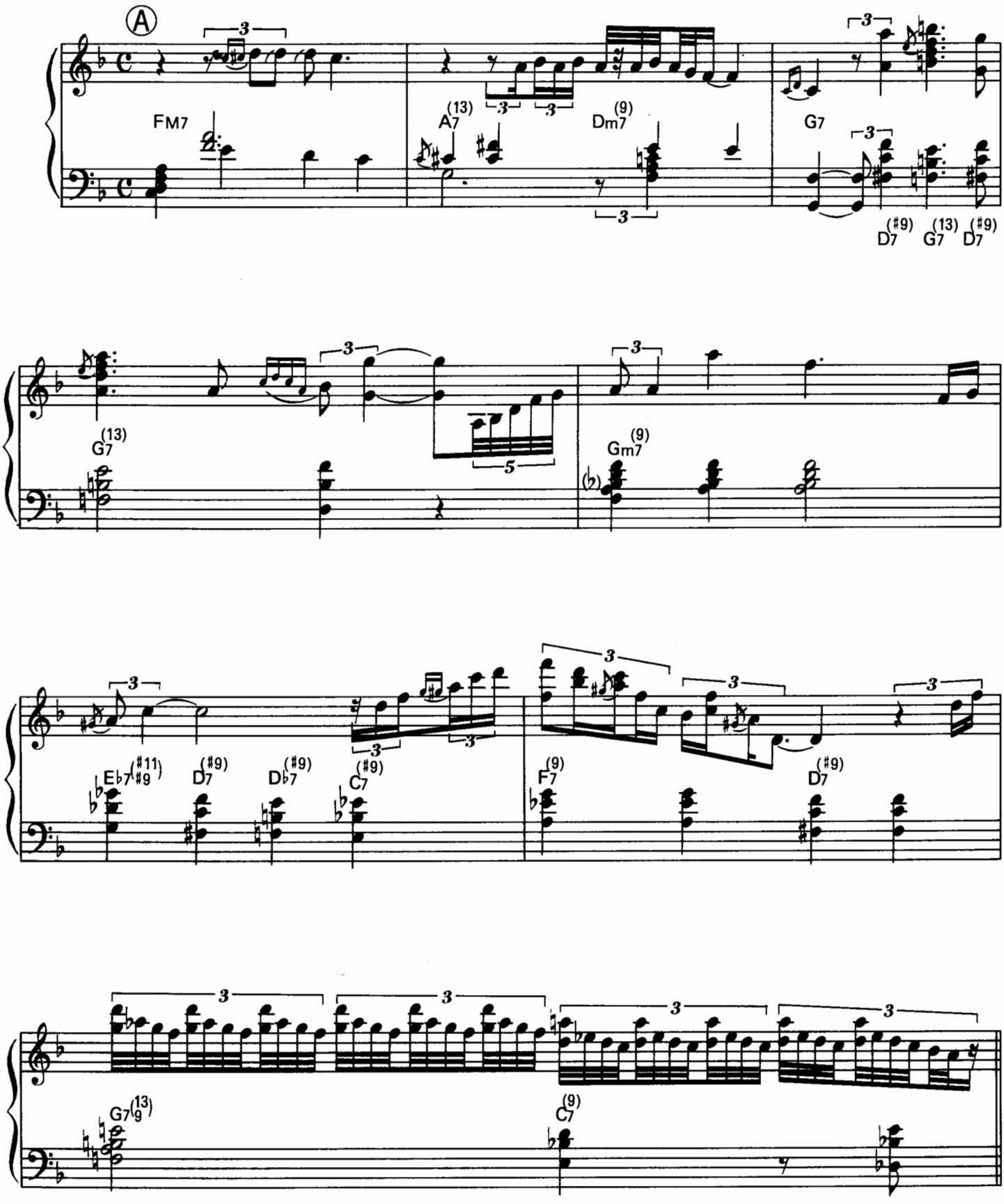

G7
C7
C7
G7
B7 (♭13)
E7 (♯9)
A7 (♭13)
Am7
D7
G
G7
C7
C♯dim
D7
G7 (9 13)
Ⓓ
G7
Am7 (11)
B♭dim
G7 (9 13)
D7 (♭9 ♭13)
G7 (9)
D7 (♭13)
C7 (♭9)
D7 (♭9)
D7 (♭9 ♭13)
G7 (9 13)
D7 (♭9 ♯13)
G7 (9 13)


G7(♭9 13)
C7(♭9)
Cdim
C7
G7
Am7(11)
B♭dim
E7(♭9)
Am7
D7
G
Am7
D7(♭9 ♭13)
Ⓔ
G7(9 13)
C7
C♯dim
G7(13 9)
C7(9)
D7(♭13 ♯9)
G7(13 9)

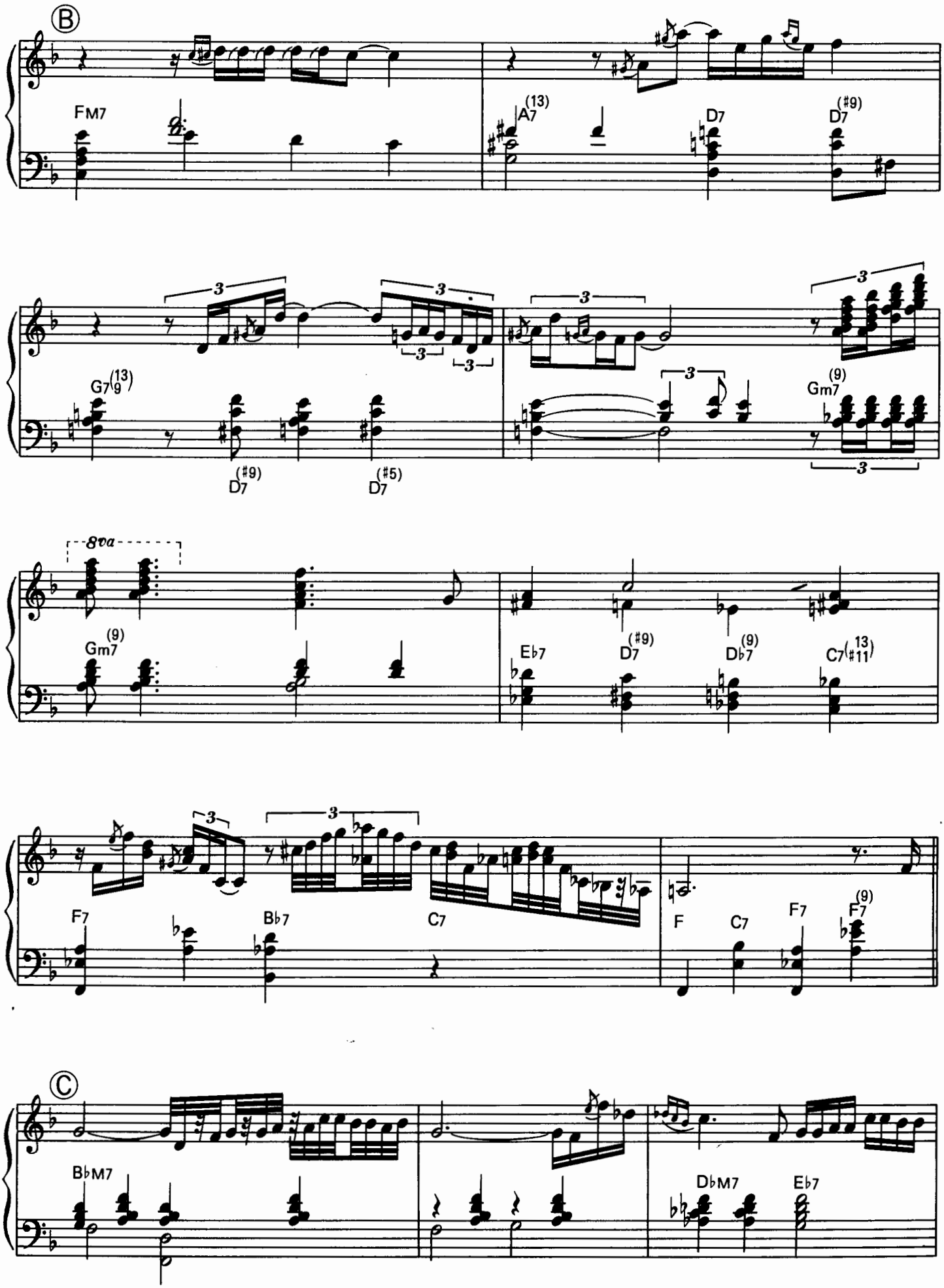

G7(13 ♭9)
C7(9)
G7(♭13)
C7(13 9)
C7(9)
C♯dim
G7(13 9)
D7(♭9)
G6
B♭7(9 13)
A7(♭13)
Am7
G♭6
G6
G7(9)
C6
D7(♭13 ♭9)
D7
G
D.S.
Coda
Am7
D7
G7
8va

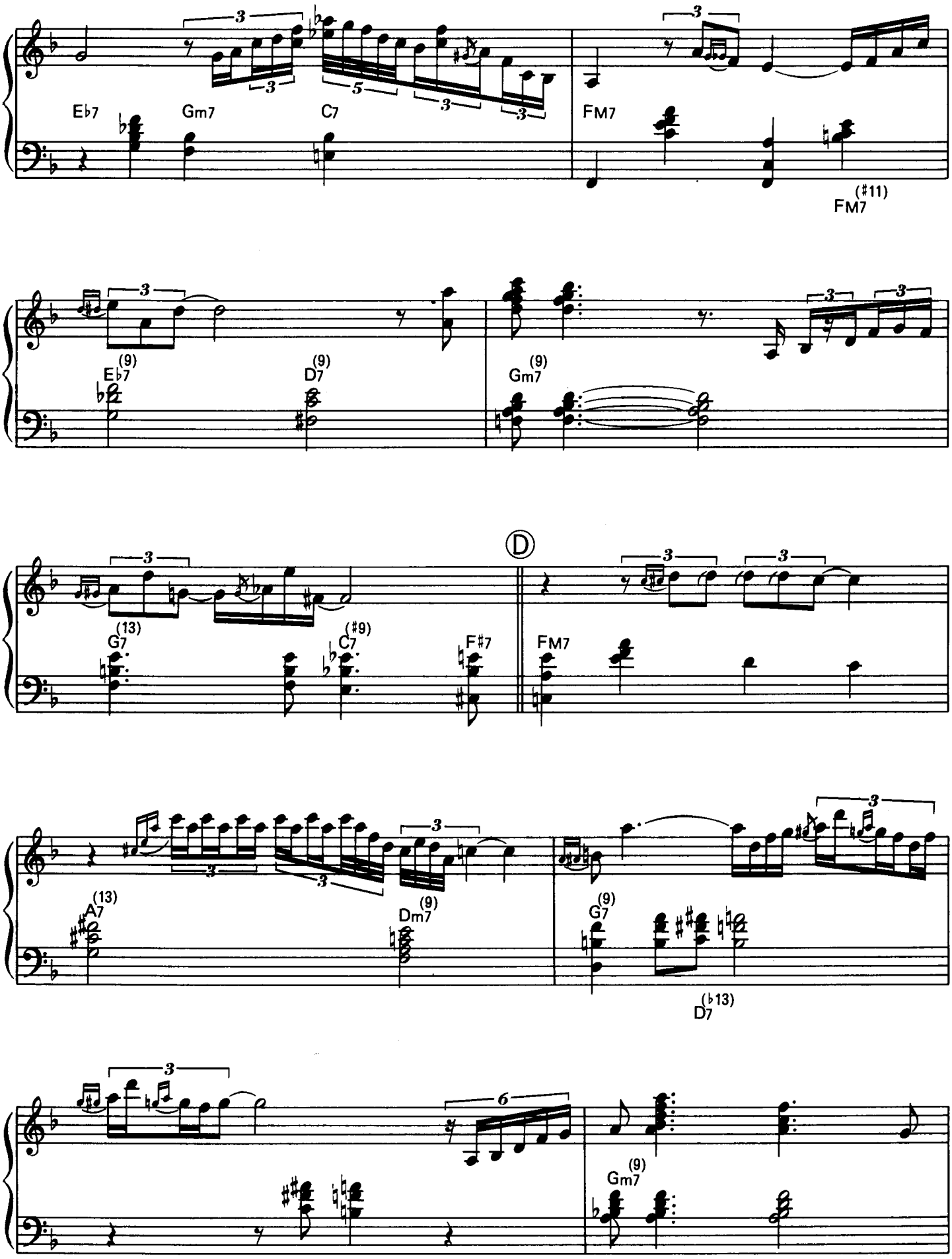
I GOT IT BAD AND THAT AIN'T GOOD

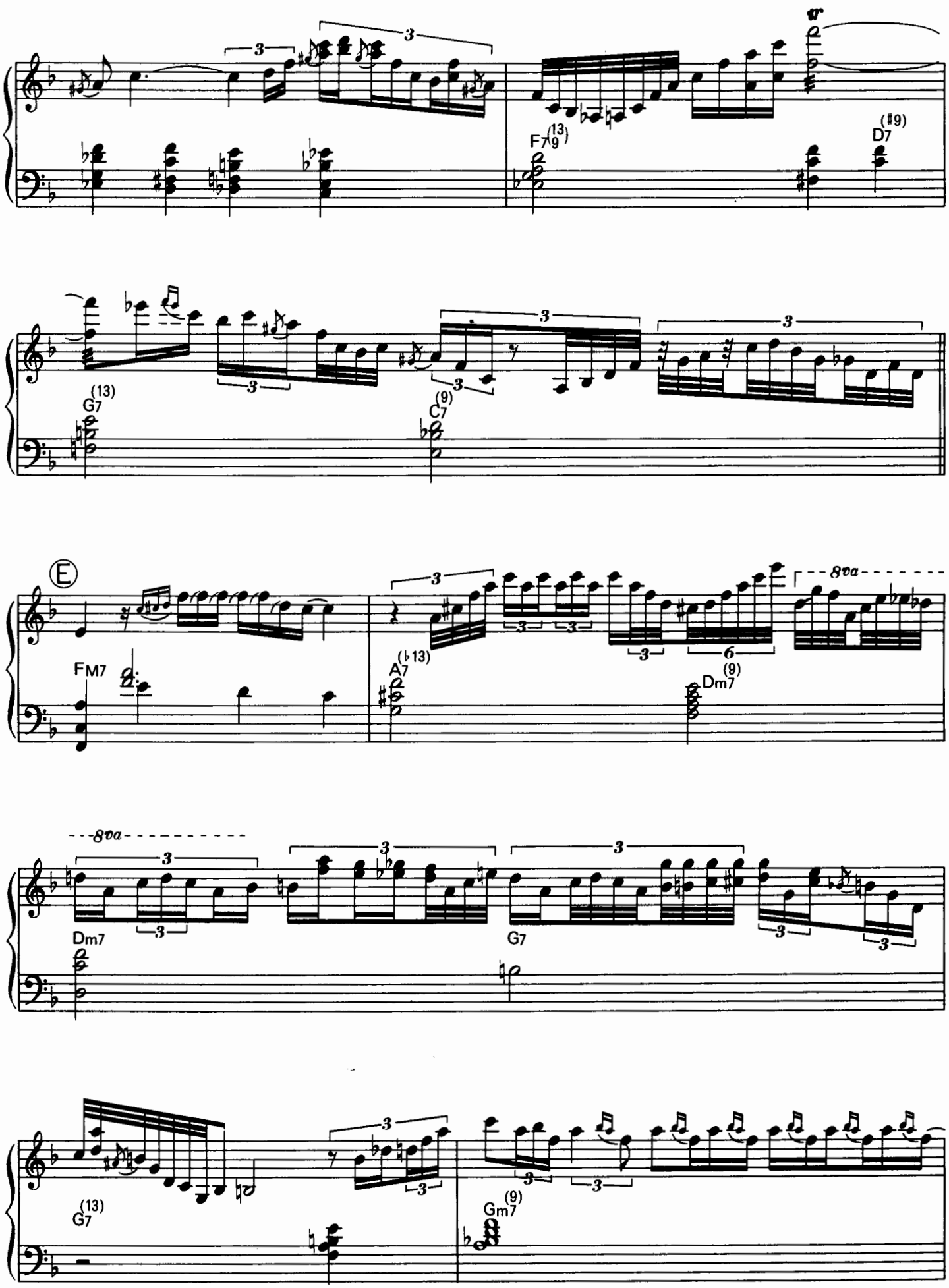
By Duke Ellington, Paul Webster

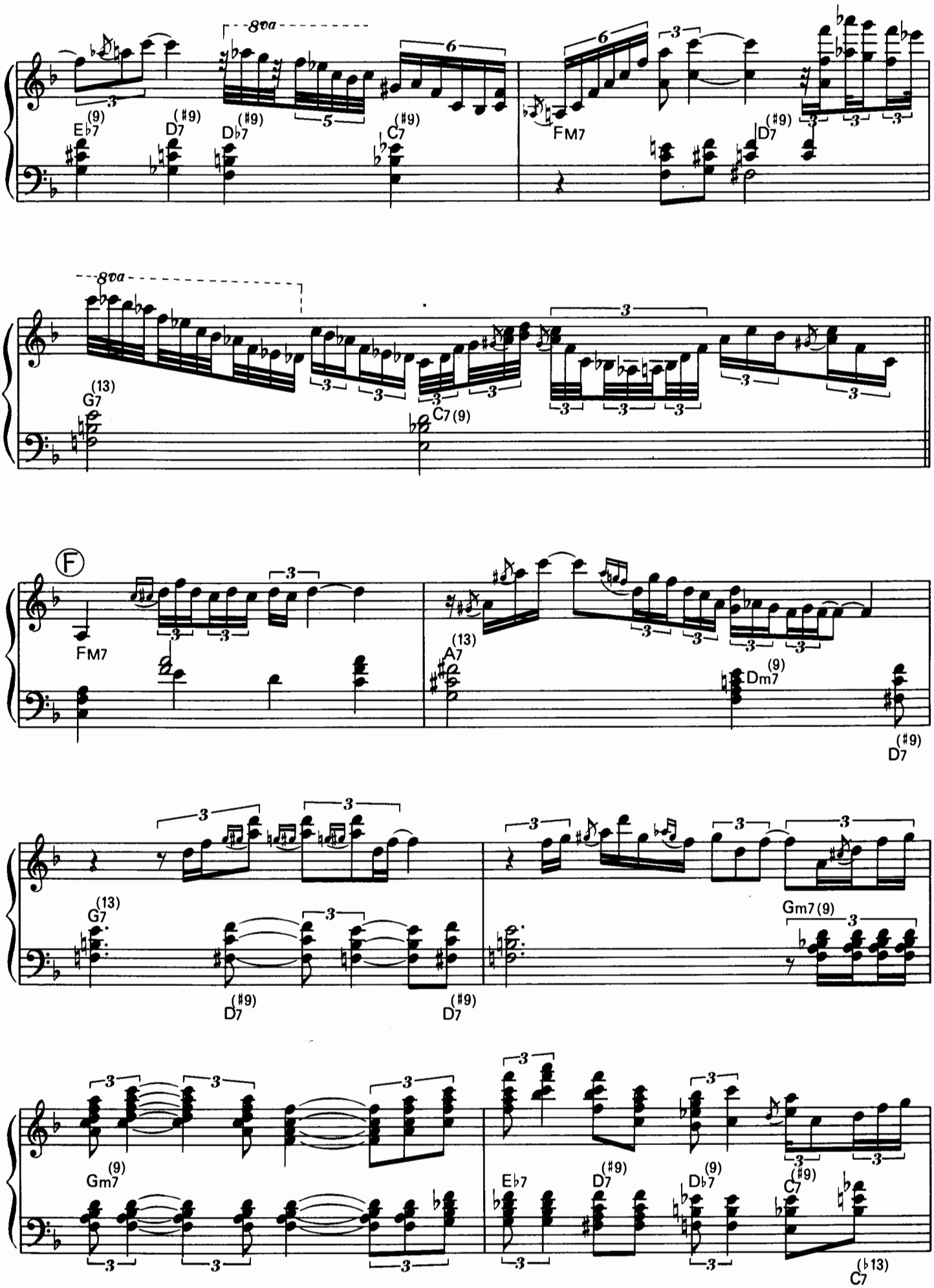


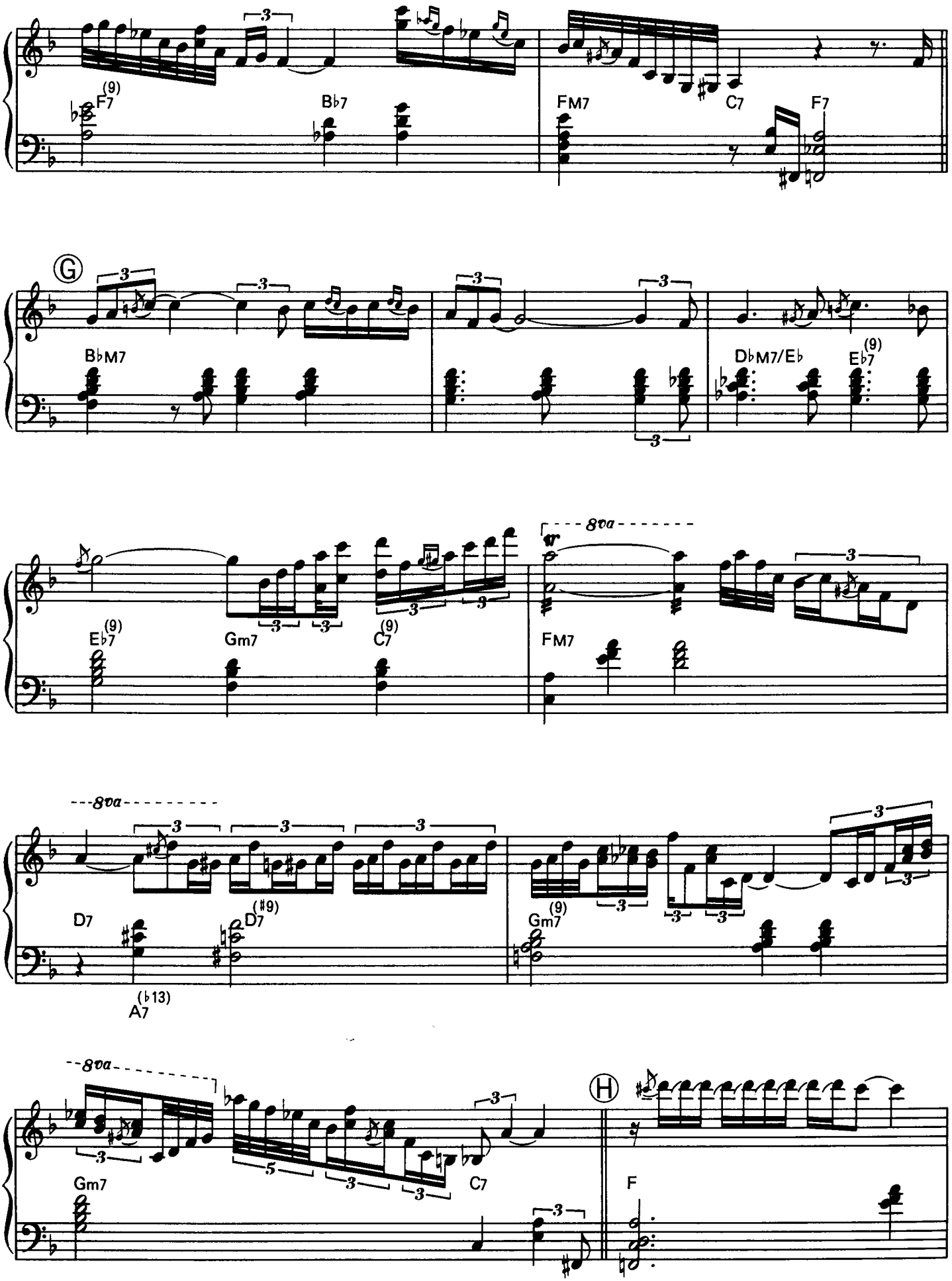
© Copyright 1941 by Robbins Music Corp.
Assigned for Japan to United Artist Music (Japan), Inc.

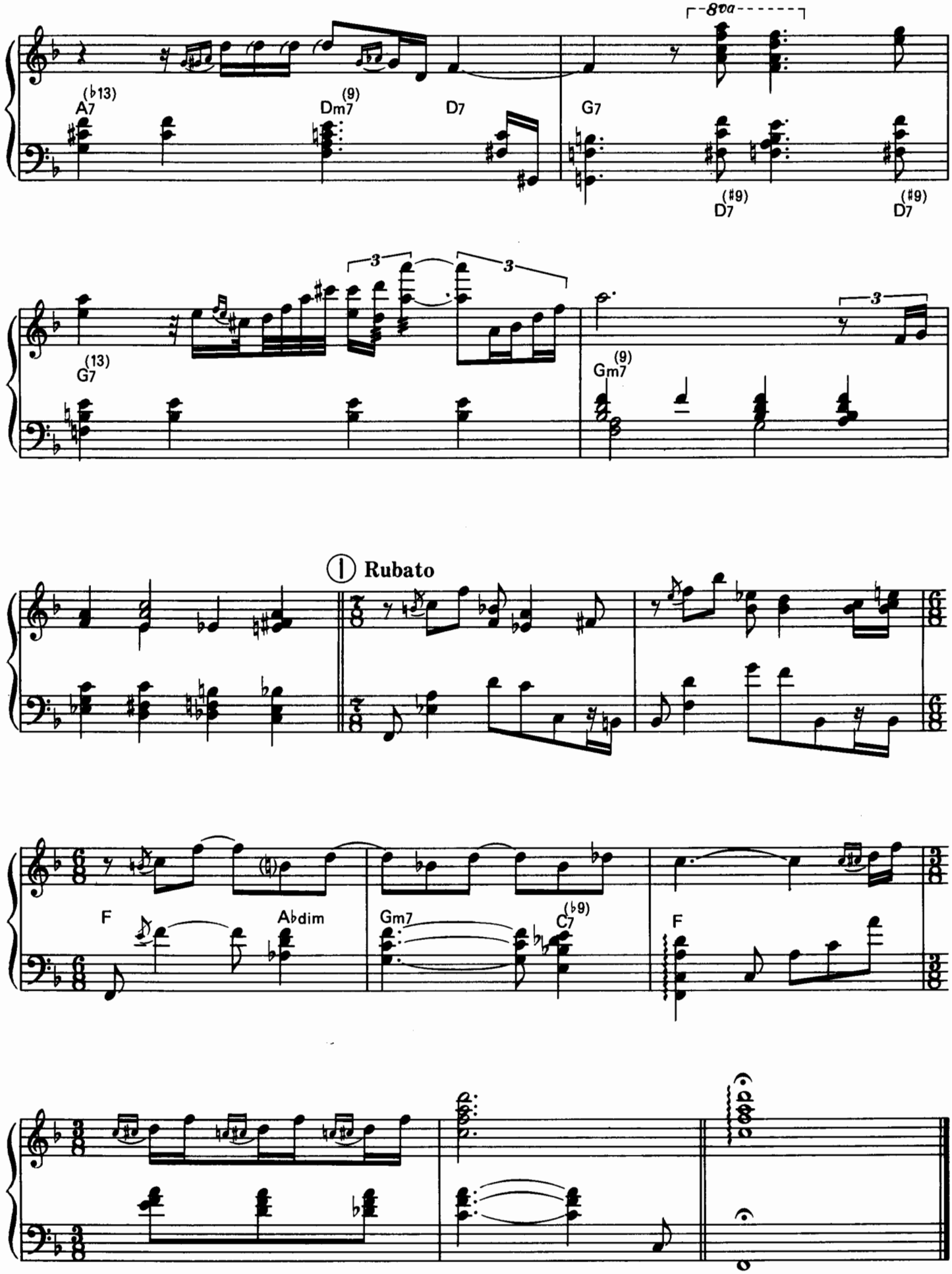

B
FM7
A7(13)
D7
D7(#9)
G7(13)
D7(#9)
D7(#5)
Gm7(9)
8va
Gm7(9)
Eb7
D7(#9)
Db7(9)
C7(13)
F7
Bb7
C7
F
C7
F7
F7(9)
C
BbM7
DbM7
Eb7


E♭7
Gm7
C7
FM7
(♯11)
FM7
(9)
E♭7
(9)
D7
(9)
Gm7
Ⓓ
(13)
G7
(♯9)
C7
F♯7
FM7
(13)
A7
(9)
Dm7
(9)
G7
(♭13)
D7
(9)
Gm7


F7(13)
(♯9)
D7
(13)
G7
(9)
C7
E
FM7
A7(♭13)
Dm7(9)
8va
Dm7
G7
(13)
G7
Gm7(9)

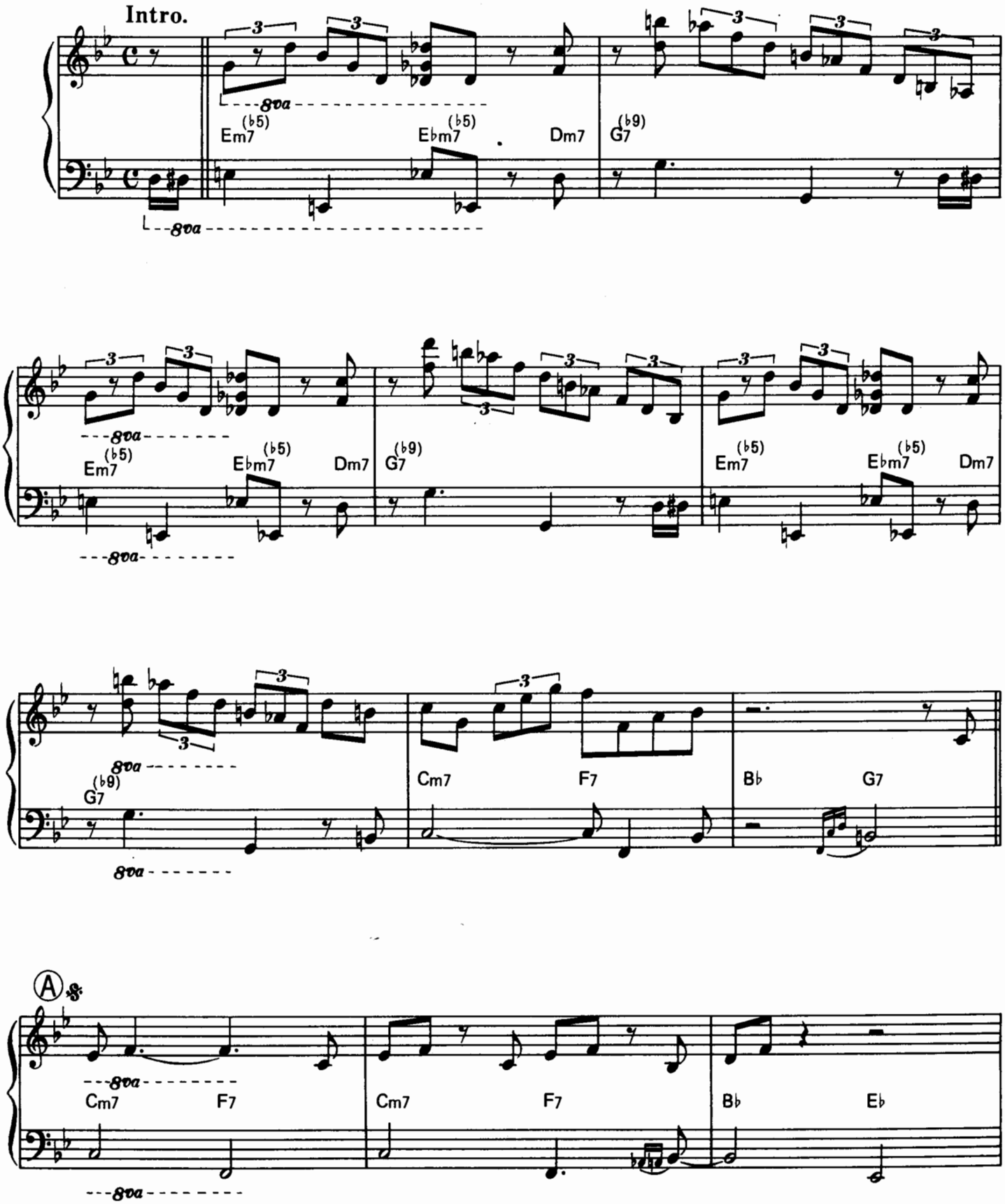

8va
E♭7 (9)
D7 (#9)
D♭7 (#9)
C7 (#9)
FM7
D7 (#9)
8va
G7 (13)
C7 (9)
Ⓕ
FM7
A7 (13)
Dm7 (9)
D7 (#9)
G7 (13)
D7 (#9)
D7 (#9)
Gm7 (9)
Gm7 (9)
E♭7
D7 (#9)
D♭7 (9)
C7 (#9)
C7 (♭13)


F7(9)
B♭7
FM7
C7
F7
G
B♭M7
D♭M7/E♭
E♭7(9)
E♭7(9)
Gm7
C7(9)
FM7
8va
D7
D7(♯9)
A7(♭13)
Gm7(9)
8va
Gm7
C7
H
F

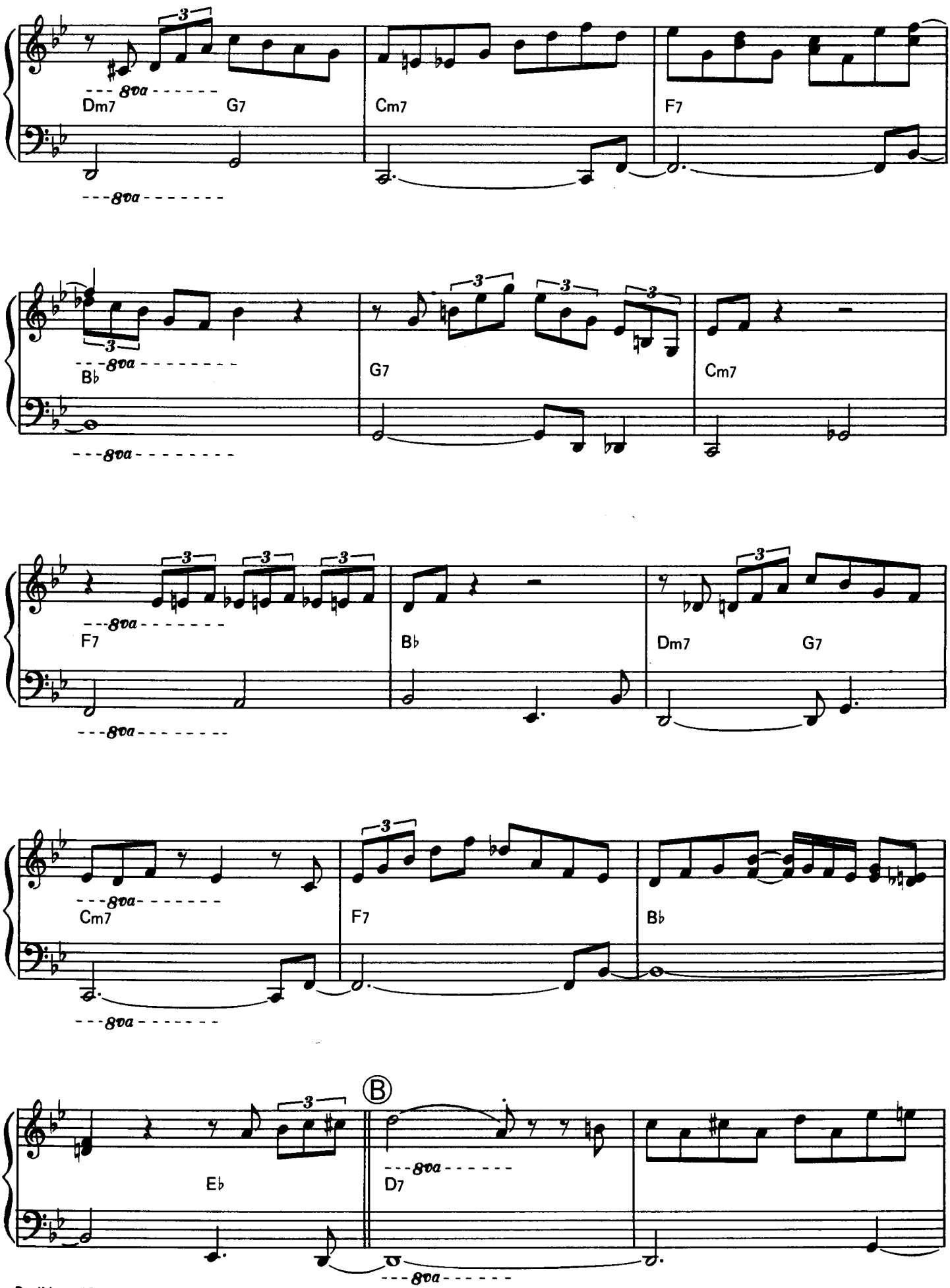

8va
A7 (♭13)
Dm7 (9)
D7
G7
D7 (♯9)
D7 (♯9)
G7 (13)
Gm7 (9)
Rubato
F
A♭dim
Gm7
C7 (♭9)
F

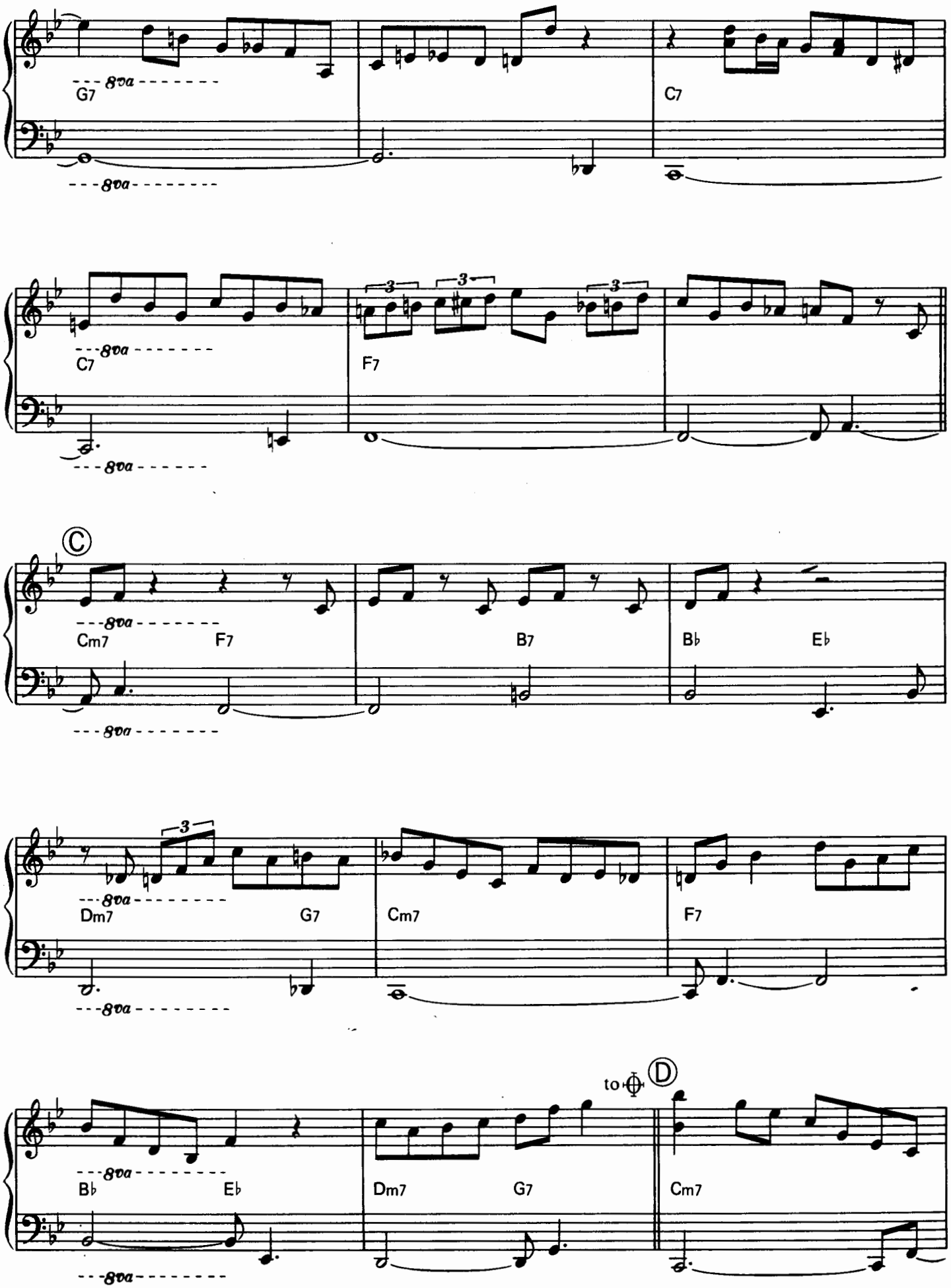
PERDIDO

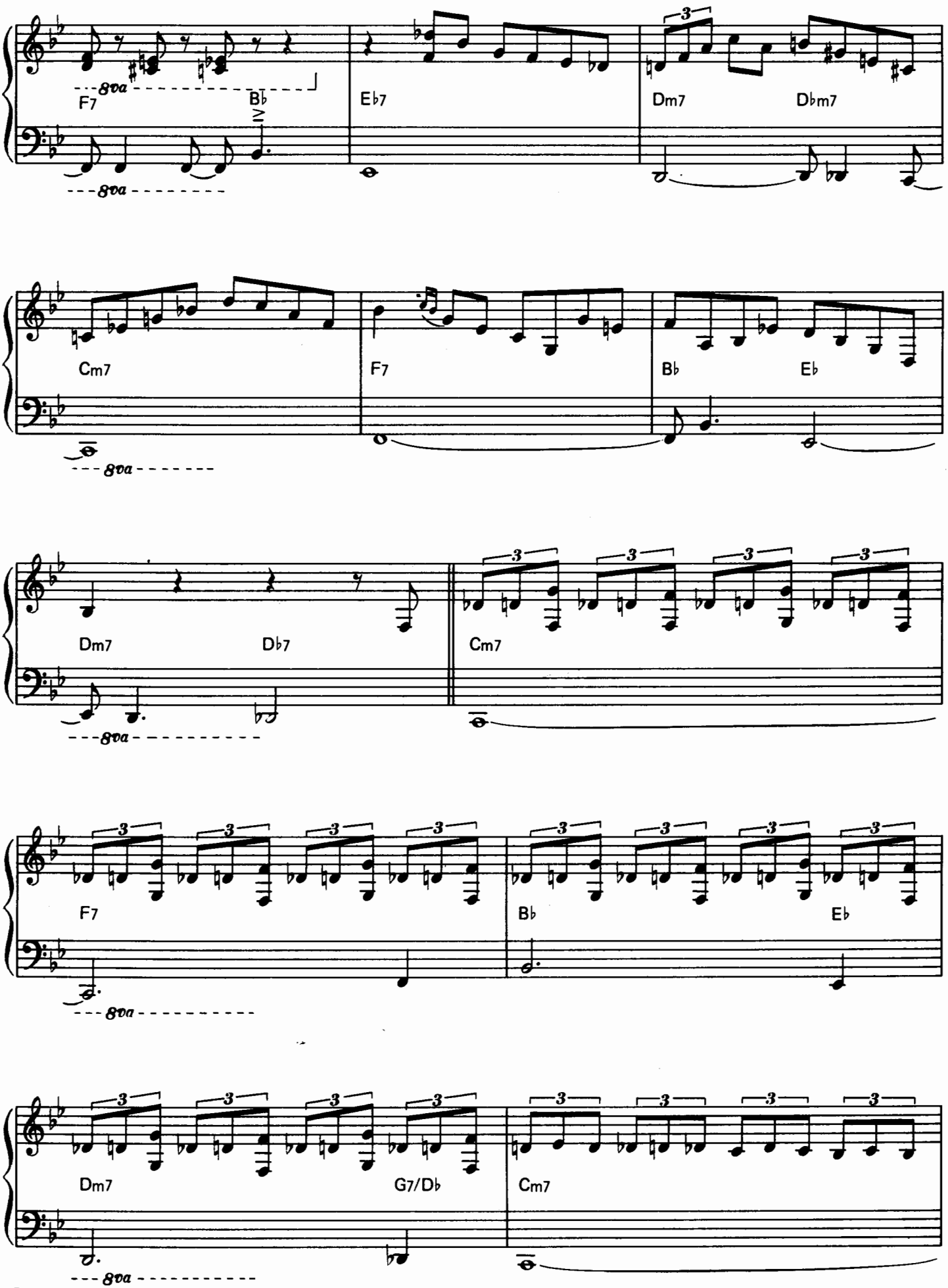
By Juan Tizol

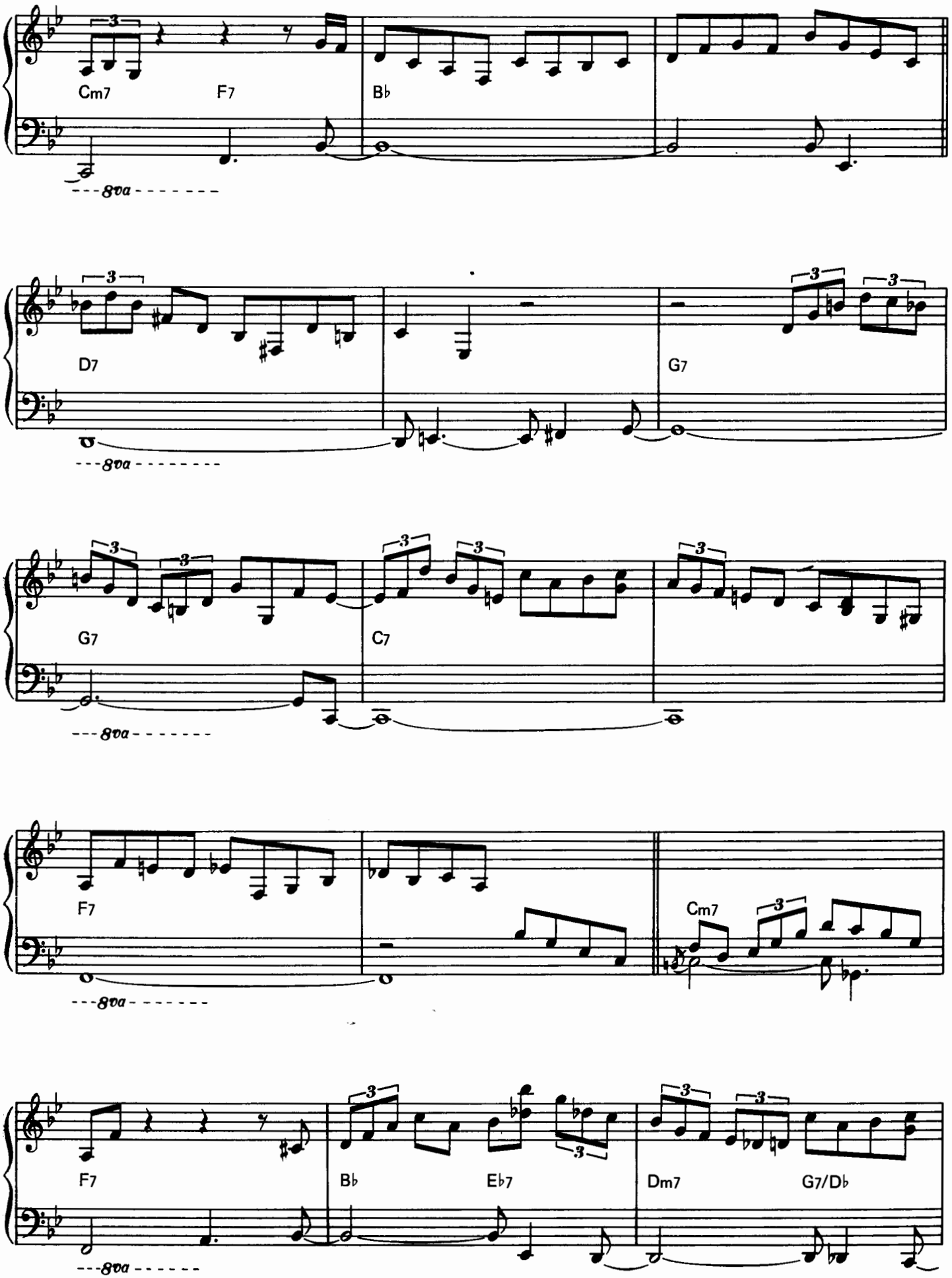


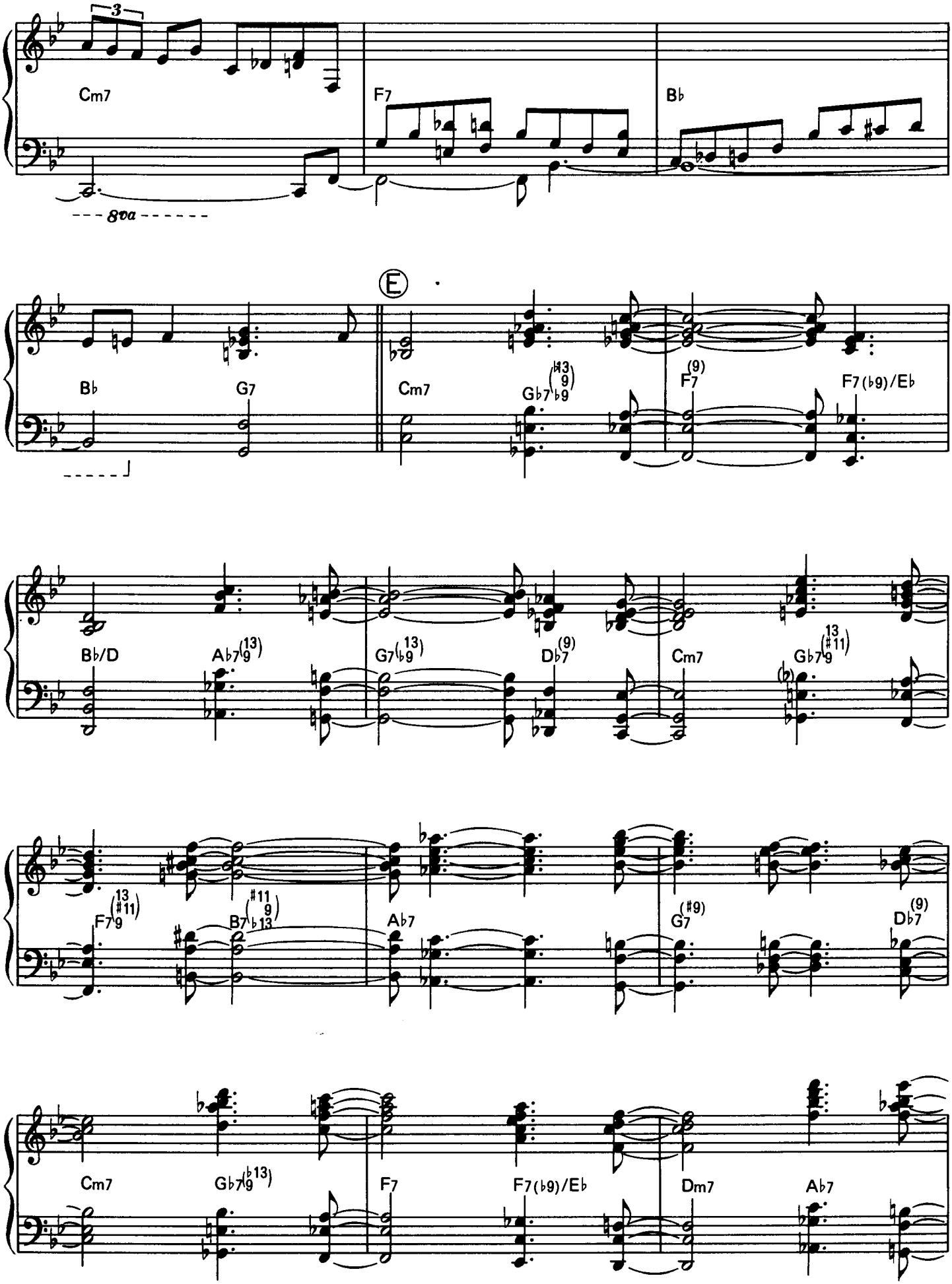
© Copyright 1942 by Tempo Music Inc.
Assigned for Japan to United Artist Music (Japan), Inc.

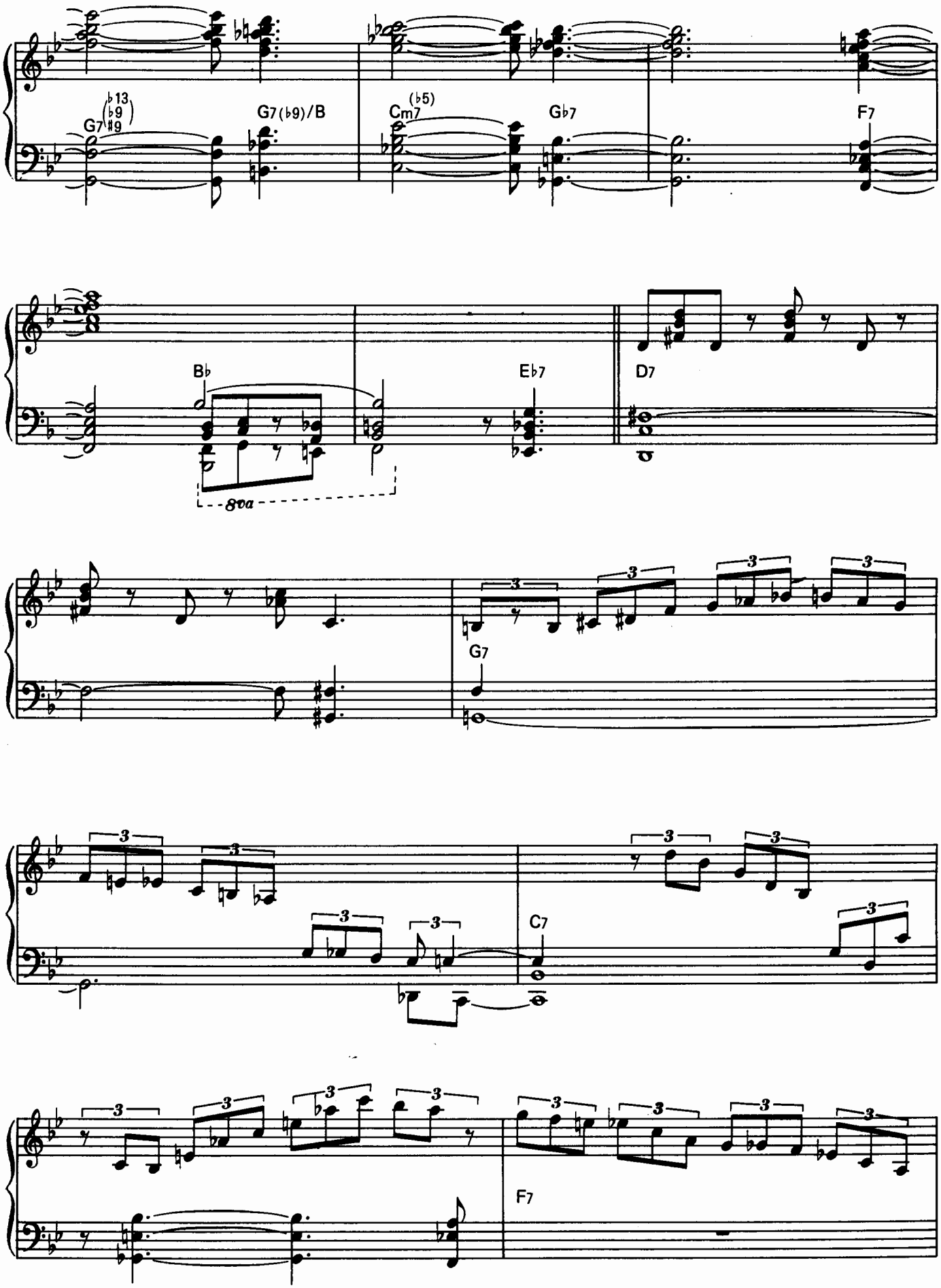

Dm7
G7
Cm7
F7
B♭
G7
Cm7
F7
B♭
Dm7
G7
Cm7
F7
B♭
Ⓑ
E♭
D7
8va

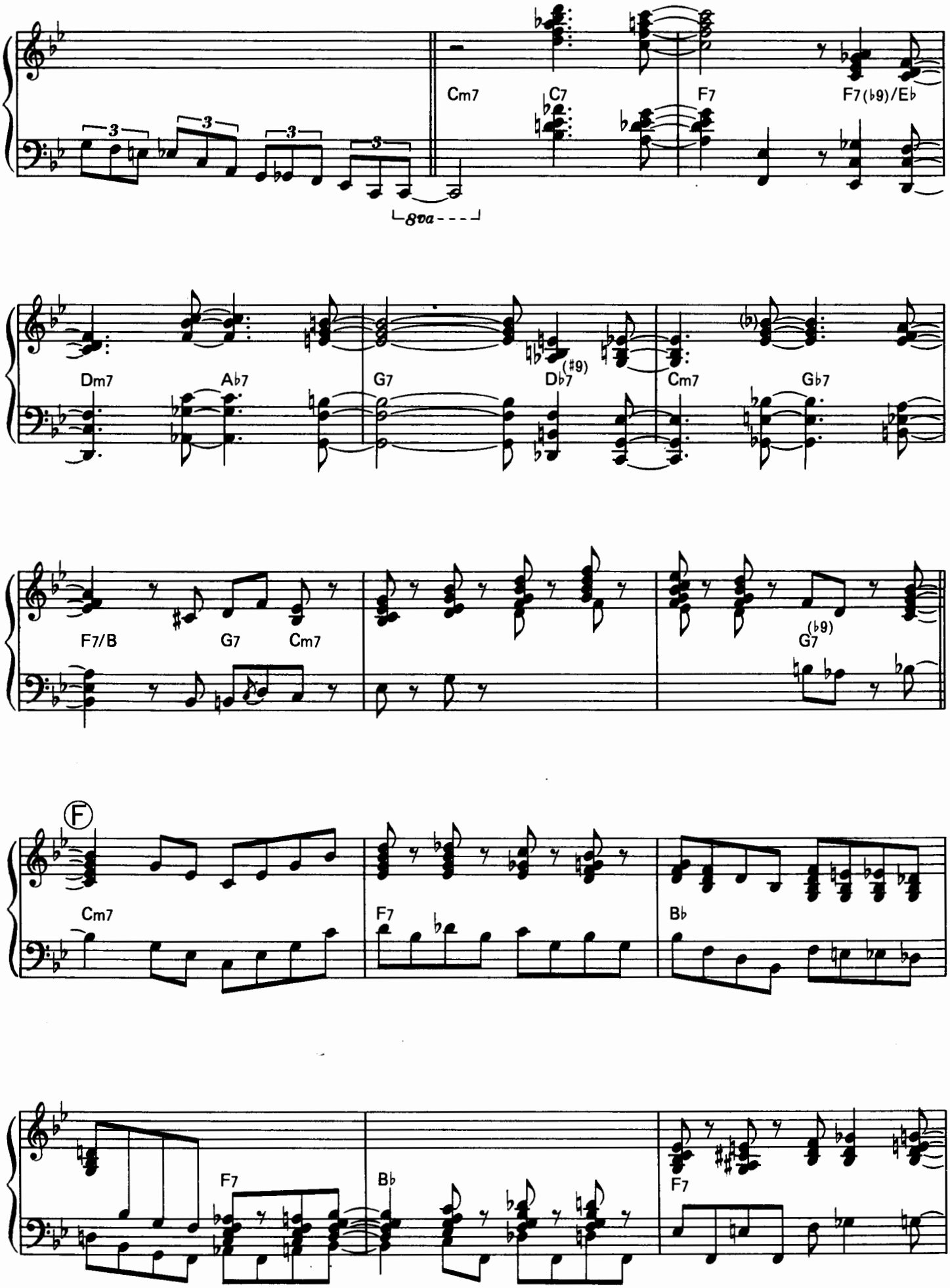

G7
8va
C7
C7
F7
Ⓒ
Cm7
F7
B7
B♭
E♭
Dm7
G7
Cm7
F7
B♭
E♭
Dm7
G7
to Ⓓ
Cm7

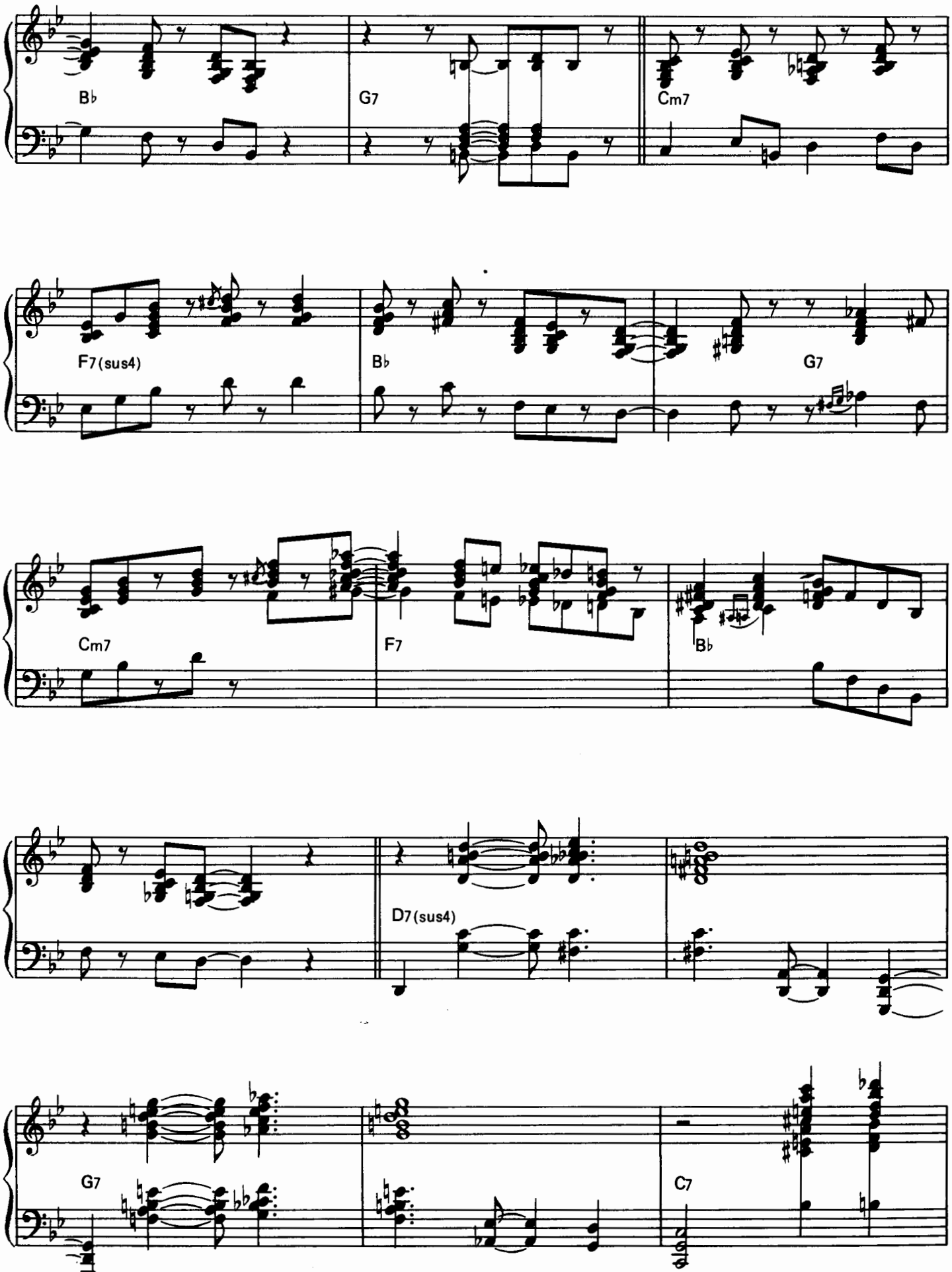

F7
B♭
E♭7
Dm7
D♭m7
Cm7
F7
B♭
E♭
Dm7
D♭7
Cm7
F7
B♭
E♭
Dm7
G7/D♭
Cm7
8va

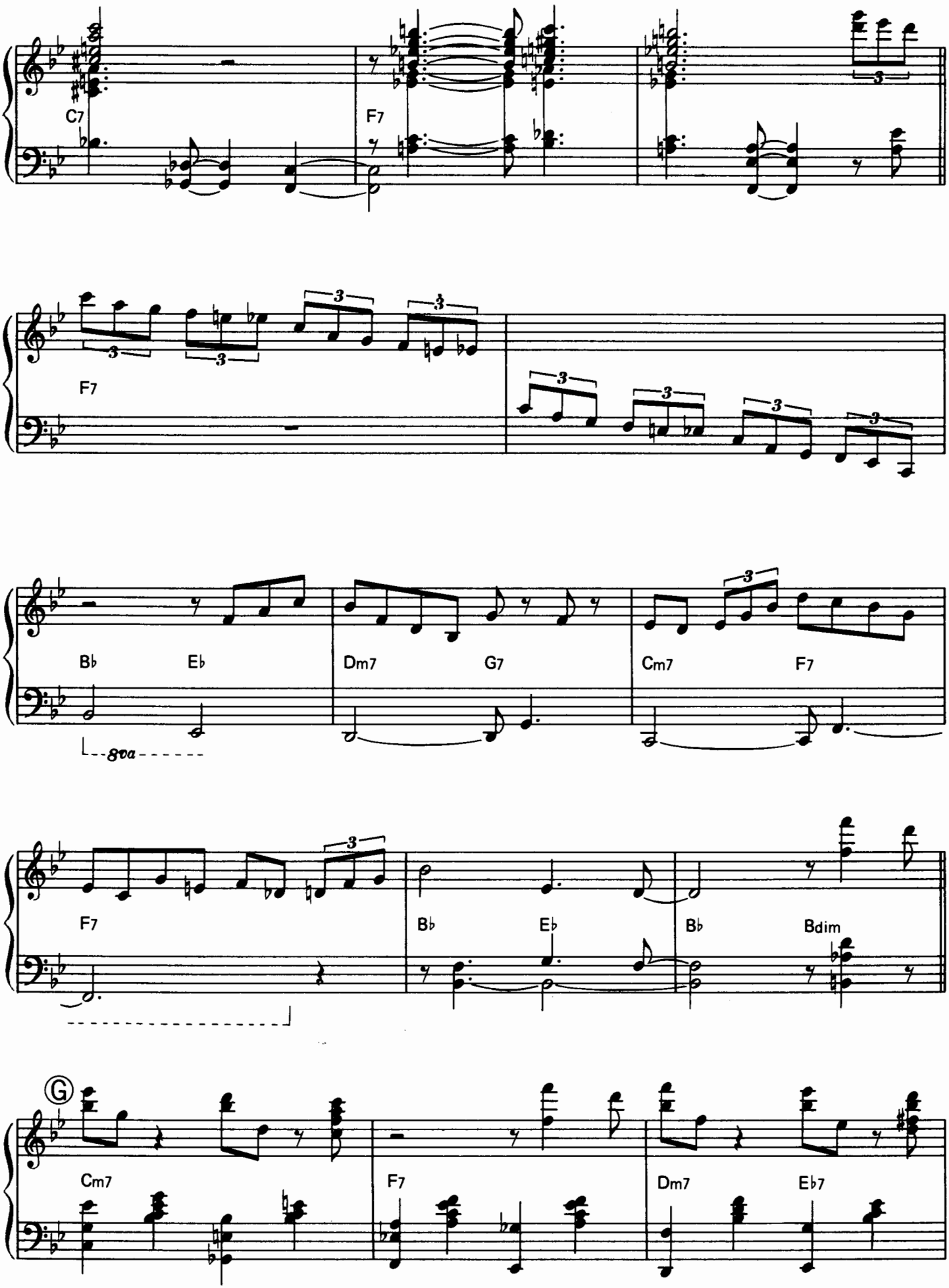

Cm7
F7
B♭
8va
D7
G7
8va
G7
C7
8va
F7
Cm7
8va
F7
B♭
E♭7
Dm7
G7/D♭
8va

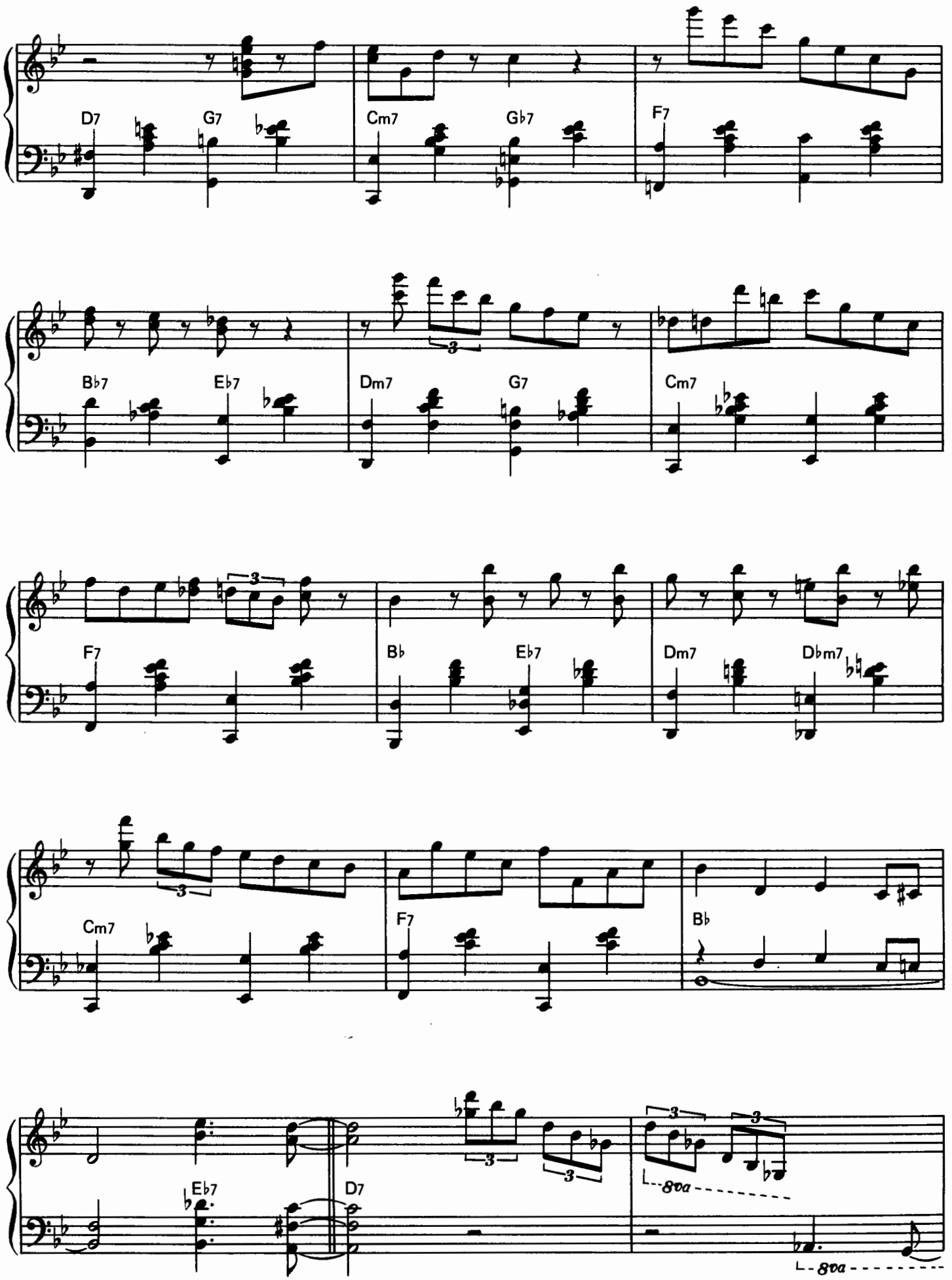

3
Cm7
F7
B♭
8va
E
B♭
G7
Cm7
G♭7(♯9 ♭9)
F7(9)
F7(♭9)/E♭
B♭/D
A♭7(13)
G7(♭9 13)
D♭7(9)
Cm7
G♭7(♯11 13)
F7(♯11 13)
B7(♯11 9 ♭13)
A♭7
G7(♯9)
D♭7(9)
Cm7
G♭7(♭13 9)
F7
F7(♭9)/E♭
Dm7
A♭7

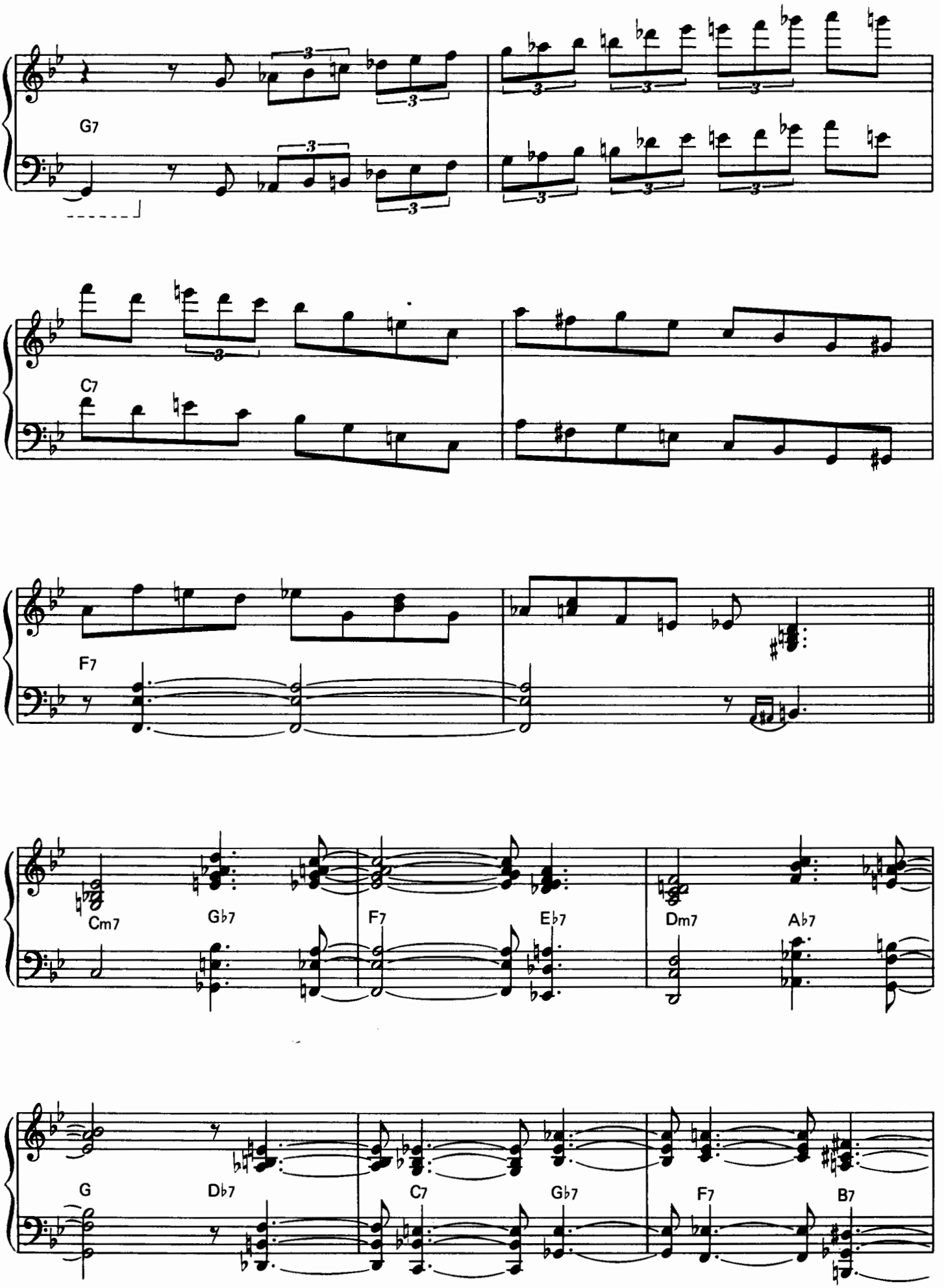

G7 (♭13 ♭9 ♯9)
G7(♭9)/B
Cm7 (♭5)
G♭7
F7
B♭
E♭7
D7
8va
G7
C7
F7

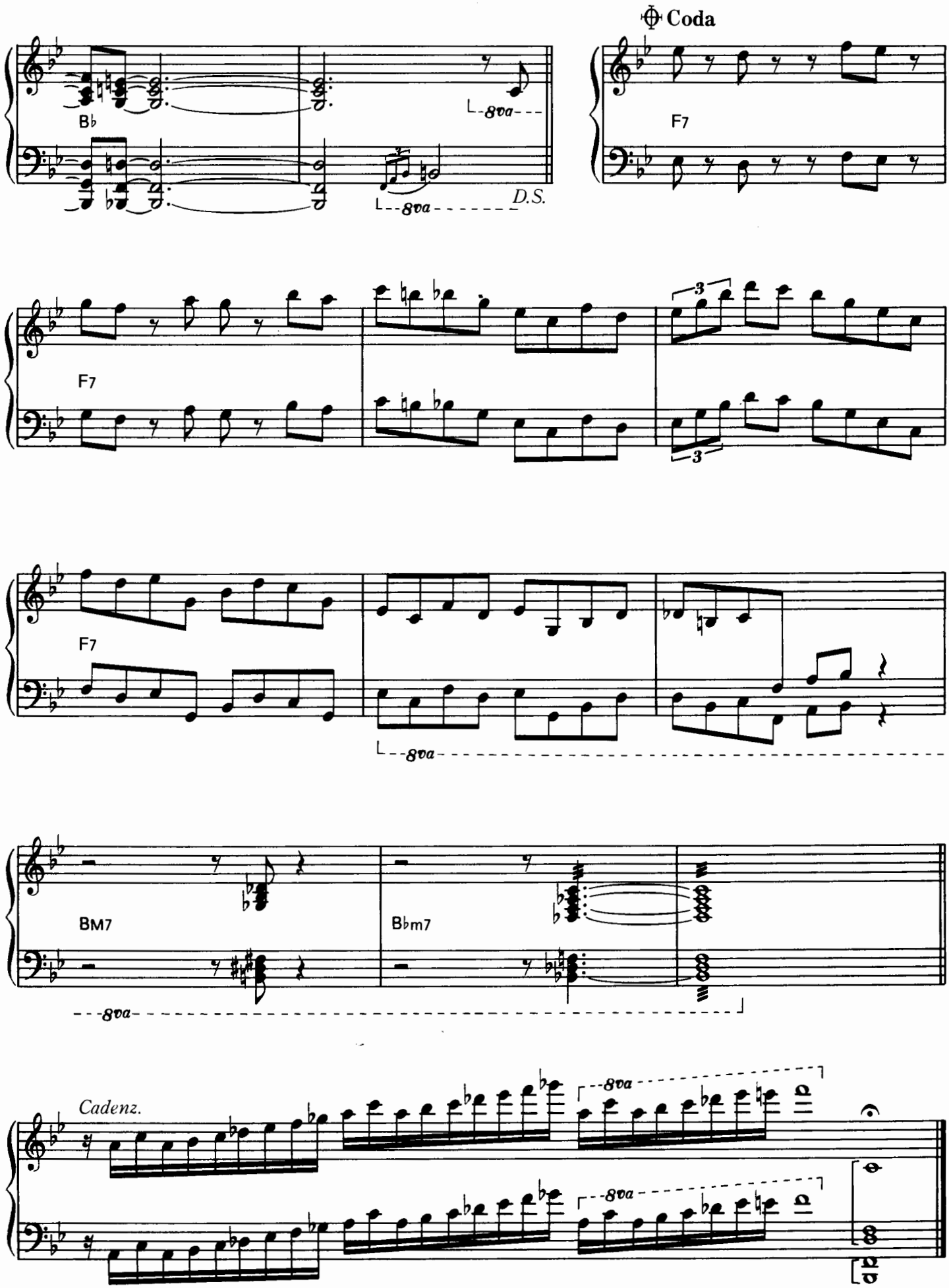

Cm7
C7
F7
F7(♭9)/E♭
8va
Dm7
A♭7
G7
D♭7(♯9)
Cm7
G♭7
F7/B
G7
Cm7
G7(♭9)
Ⓕ
Cm7
F7
B♭
F7
B♭
F7


B♭
G7
Cm7
F7(sus4)
B♭
G7
Cm7
F7
B♭
D7(sus4)
G7
C7


C7
F7
F7
B♭
E♭
Dm7
G7
Cm7
F7
8va
F7
B♭
E♭
B♭
Bdim
G
Cm7
F7
Dm7
E♭7

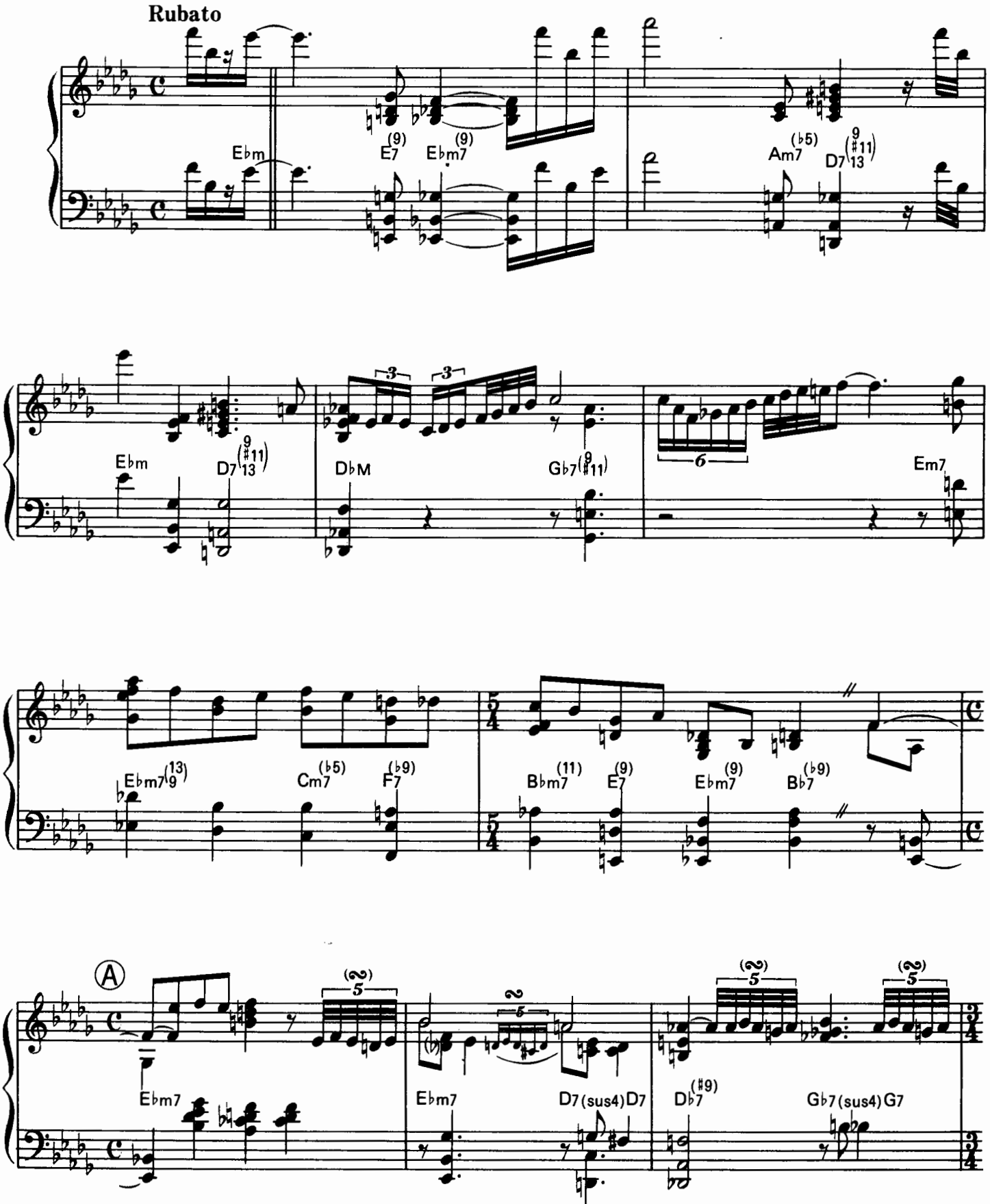

D7
G7
Cm7
Gb7
F7
Bb7
Eb7
Dm7
G7
Cm7
F7
Bb
Eb7
Dm7
Dbm7
Cm7
F7
Bb
Eb7
D7
8va
8va


G7
C7
F7
Cm7
Gb7
F7
Eb7
Dm7
Ab7
G
Db7
C7
Gb7
F7
B7

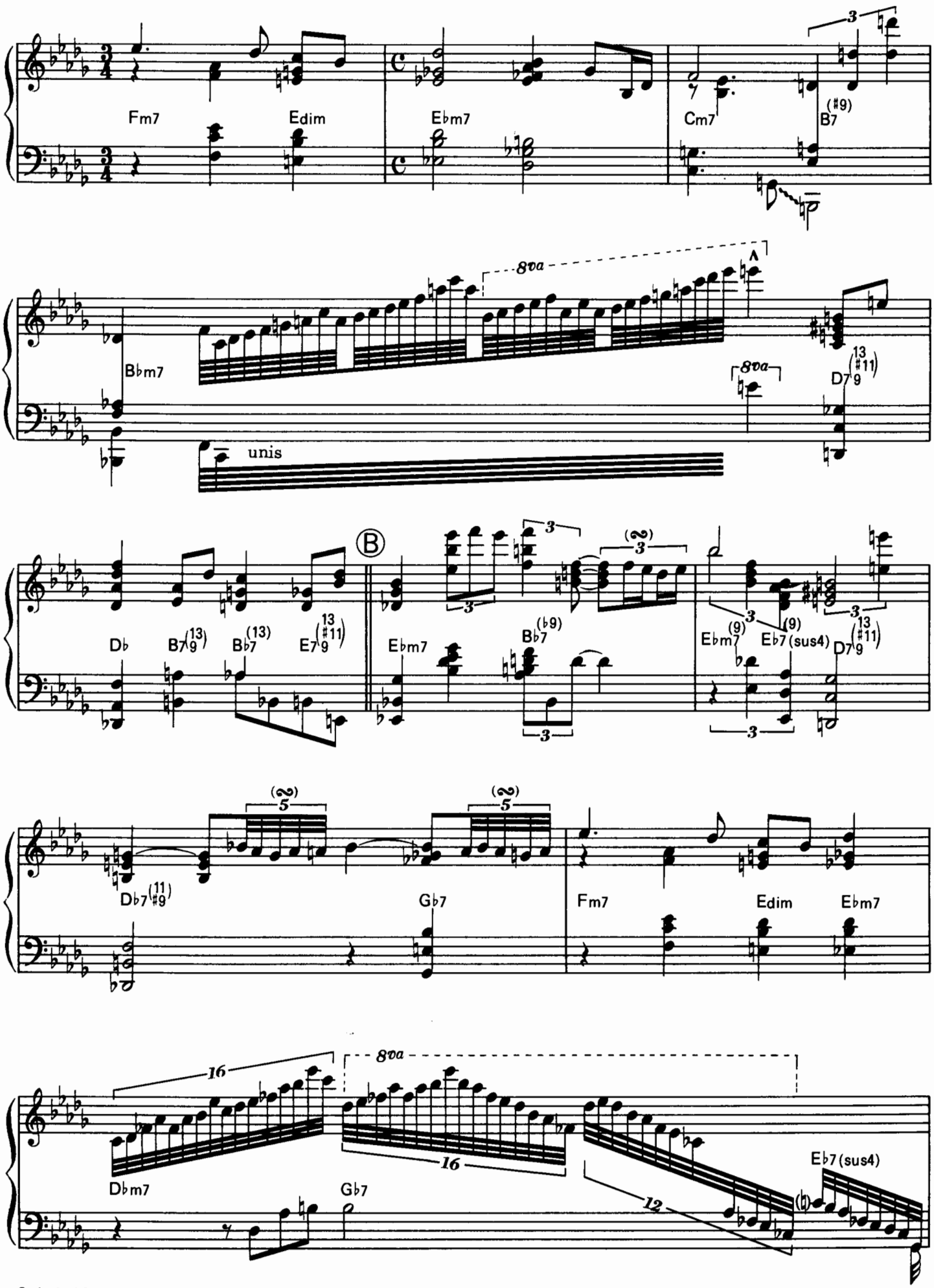

Coda
B♭
8va
D.S.
F7
F7
3
3
F7
8va
BM7
B♭m7
8va
Cadenz.
8va
8va

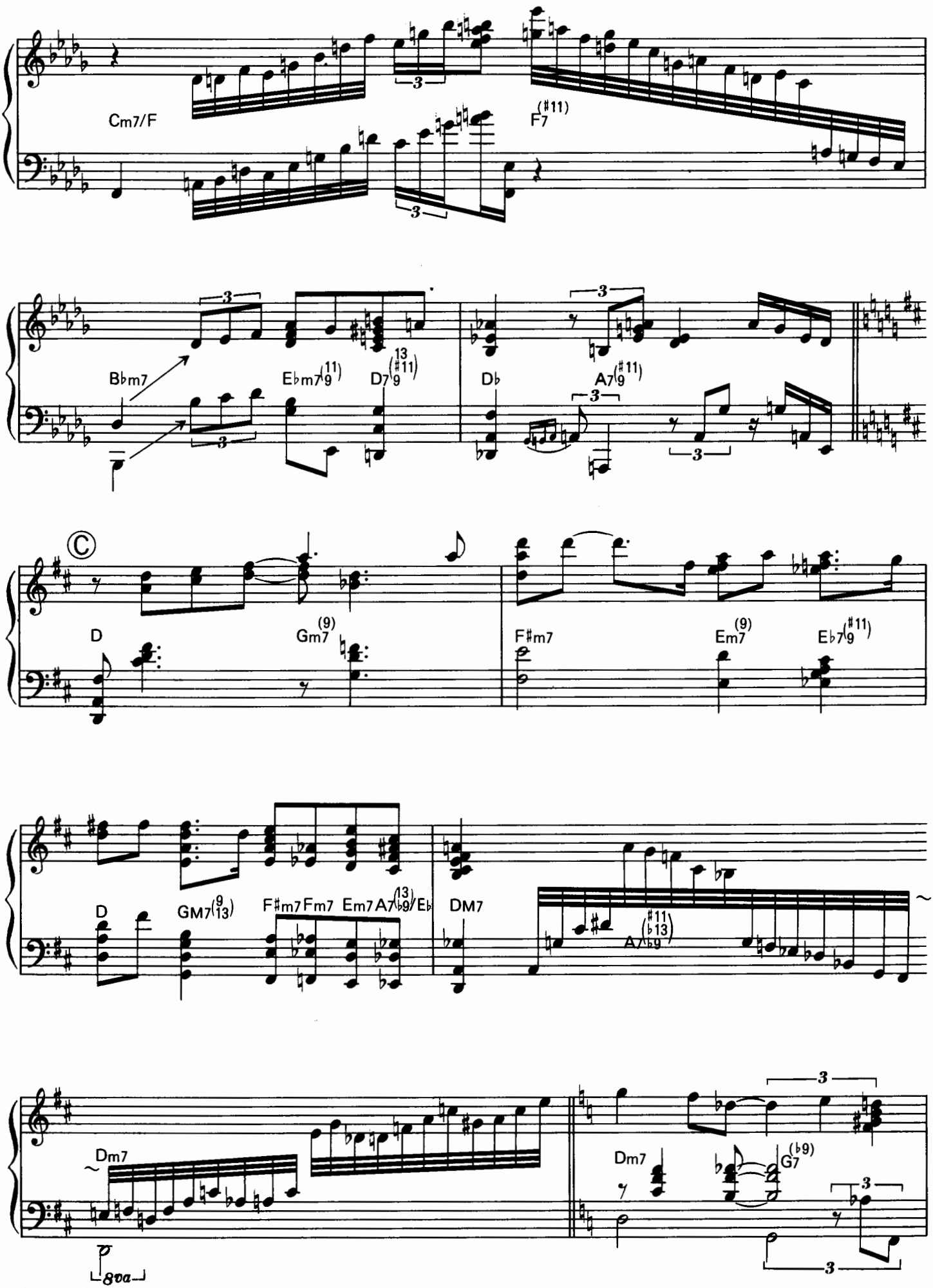
BODY AND SOUL

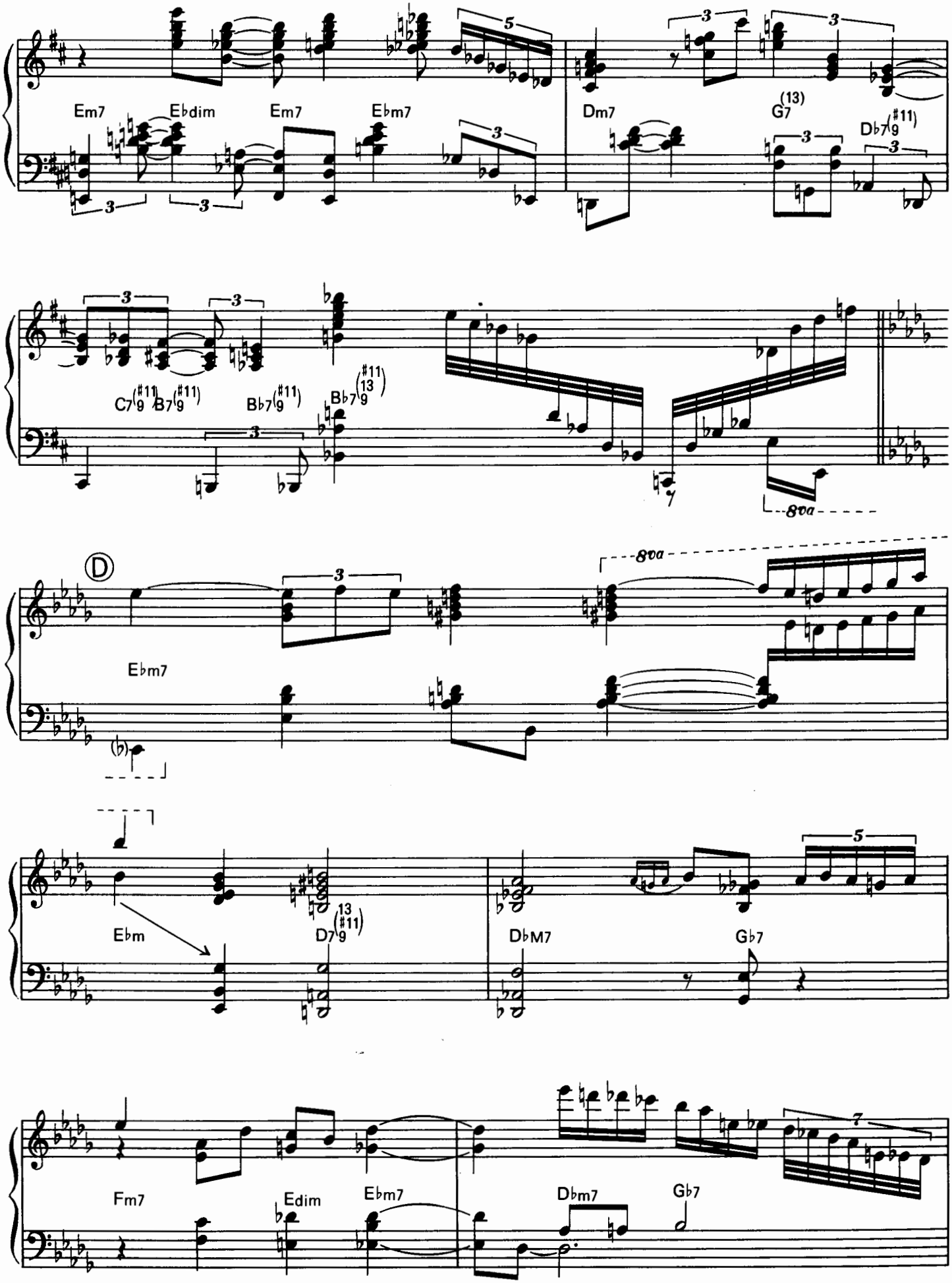
By Johnnie Green

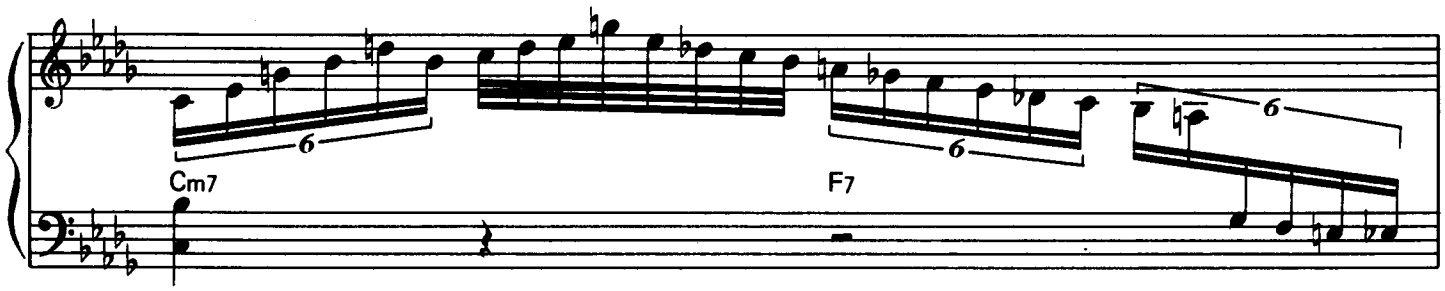


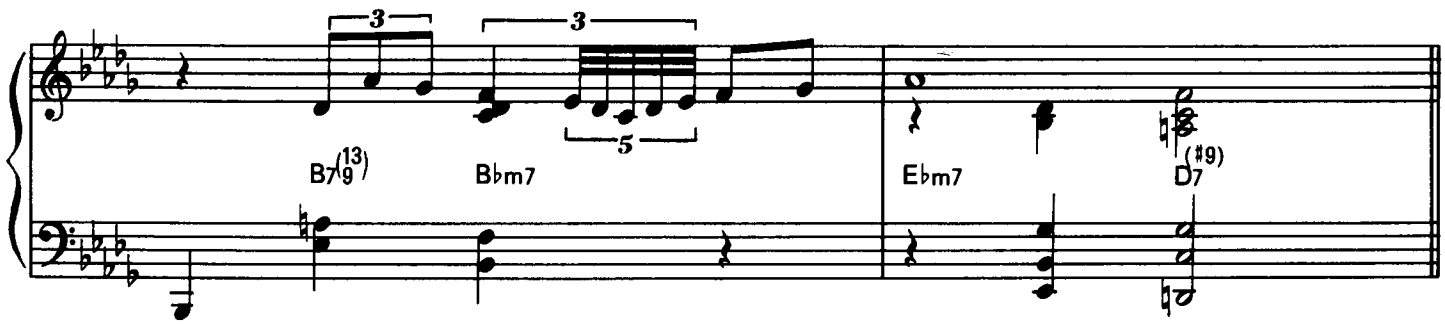
© Copyright 1930 by Chappell & Co., Ltd.
Rights for Japan assigned to Chappell K.K.

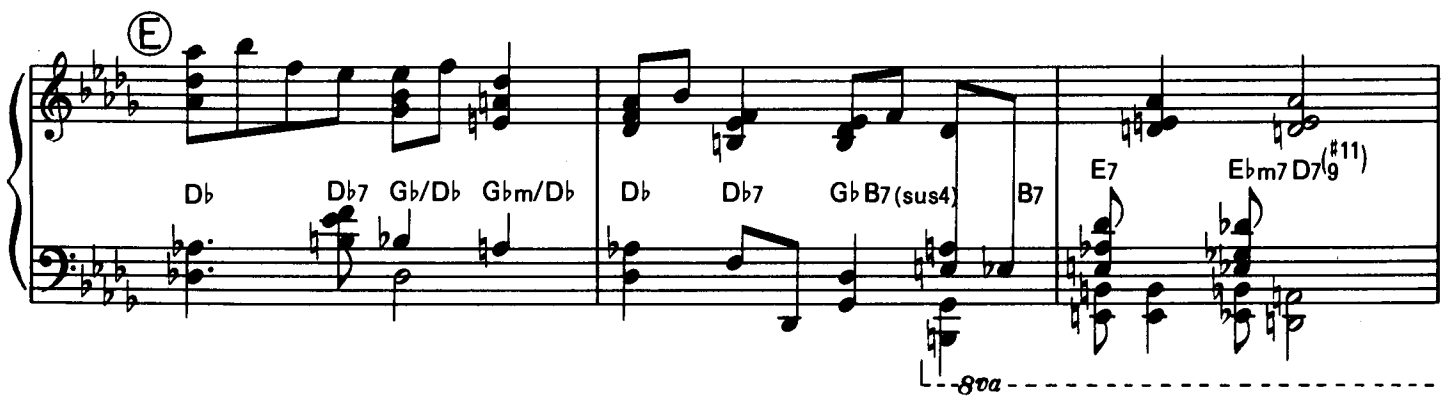

Fm7
Edim
Ebm7
Cm7
B7 (#9)
8va
Bbm7
unis
D7 (13 #11)
Db
B7 (13)
Bb7 (13)
E7 (13 #11)
Ebm7
Bb7 (b9)
Ebm7 (9)
Eb7 (sus4)
D7 (13 #11)
Db7 (11 #9)
Gb7
Fm7
Edim
Ebm7
16
Dbm7
Gb7
12
Eb7 (sus4)

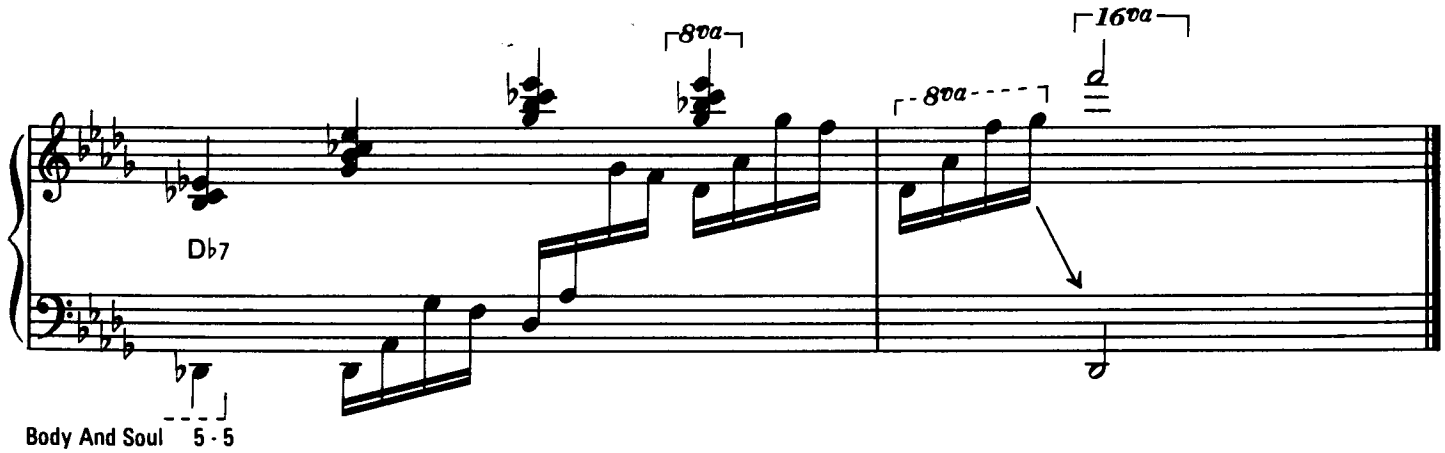

Cm7/F
F7(#11)
B♭m7
E♭m7(11)
D7(13 #11)
D♭
A7(#11)
Ⓒ
D
Gm7(9)
F♯m7
Em7(9)
E♭7(#11)
D
GM7(9 13)
F♯m7 Fm7 Em7 A7(13 ♭9) /E♭
DM7
A7(♯11 ♭13)
Dm7
8va
Dm7
G7(♭9)


Em7
Ebdim
Em7
Ebm7
Dm7
G7(13)
Db7(#11)
C7(#11)
B7(#11)
Bb7(#11)
Bb7(13)(#11)
8va
Ebm7
Ebm
D7(13)(#11)
DbM7
Gb7
Fm7
Edim
Ebm7
Dbm7
Gb7


Cm7
F7

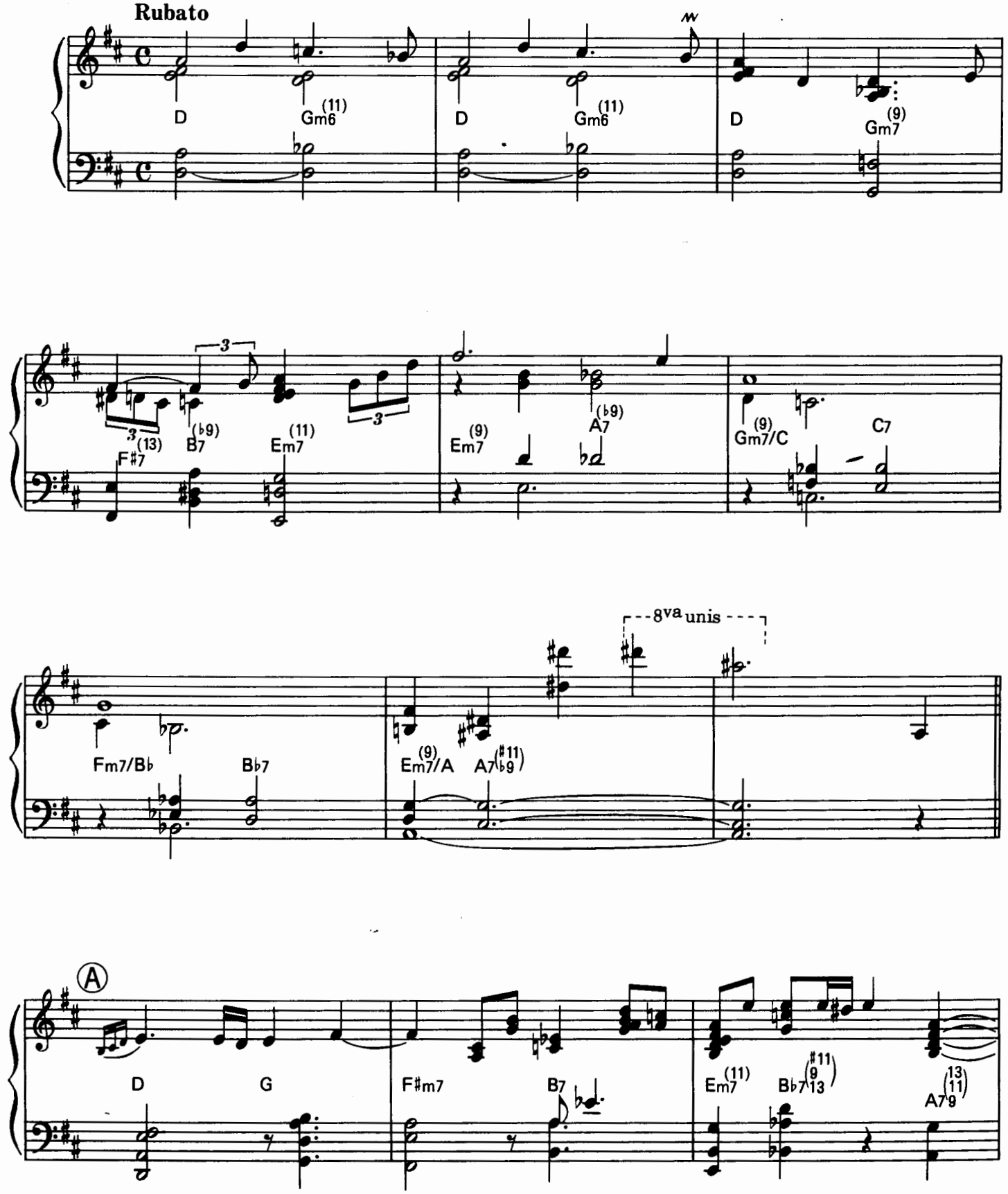

B♭7(13)
B♭m7
E♭m7
D7(♯9)


Ⓔ
D♭
D♭7
G♭/D♭
G♭m/D♭
D♭
D♭7
G♭B7(sus4)
B7
E7
E♭m7 D7(♯9)
8va

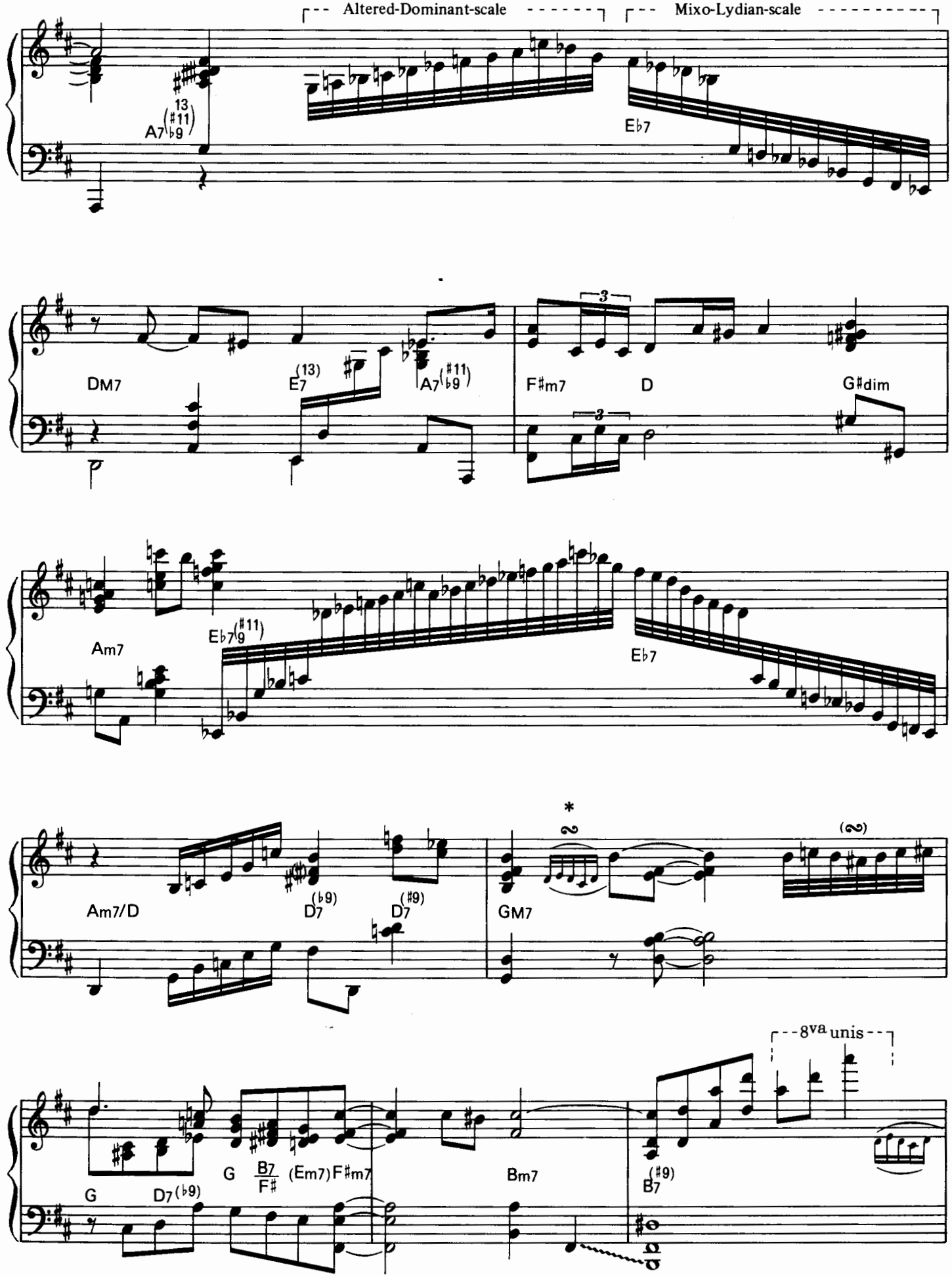

8va
8va
16va
D♭7

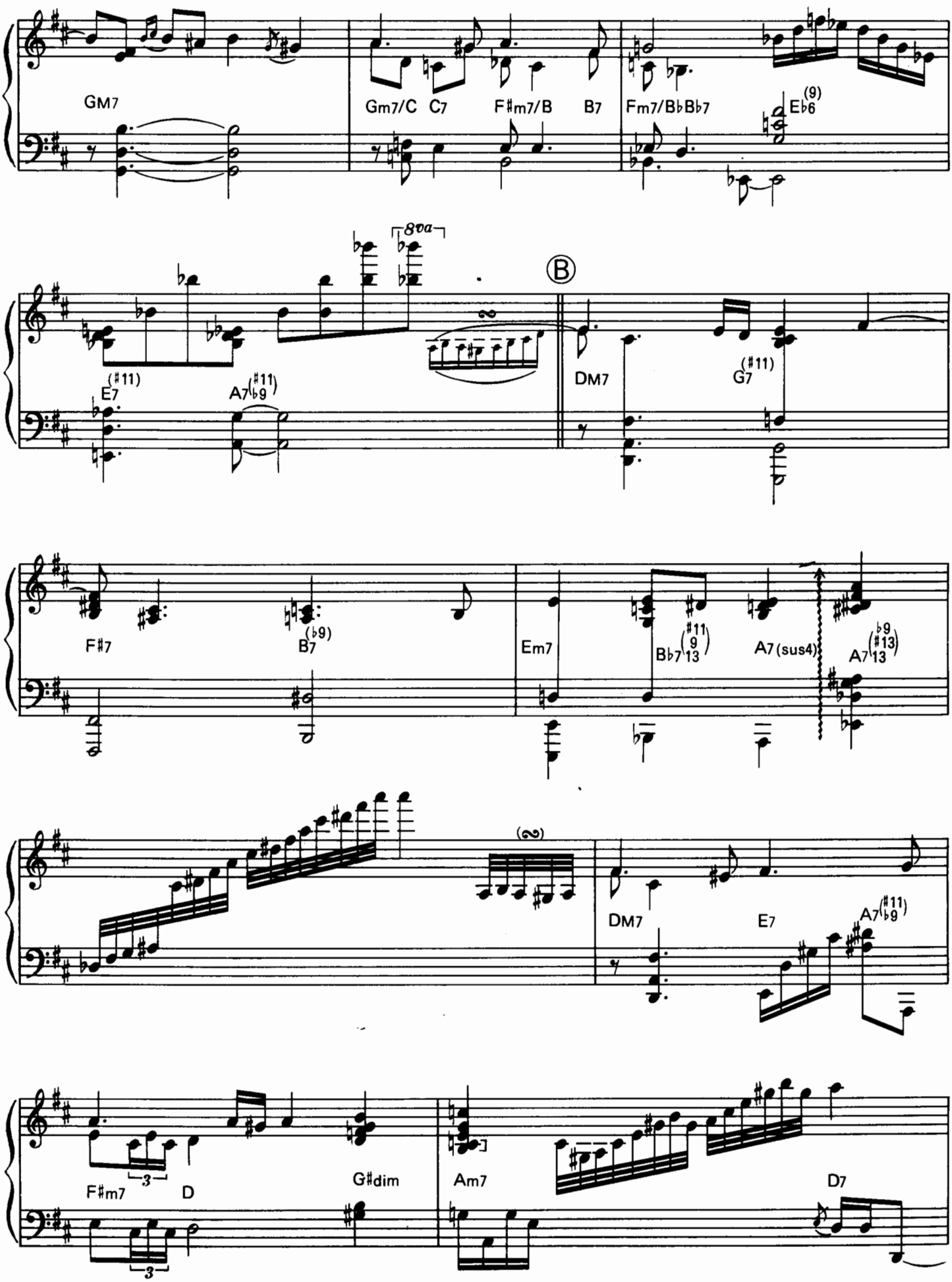
WHO CAN I TURN TO

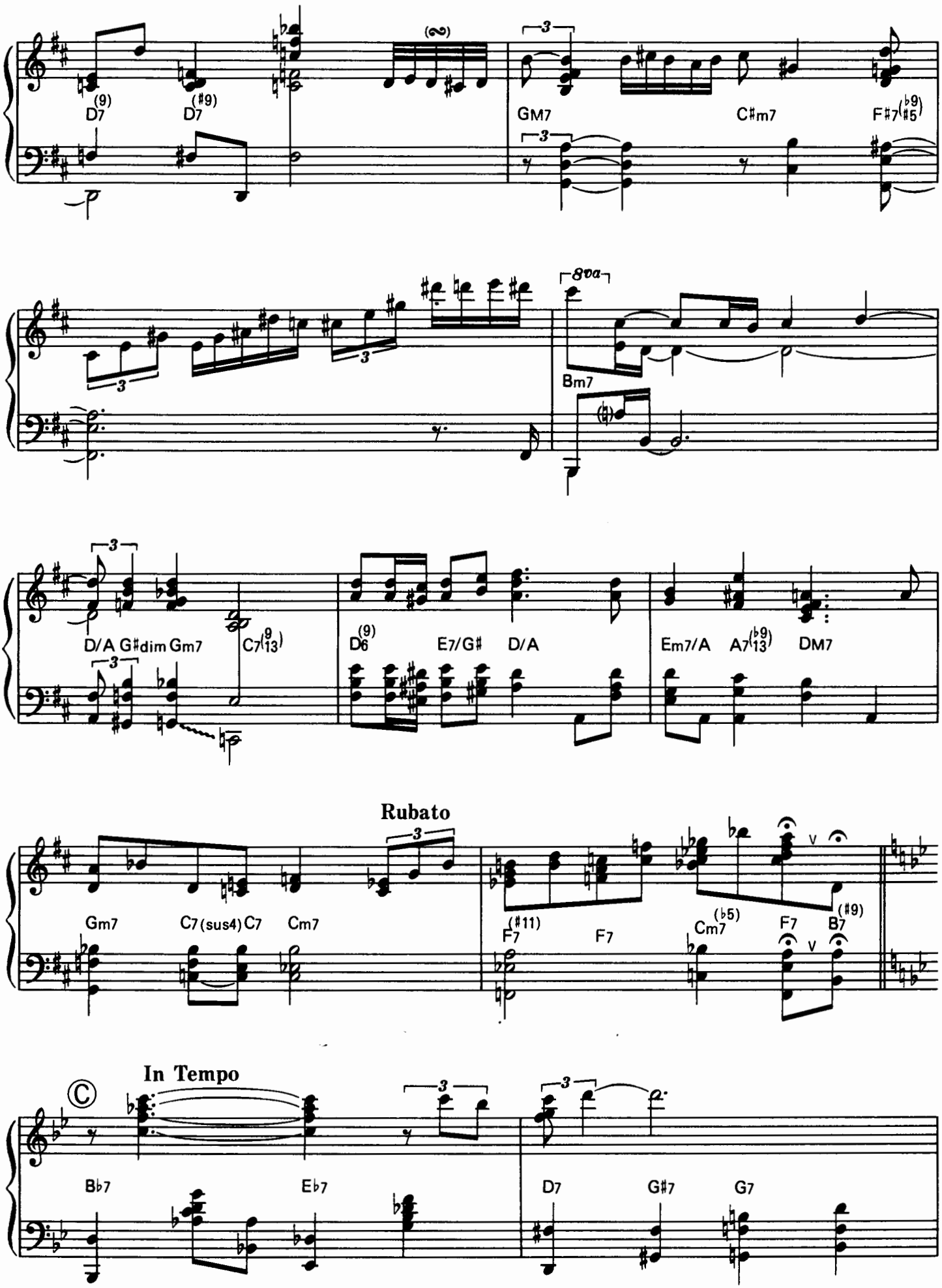
By Leslie Bricusse, Anthony Newley

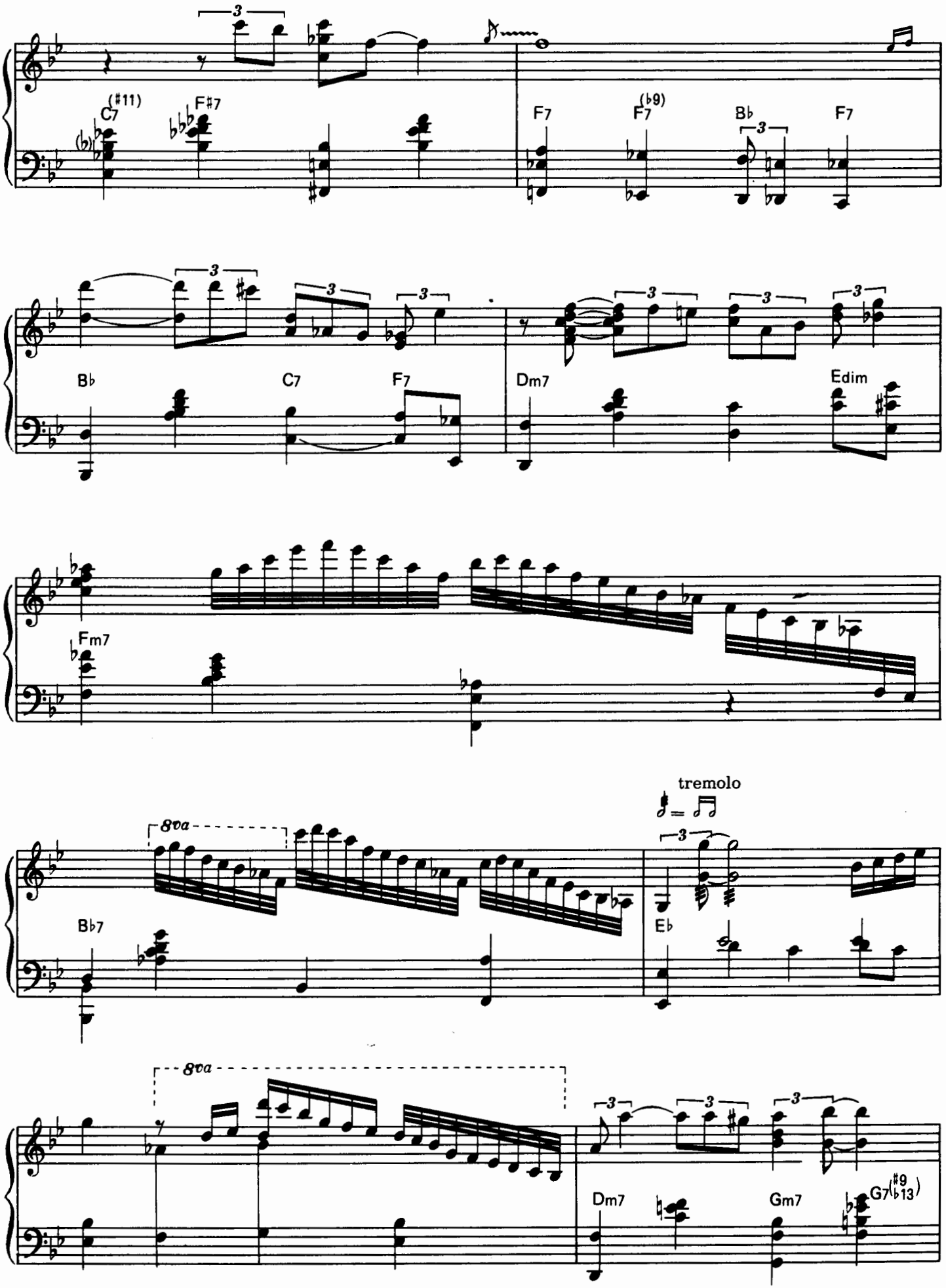


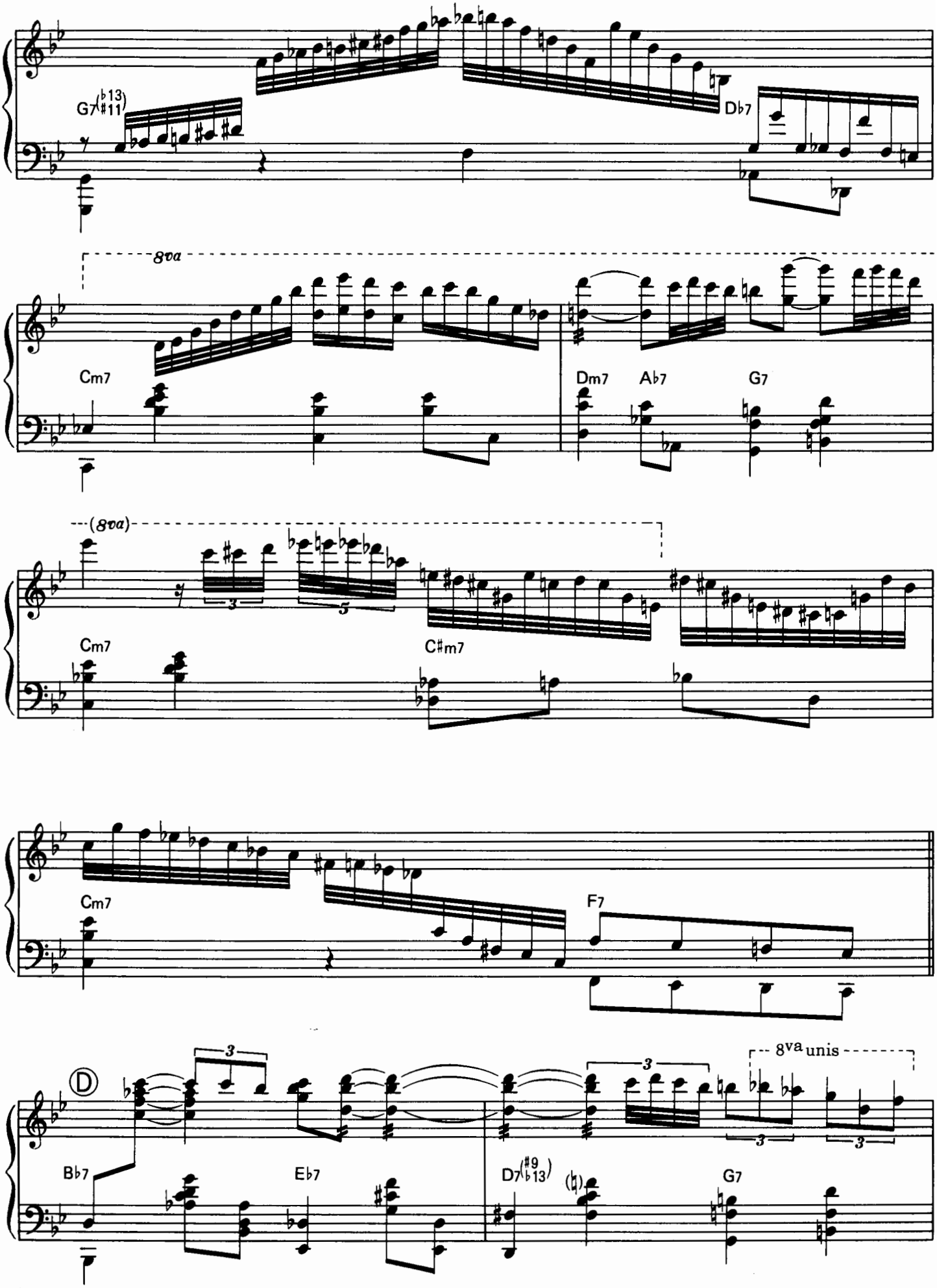
© Copyright 1964 by Concord Music Ltd., London England.
Rights for Japan controlled by TRO Essex Japan Ltd., Tokyo (through agreement with Musical Comedy Productions, Inc., New York, N.Y. U.S.A.)

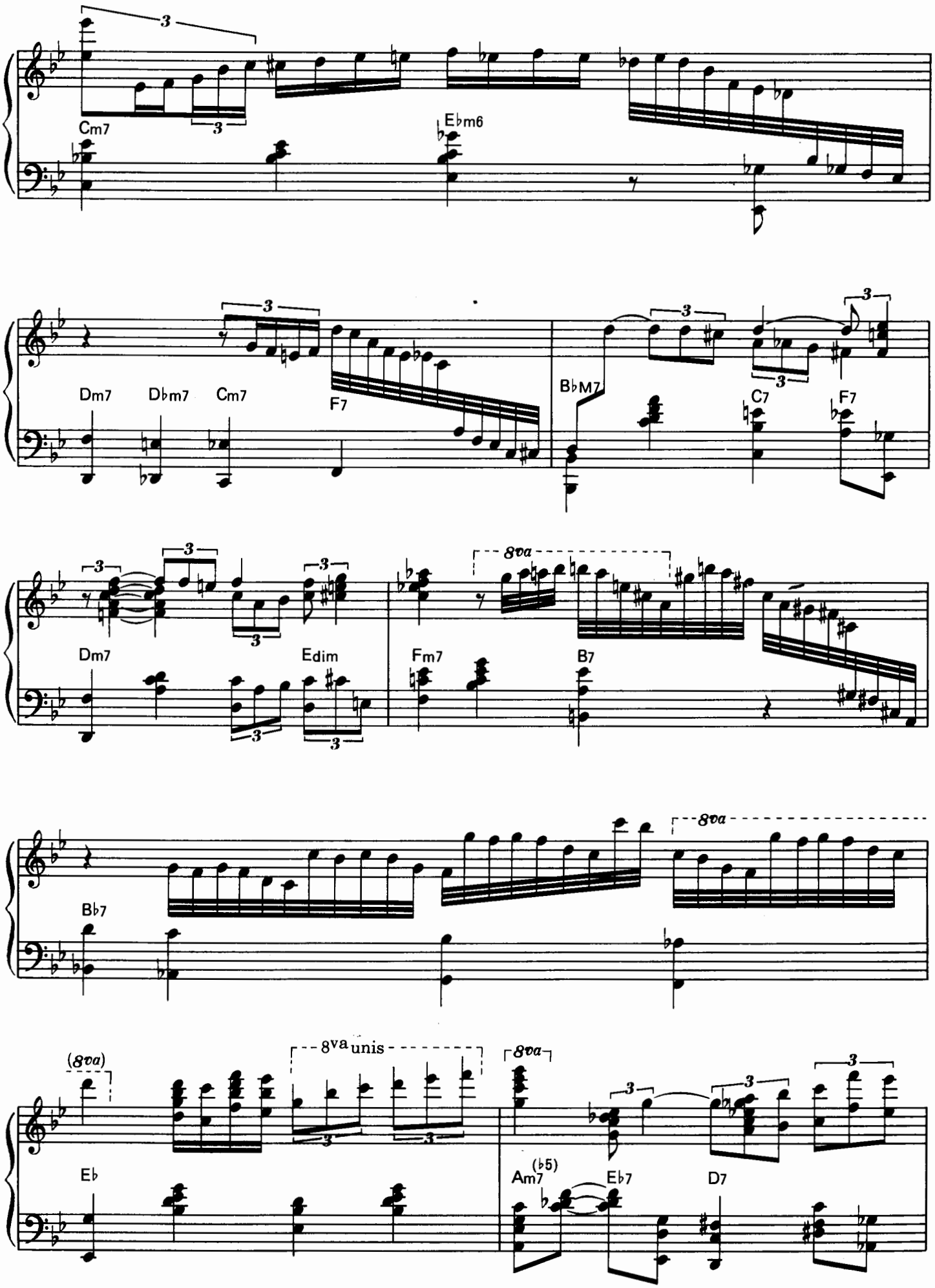

Altered-Dominant-scale
Mixo-Lydian-scale
A7(13 #11 ♭9)
E♭7
DM7
E7(13)
A7(#11 ♭9)
F♯m7
D
G♯dim
3
Am7
E♭7(#11 ♭9)
E♭7
Am7/D
D7(♭9)
D7(#9)
GM7
*
(2)
8va unis
G
D7(♭9)
G
B7/F♯
(Em7)F♯m7
Bm7
B7(#9)

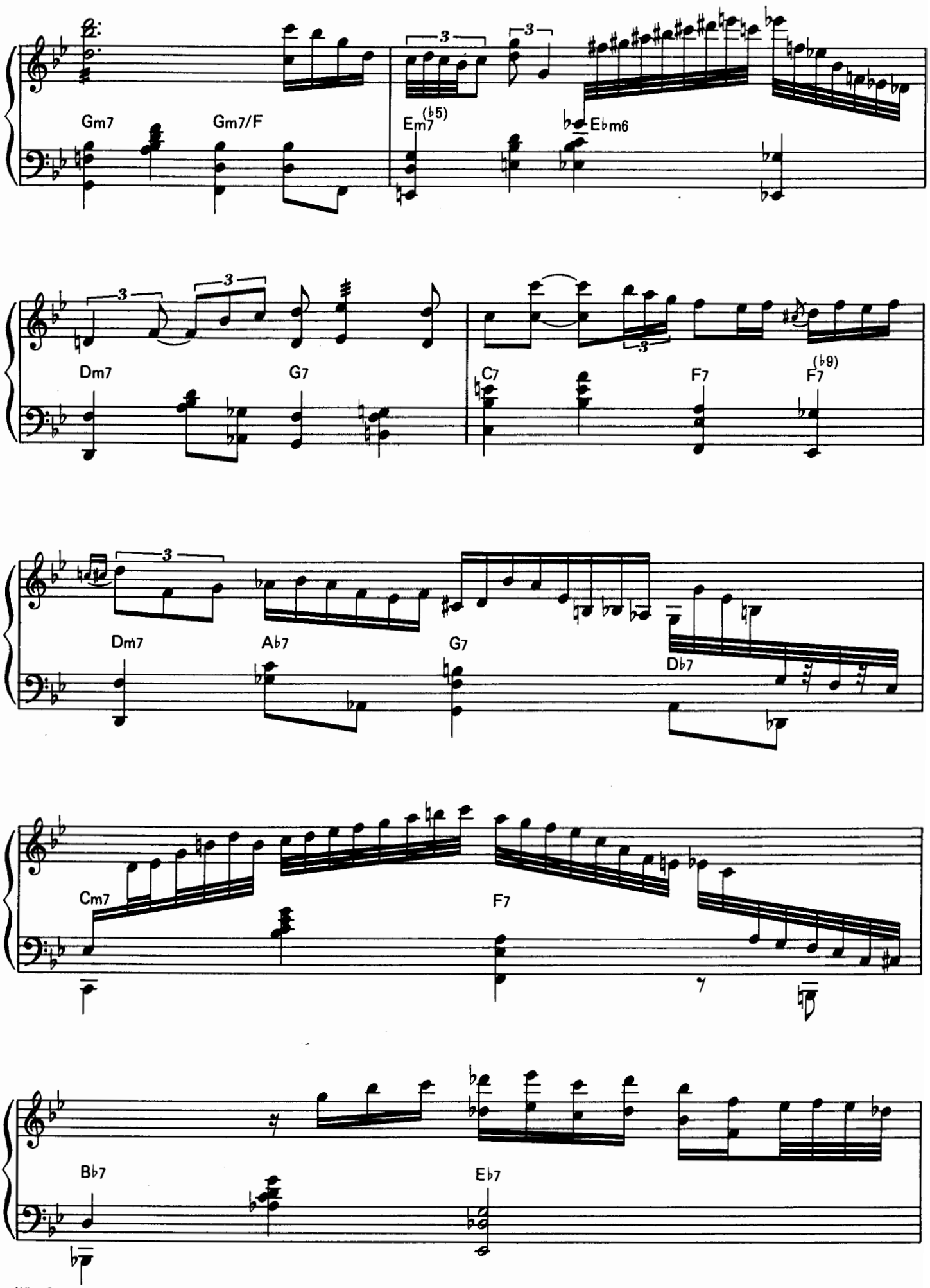

GM7
Gm7/C C7
F♯m7/B B7
Fm7/B♭ B♭7
E♭6 (9)
8va
Ⓑ
E7 (♯11)
A7 (♯11 ♭9)
DM7
G7 (♯11)
F♯7
B7 (♭9)
Em7
B♭7 (♯11 9 13)
A7 (sus4)
A7 (♭9 ♯13)
(∞)
DM7
E7
A7 (♯11 ♭9)
F♯m7
3
D
G♯dim
Am7
D7

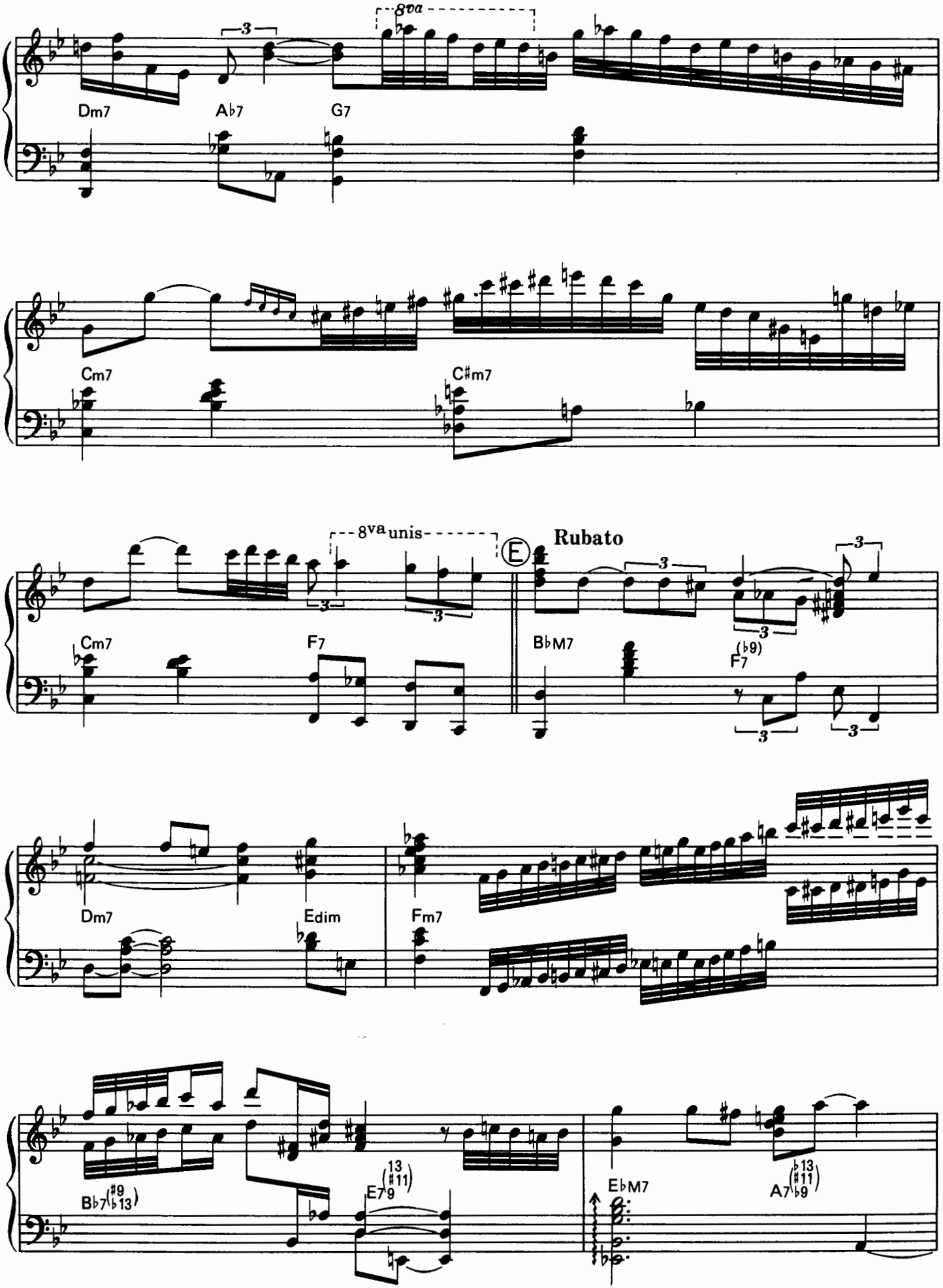

D7(9)
D7(#9)
GM7
C♯m7
F♯7(♭9 ♯5)
8va
Bm7
D/A G♯dim Gm7
C7(9 13)
D6(9)
E7/G♯
D/A
Em7/A
A7(♭9 13)
DM7
Rubato
Gm7
C7(sus4) C7
Cm7
F7(♯11)
F7
Cm7(♭5)
F7
B7(♯9)
In Tempo
B♭7
E♭7
D7
G♯7
G7

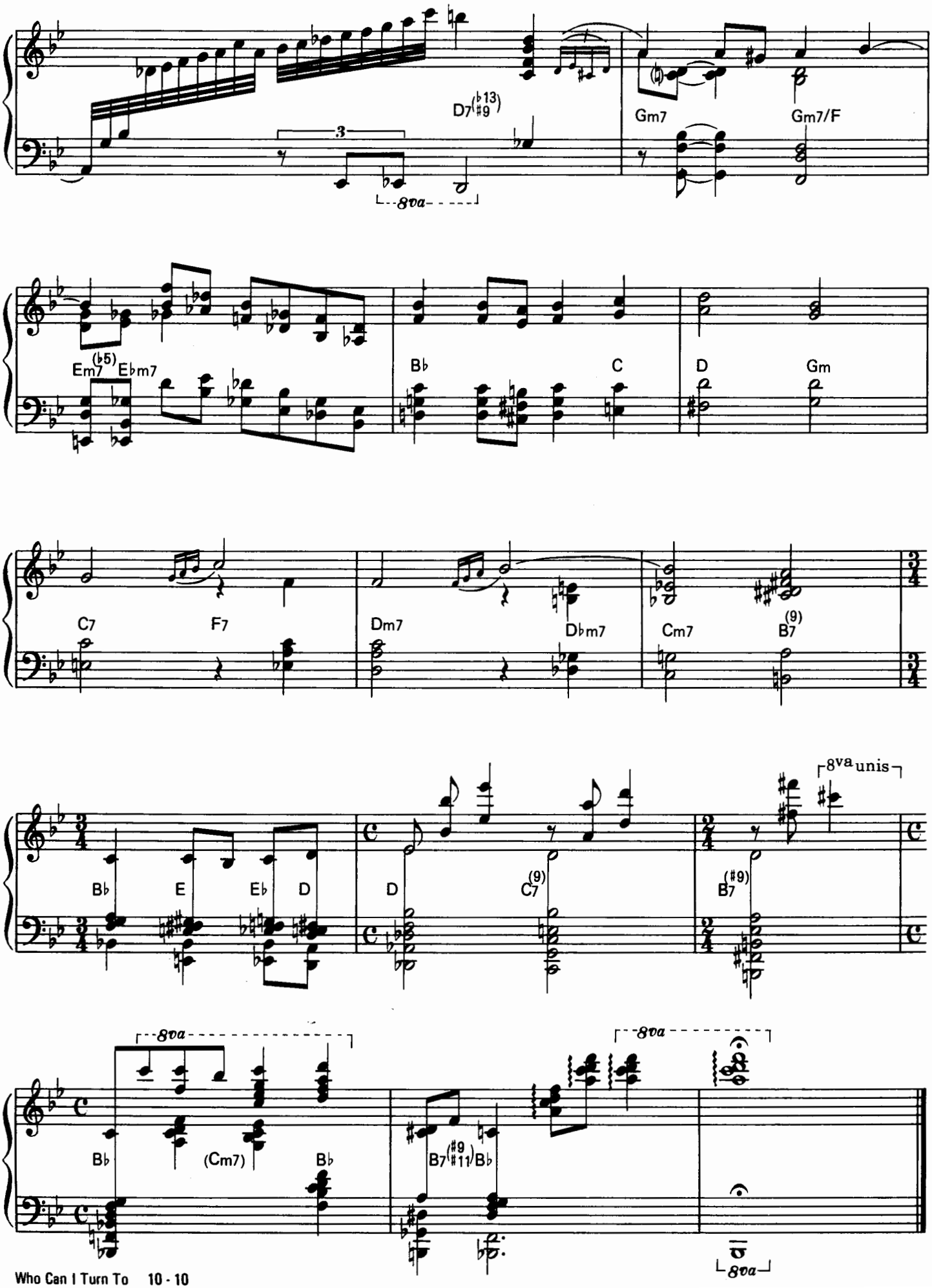

C7 (♯11)
F♯7
F7
F7 (♭9)
B♭
F7
B♭
C7
F7
Dm7
Edim
Fm7
8va
tremolo
B♭7
E♭
8va
Dm7
Gm7
G7(♯9 ♭13)


G7(♭13 ♯11)
D♭7
8va
Cm7
Dm7
A♭7
G7
(8va)
Cm7
C♯m7
Cm7
F7
8va unis
Ⓓ
B♭7
E♭7
D7(♯9 ♭13)
G7


Cm7
Eb m6
Dm7
Db m7
Cm7
F7
Bb M7
C7
F7
Dm7
Edim
Fm7
B7
8va
Bb7
8va
(8va)
8va unis
8va
Eb
Am7 (b5)
Eb7
D7

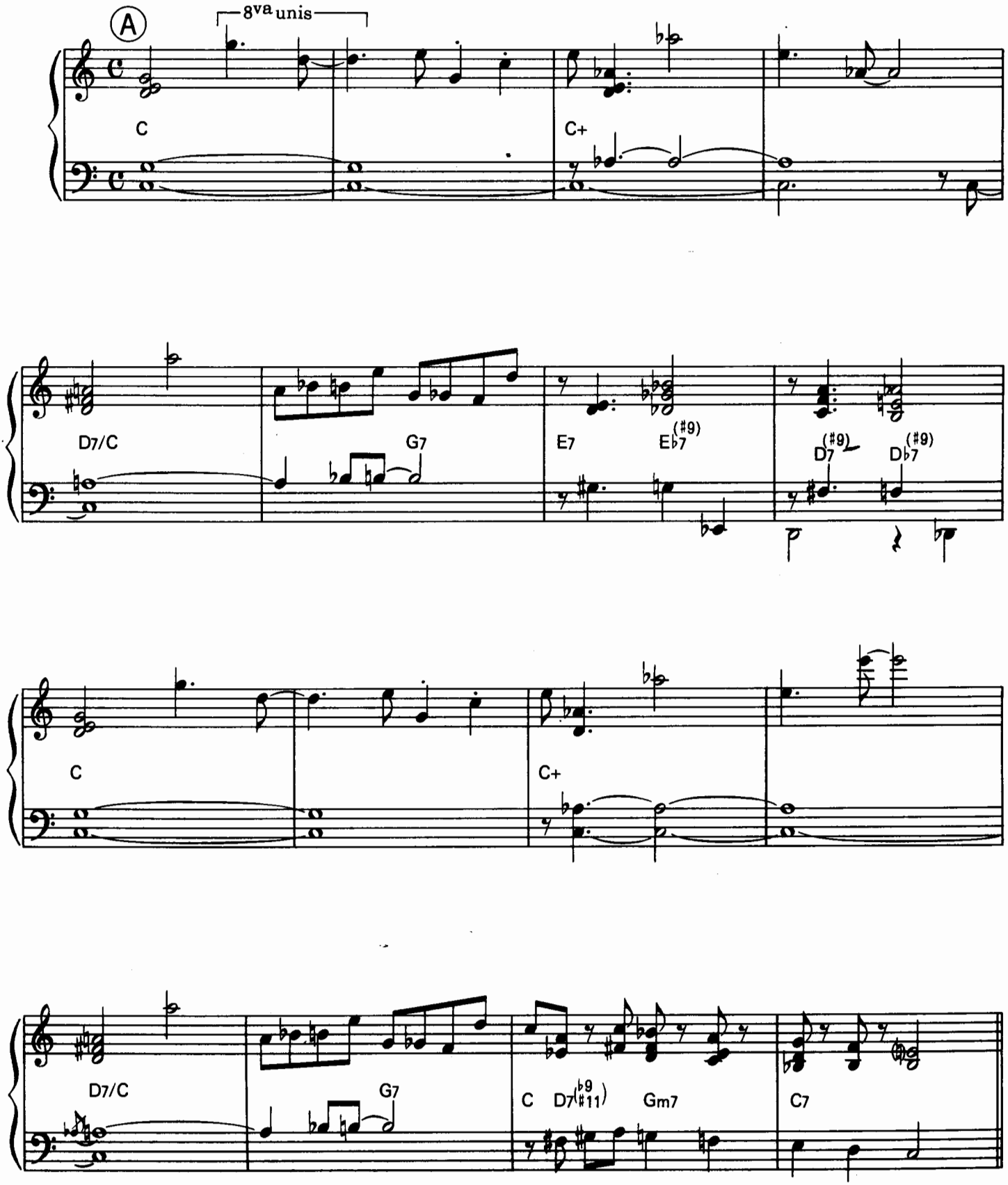

Gm7
Gm7/F
Em7(♭5)
E♭m6
Dm7
G7
C7
F7
F7(♭9)
Dm7
A♭7
G7
D♭7
Cm7
F7
B♭7
E♭7


8va
Dm7
A♭7
G7
Cm7
C♯m7
8va unis
E
Rubato
Cm7
F7
B♭M7
F7(♭9)
Dm7
Edim
Fm7
B♭7(♯9 ♭13)
E7(13 ♯11)
E♭M7
A7(♭13 ♯11 ♭9)

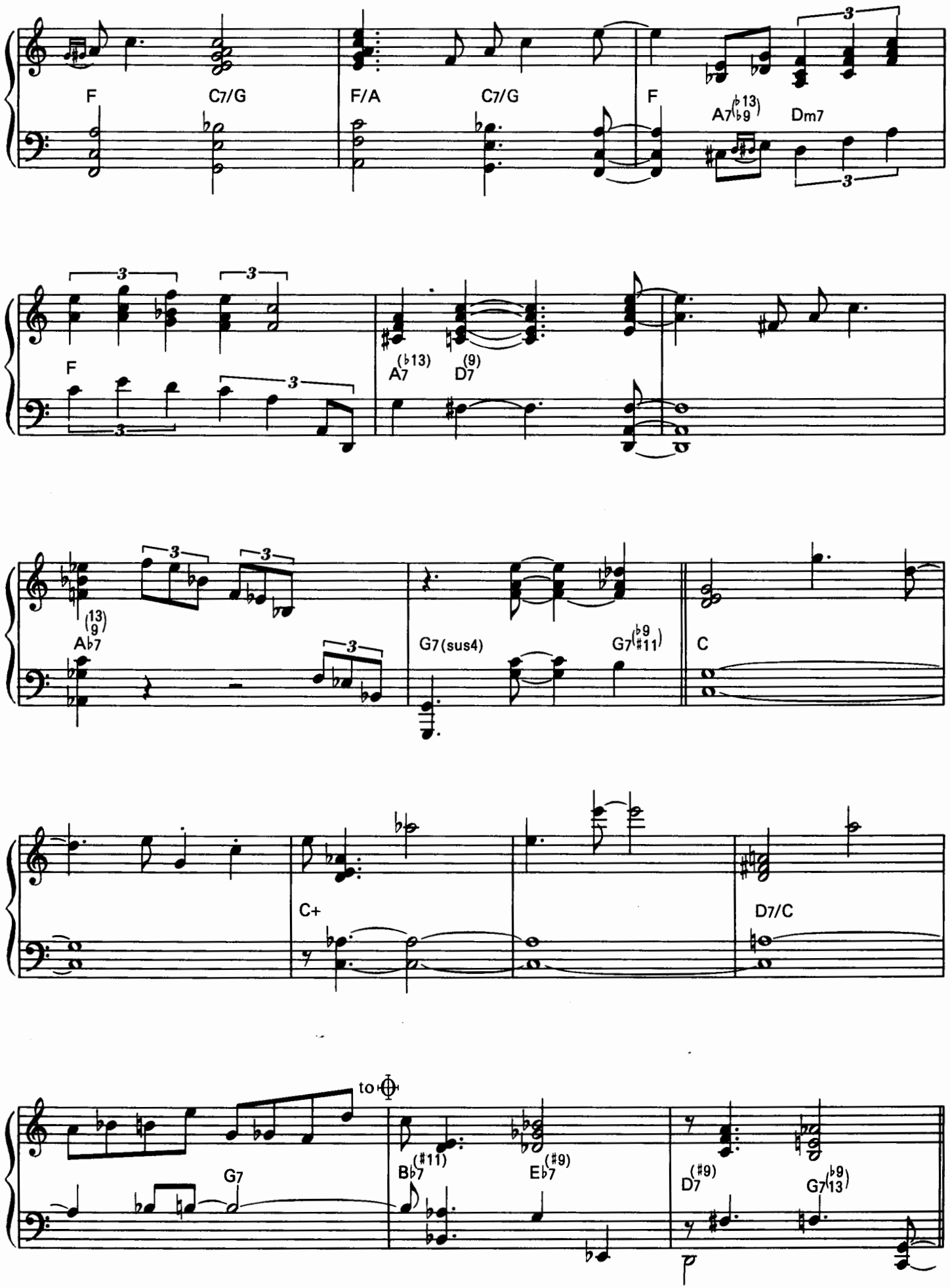

D7(♭13 ♯9)
3
8va
Gm7
Gm7/F
Em7(♭5)
E♭m7
B♭
C
D
Gm
C7
F7
Dm7
D♭m7
Cm7
B7(9)
B♭
E
E♭
D
D
C7(9)
B7(♯9)
8va unis
8va
8va
B♭
(Cm7)
B♭
B7(♯9 ♯11)/B♭
8va

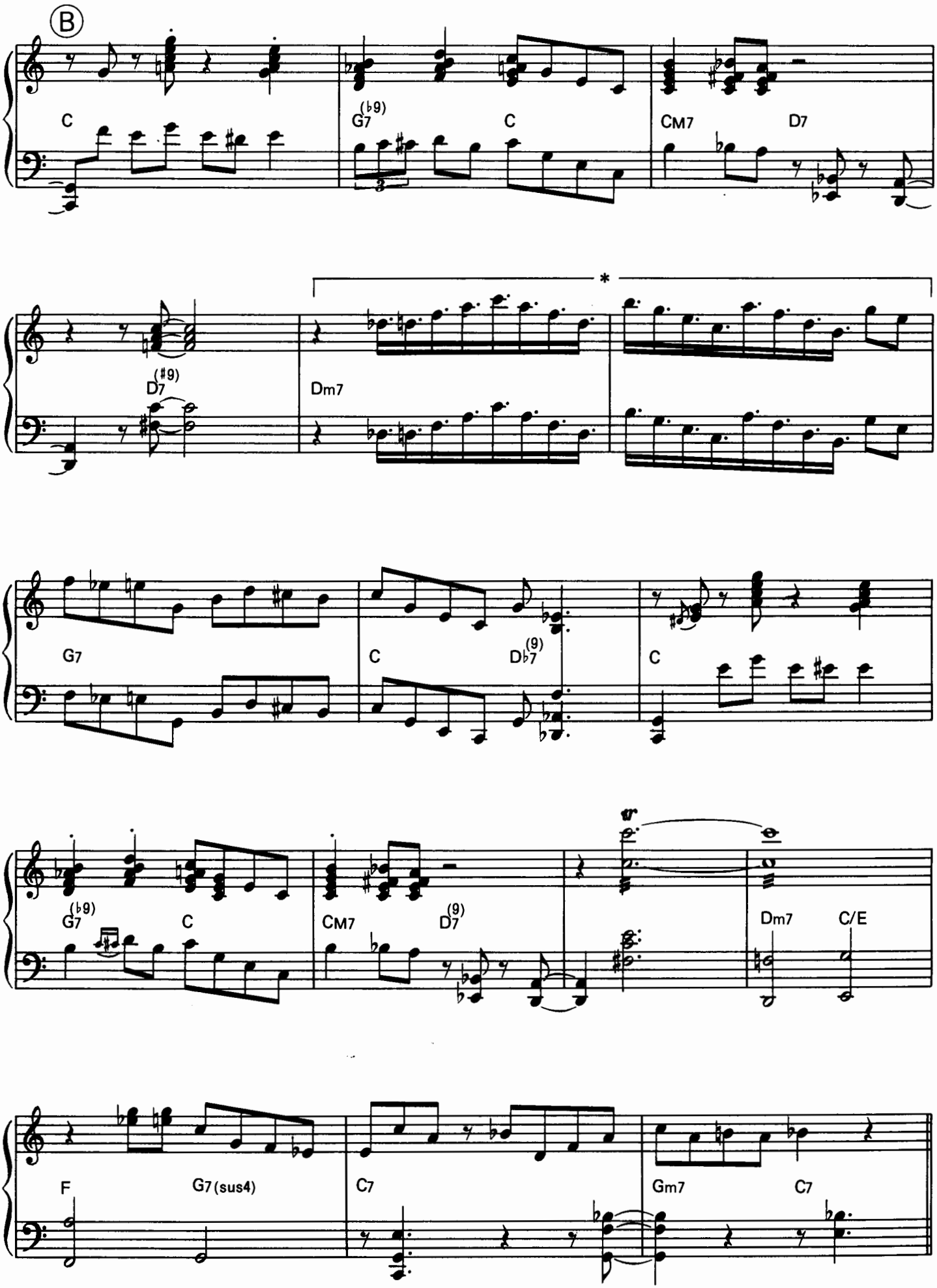
TAKE THE 'A' TRAIN

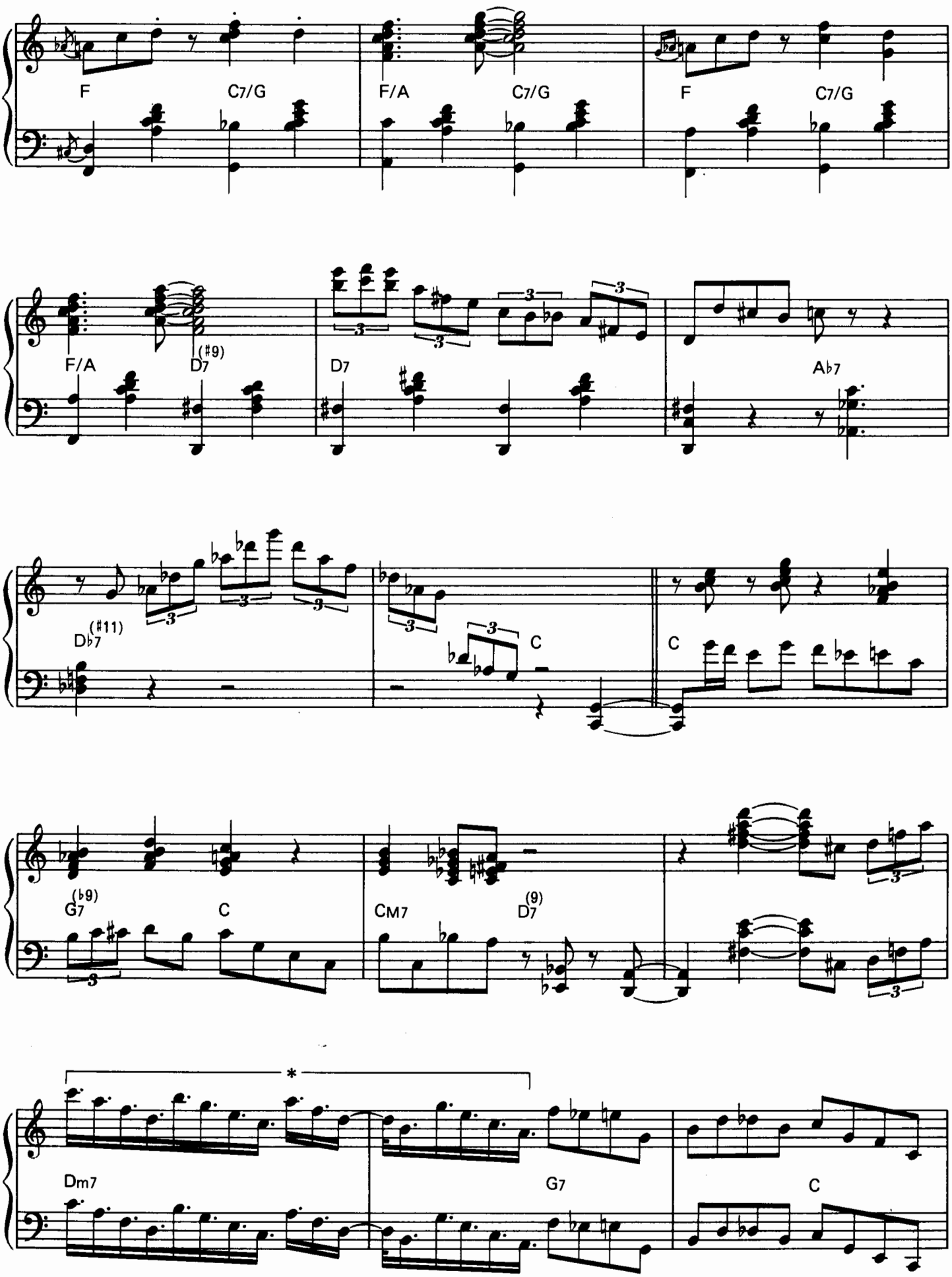
By Billy Strayhorn

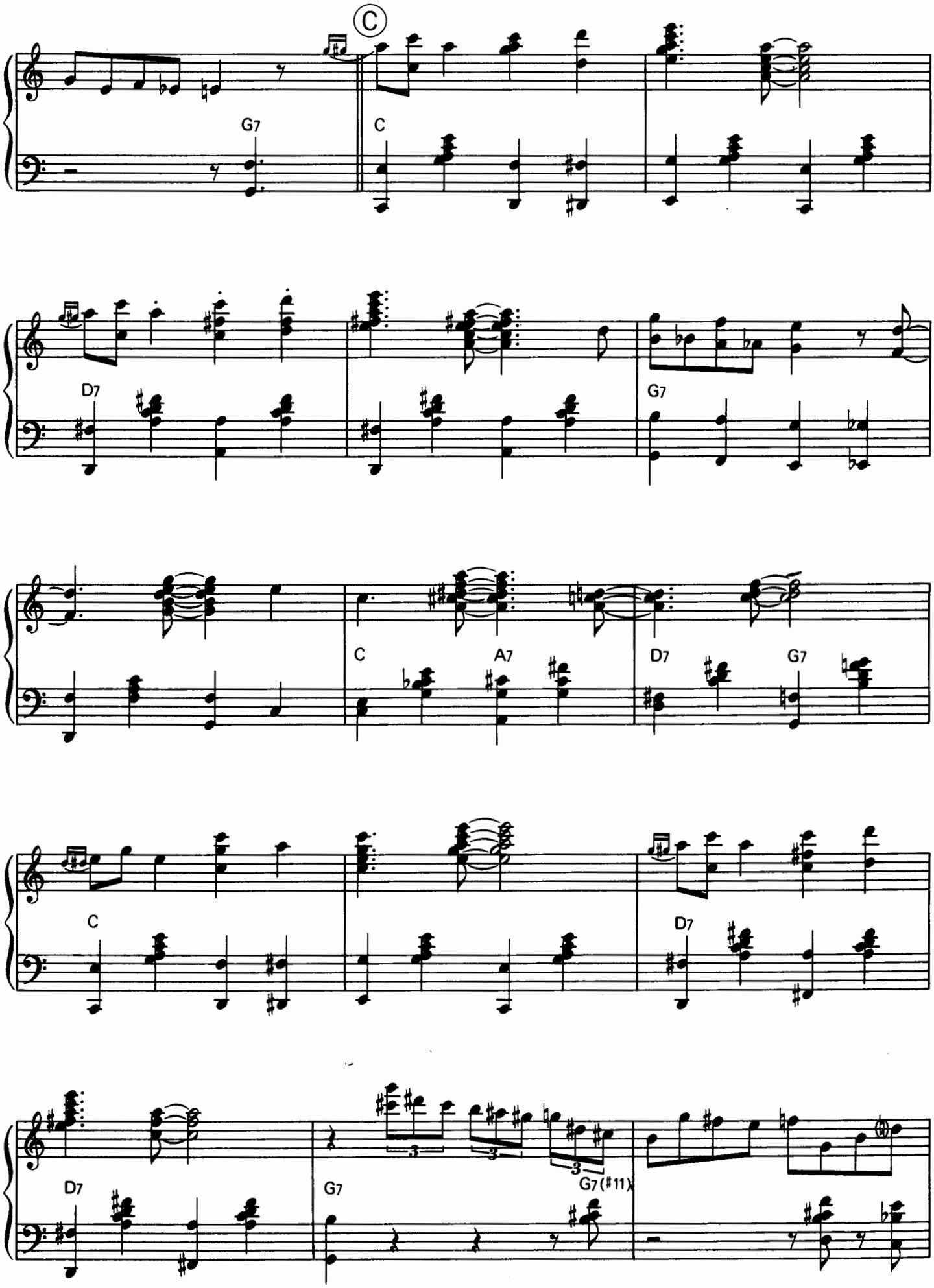


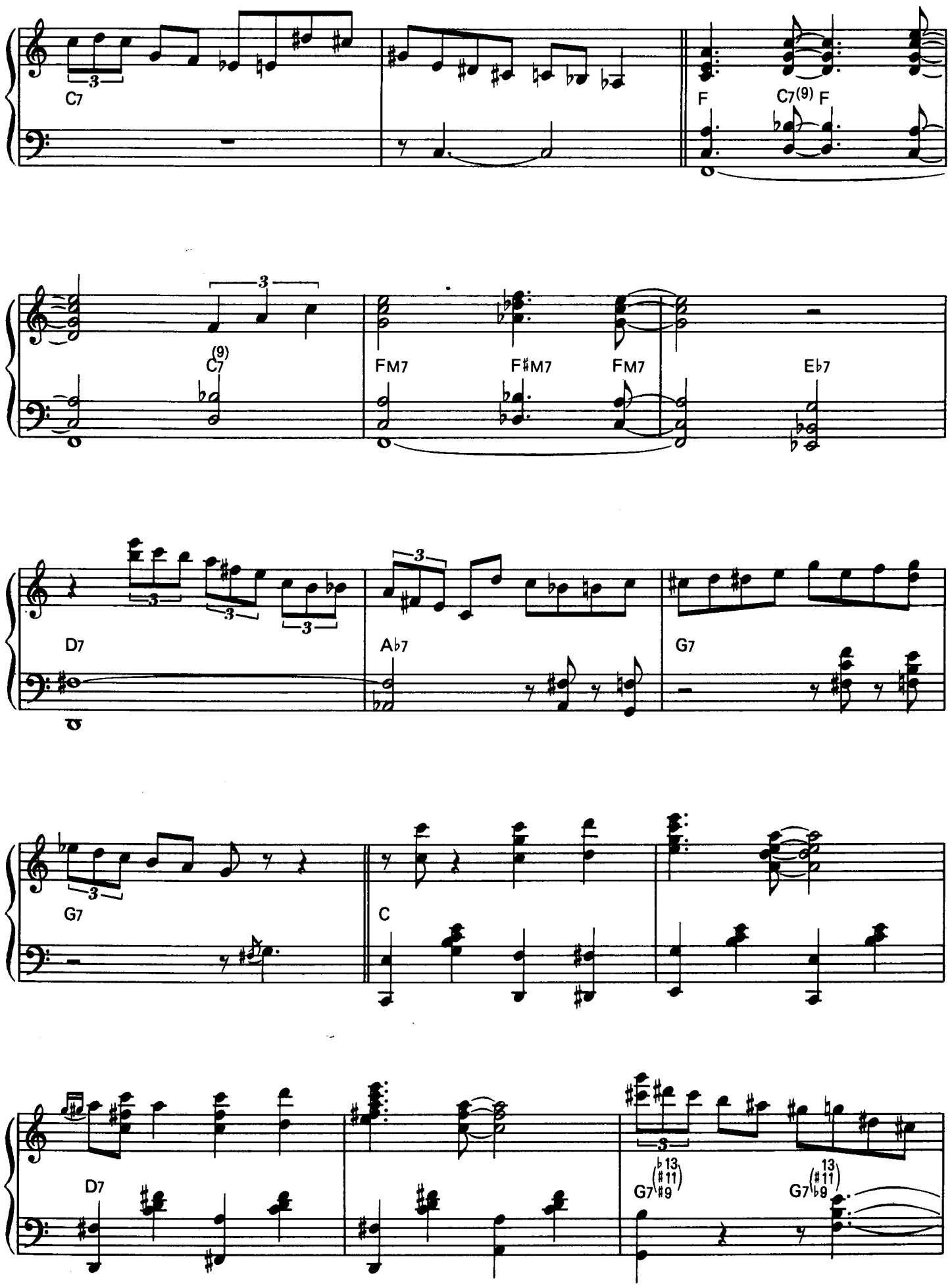
© Copyright 1941 by Tempo Music Inc.
Assigned for Japan to United Artist Music (Japan), Inc.

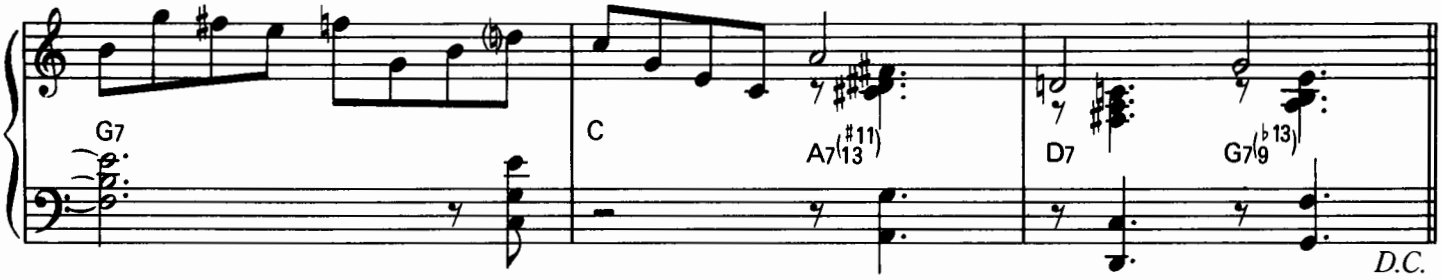

F
C7/G
F/A
C7/G
F
A7(♭13/♭9)
Dm7
F
A7(♭13)
D7(9)
A♭7(13/9)
G7(sus4)
G7(♭9/♯11)
C
C+
D7/C
to
G7
B♭7(♯11)
E♭7(♯9)
D7(♯9)
G7(♭9/13)
p

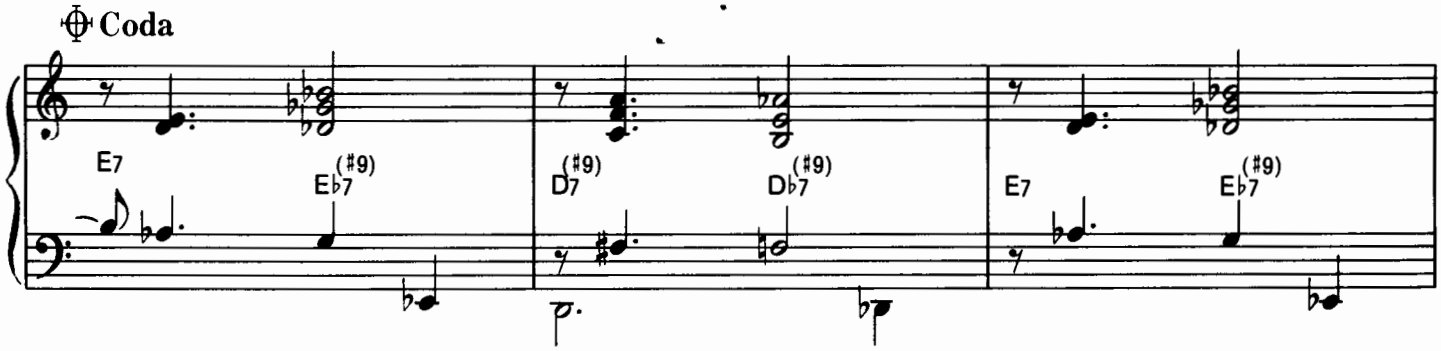

B
C
G7 (♭9)
C
CM7
D7
D7 (♯9)
Dm7
*
G7
C
D♭7 (9)
C
G7 (♭9)
C
CM7
D7 (9)
Dm7
C/E
F
G7 (sus4)
C7
Gm7
C7

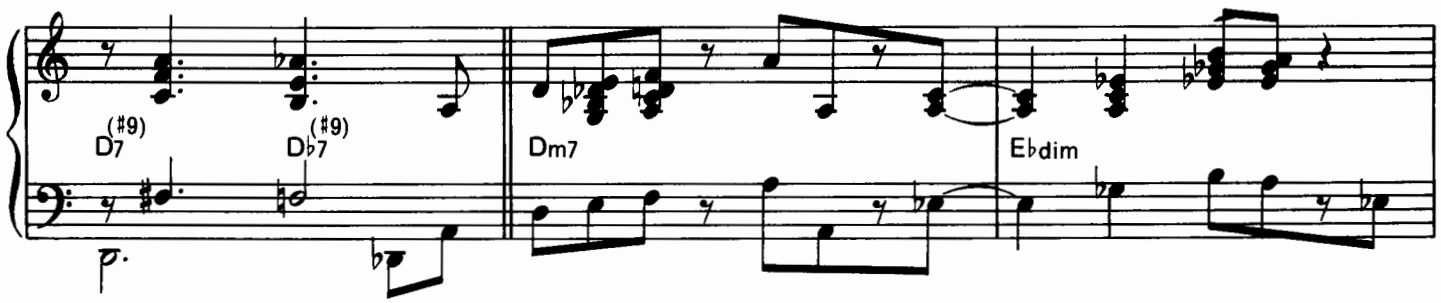

F
C7/G
F/A
C7/G
F
C7/G
F/A
D7 (♯9)
D7
A♭7
D♭7 (♯11)
C
C
G7 (♭9)
C
CM7
D7 (9)
*
Dm7
G7
C

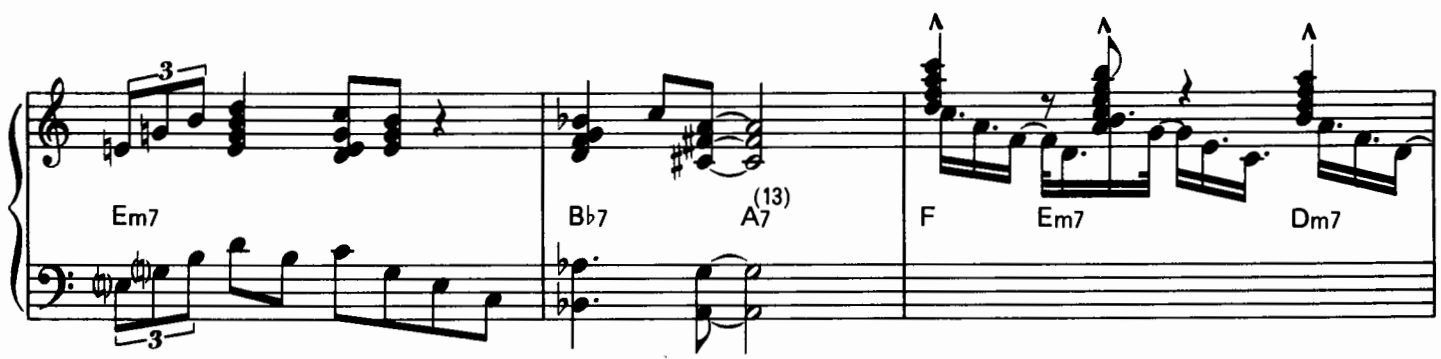

C
G7
C
D7
G7
C
A7
D7
G7
C
D7
D7
G7
G7(#11)

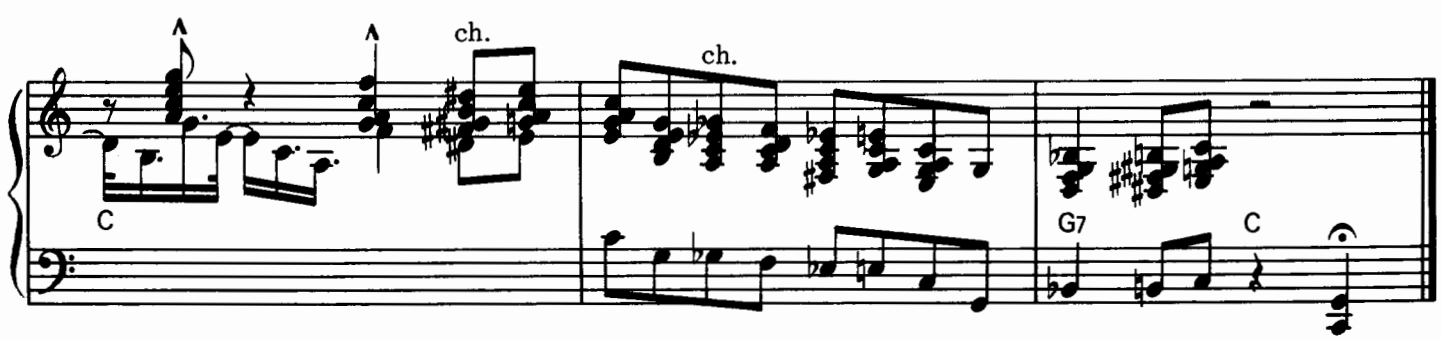

C7
F
C7(9)
F
C7(9)
FM7
F♯M7
FM7
E♭7
D7
A♭7
G7
G7
C
D7
G7(♭13 ♯11 ♯9)
G7(13 ♯11 ♭9)


G7
C
A7(#11)
D7
G7(♭9 ♭13)
D.C.


Coda
E7
E♭7(#9)
D7(#9)
D♭7(#9)
E7
E♭7(#9)

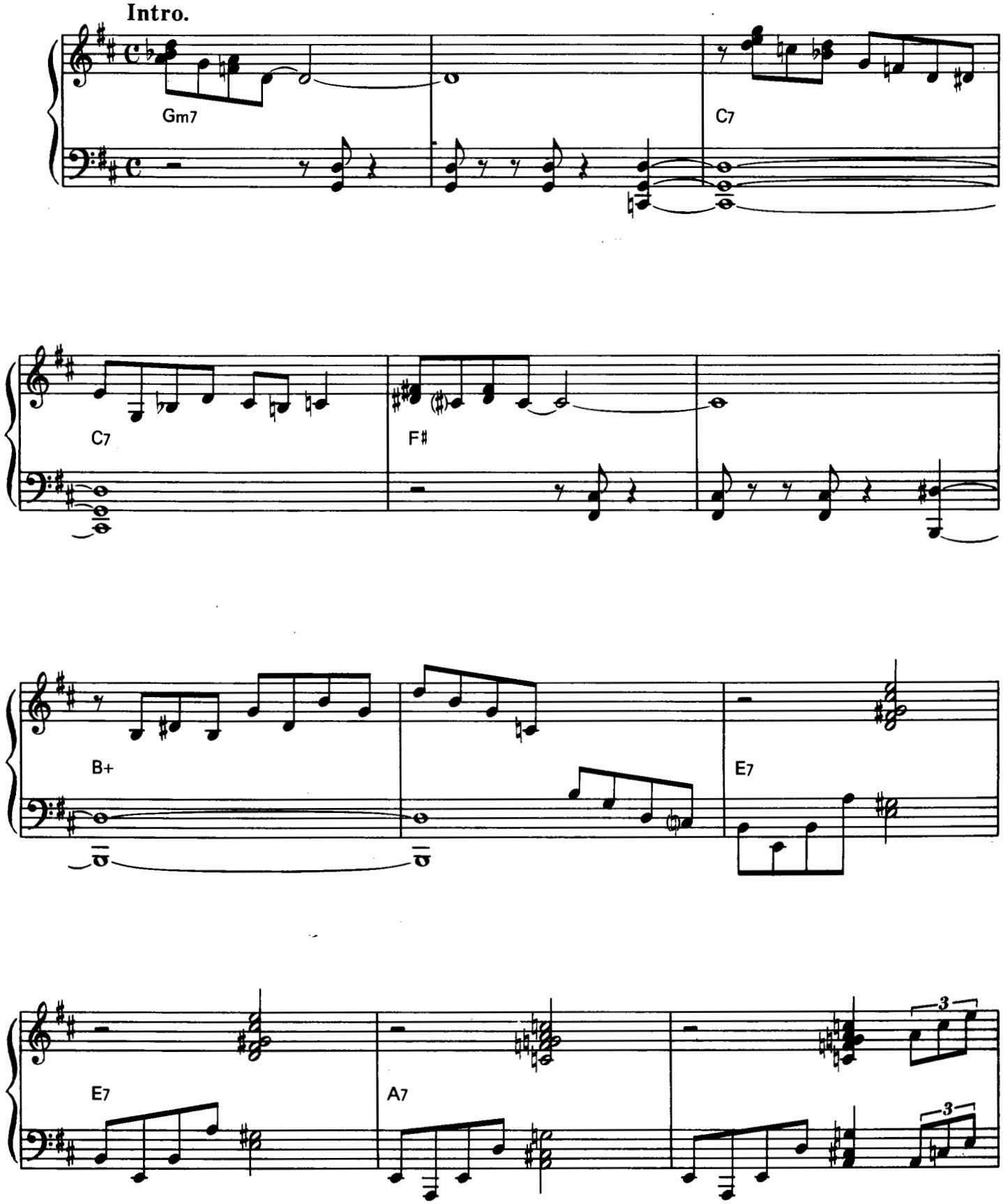

D7(#9)
D♭7(#9)
Dm7
E♭dim


3
Em7
B♭7
A7(13)
F
Em7
Dm7
3

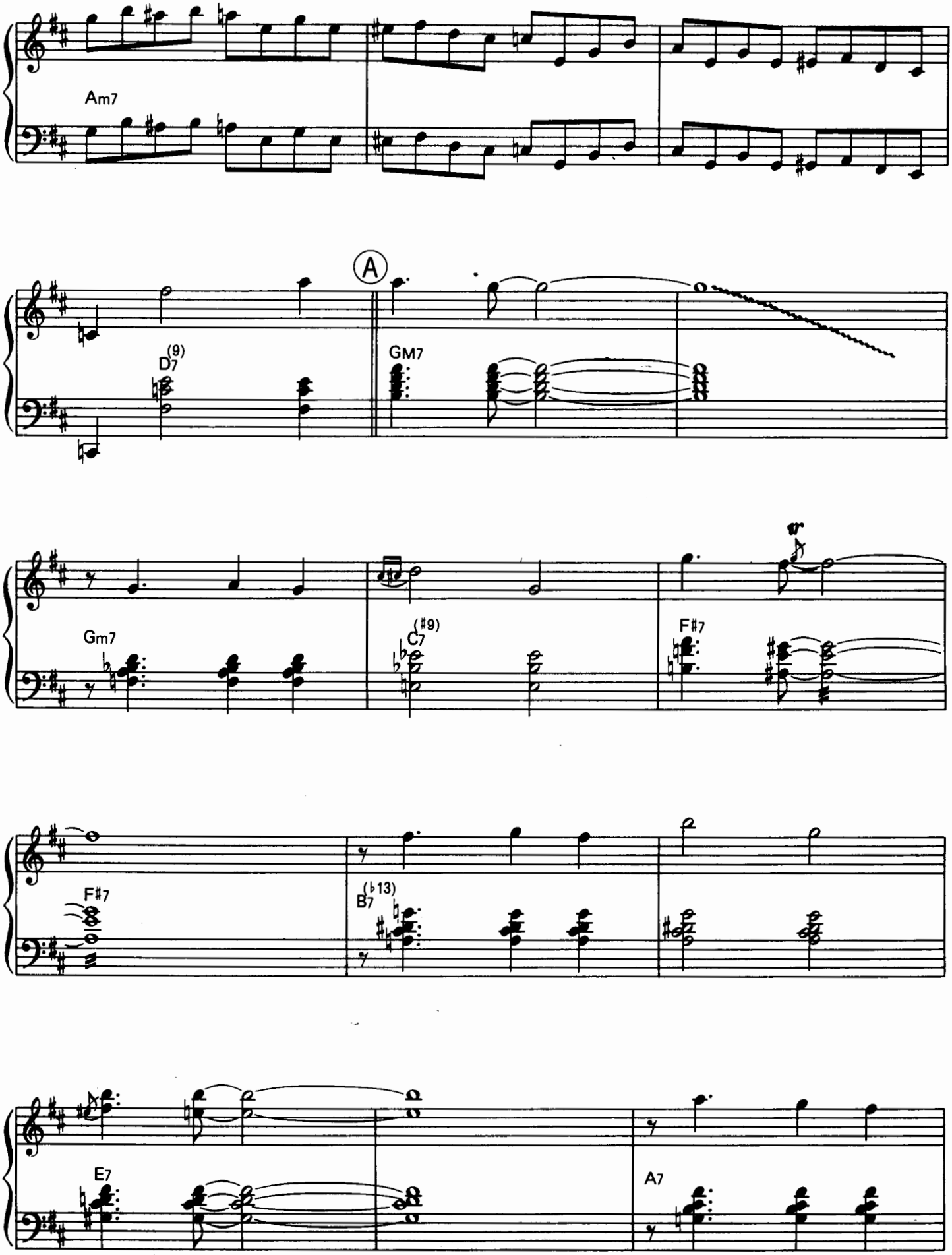

ch.
ch.
C
G7
C

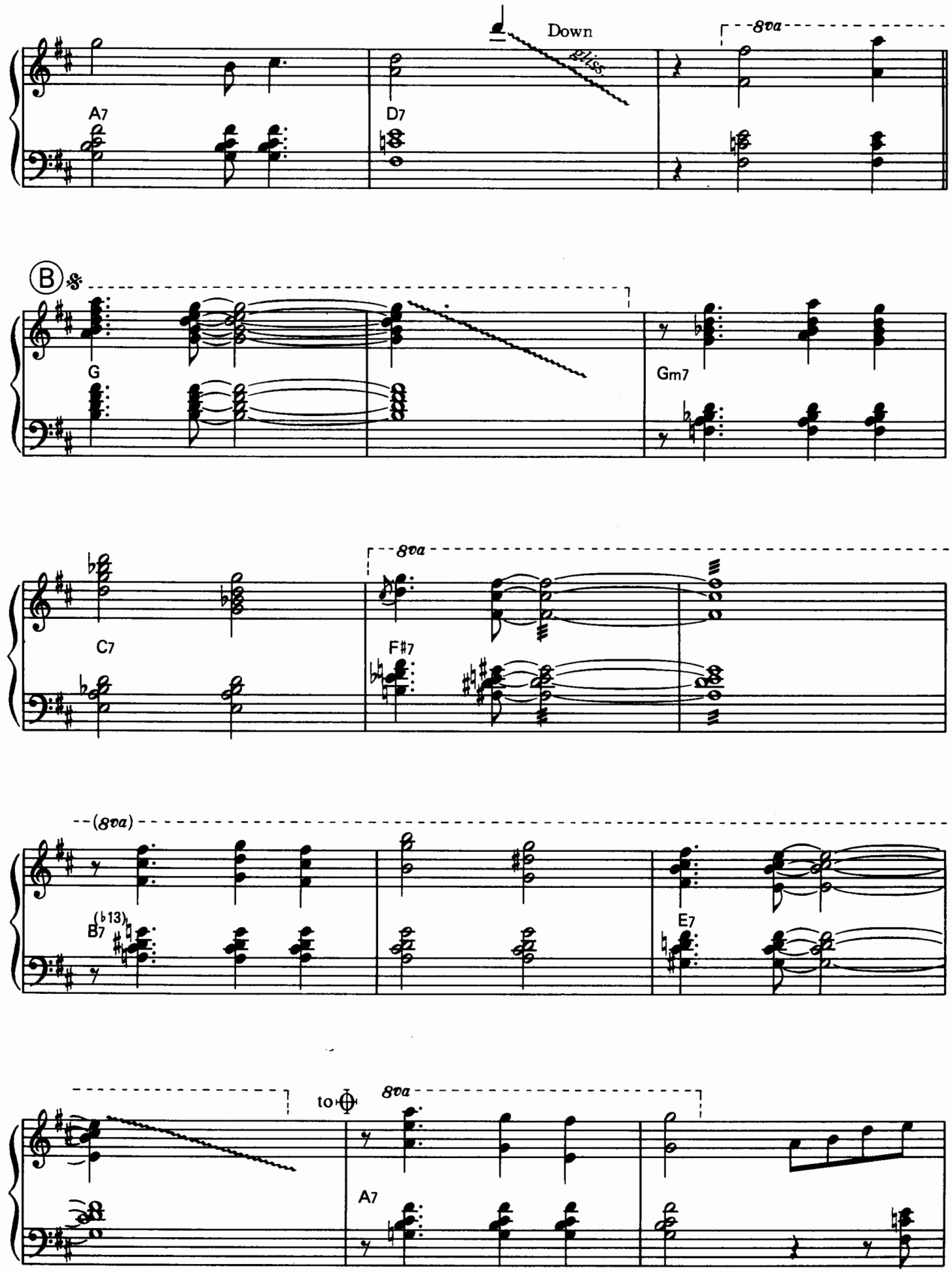
TRISTEZA

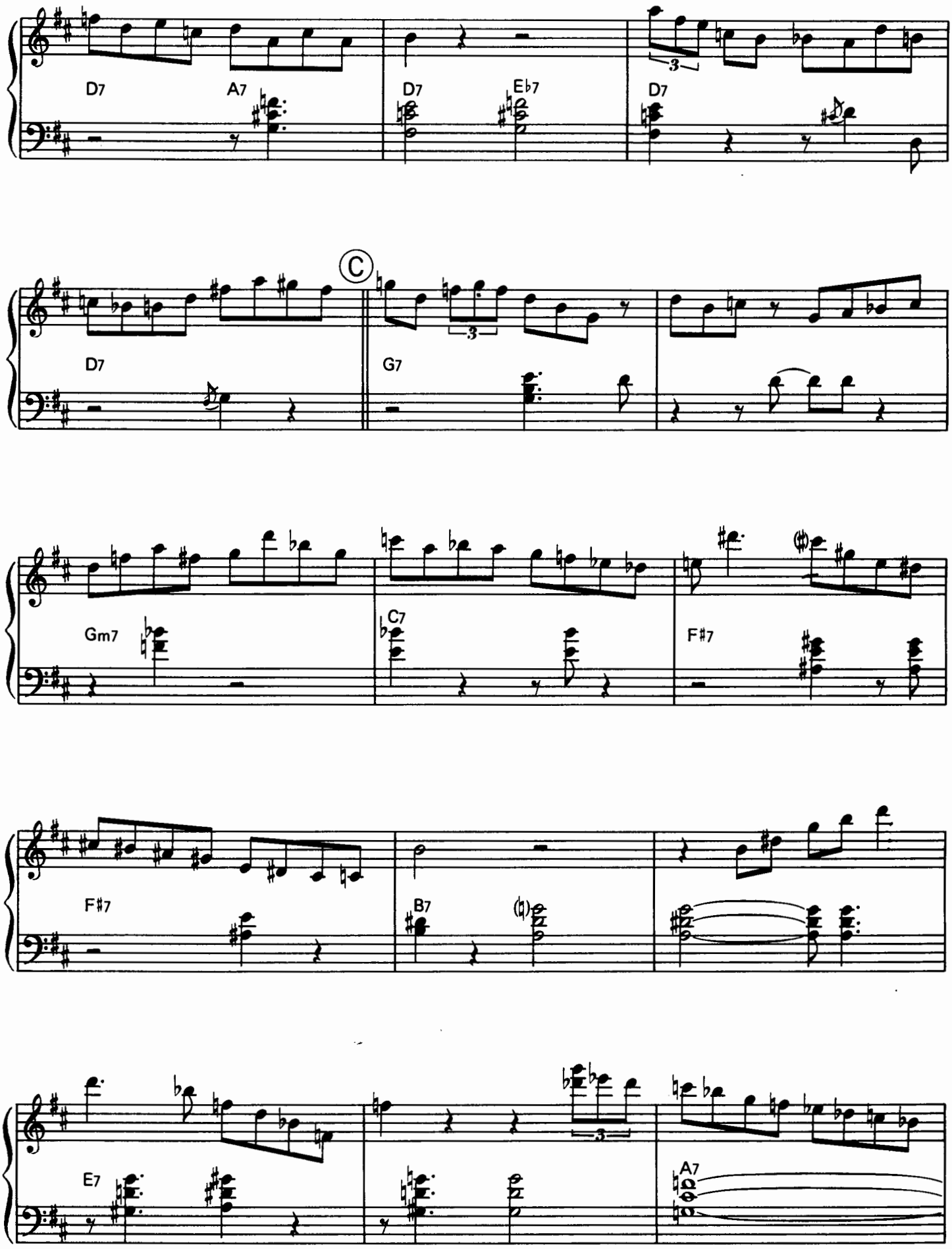
By Haroldo Lobo, Niltinho

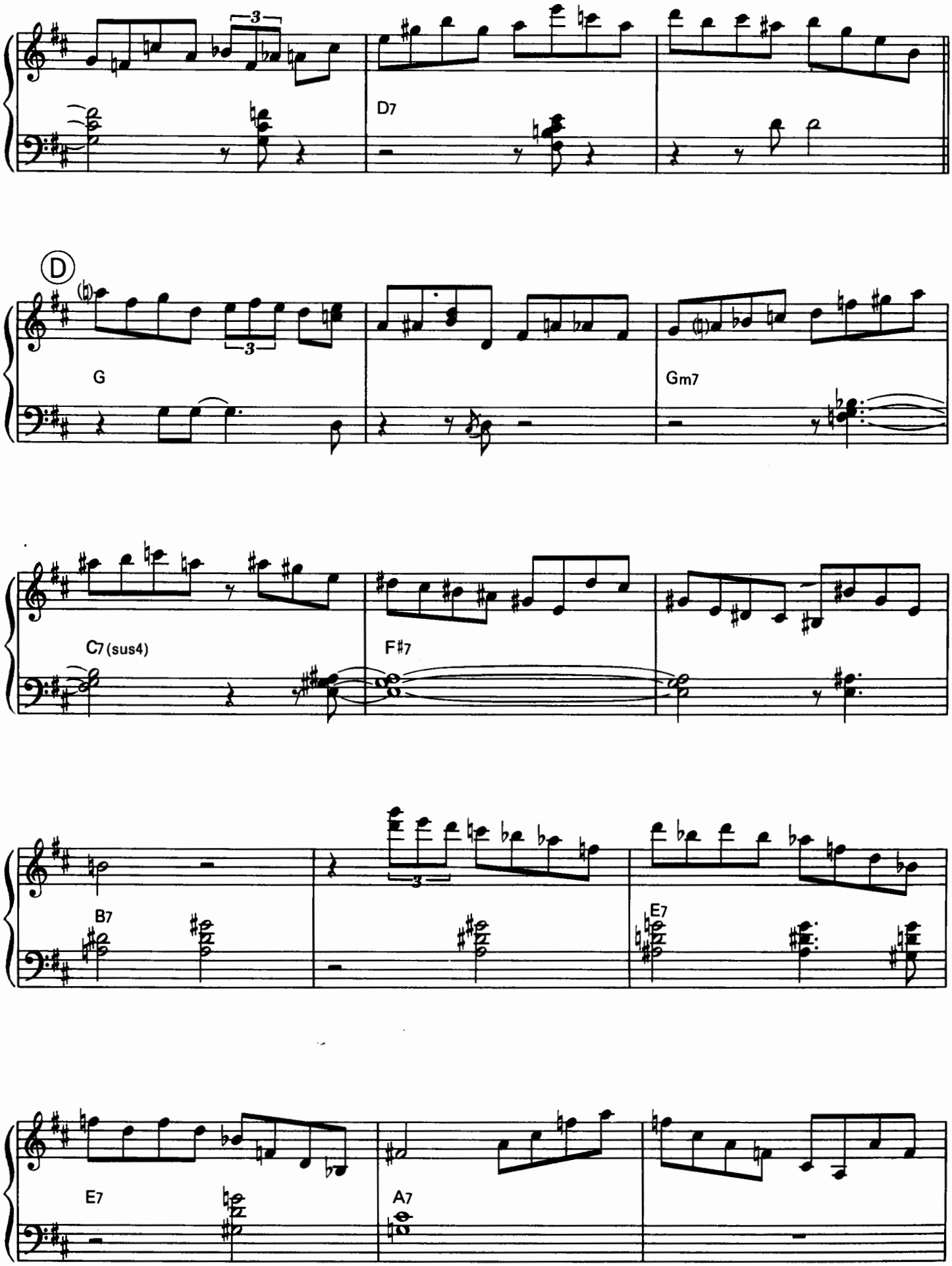


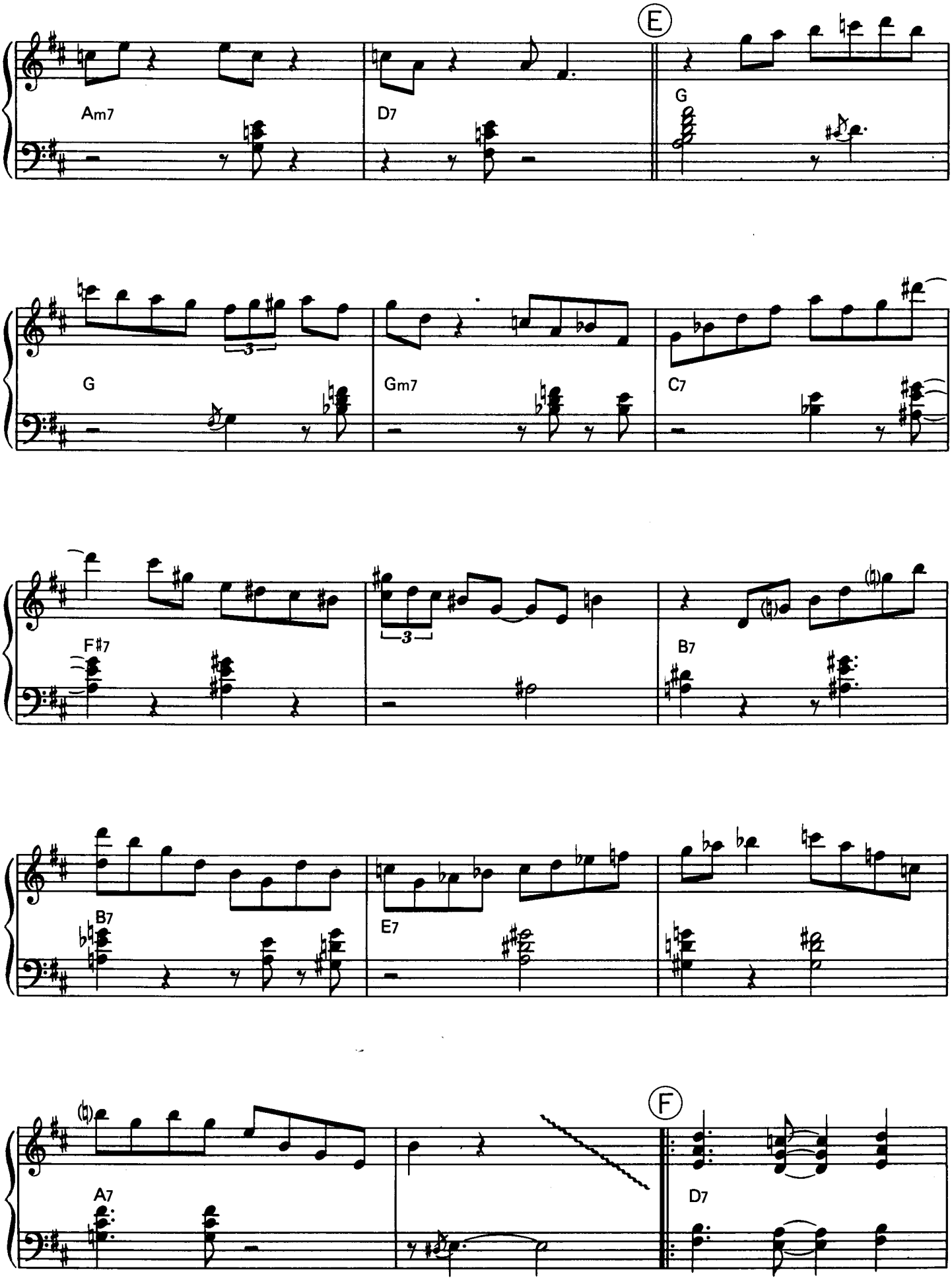
© Copyright 1966 by Editora Arapua (Fermata Group) Sao Paulo.
© Copyright 1976 assigned for Japan to Nipo-Americana Music Pub. Co.

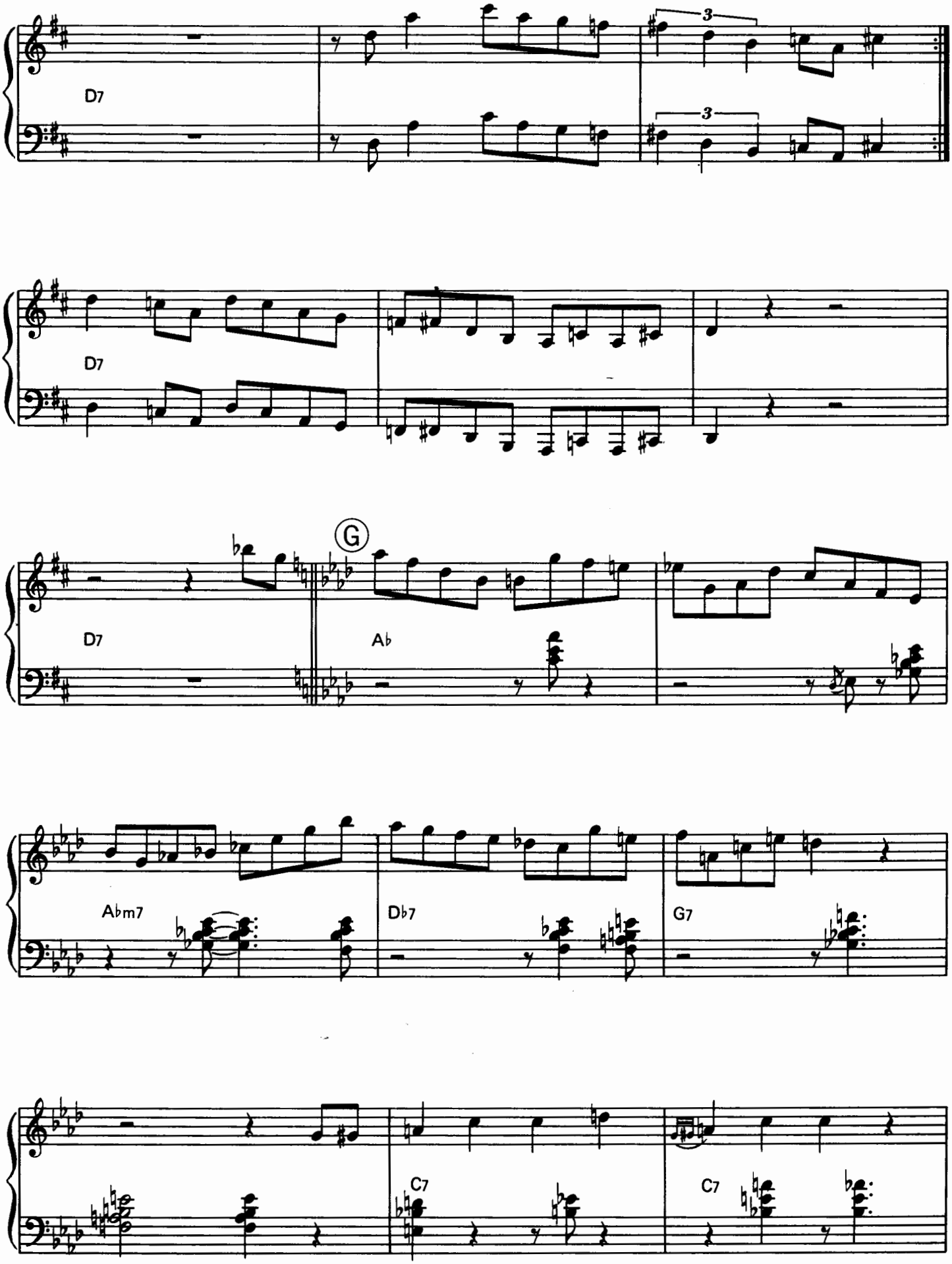

Am7
A
D7 (9)
GM7
Gm7
C7 (#9)
F#7
F#7
B7 (♭13)
E7
A7

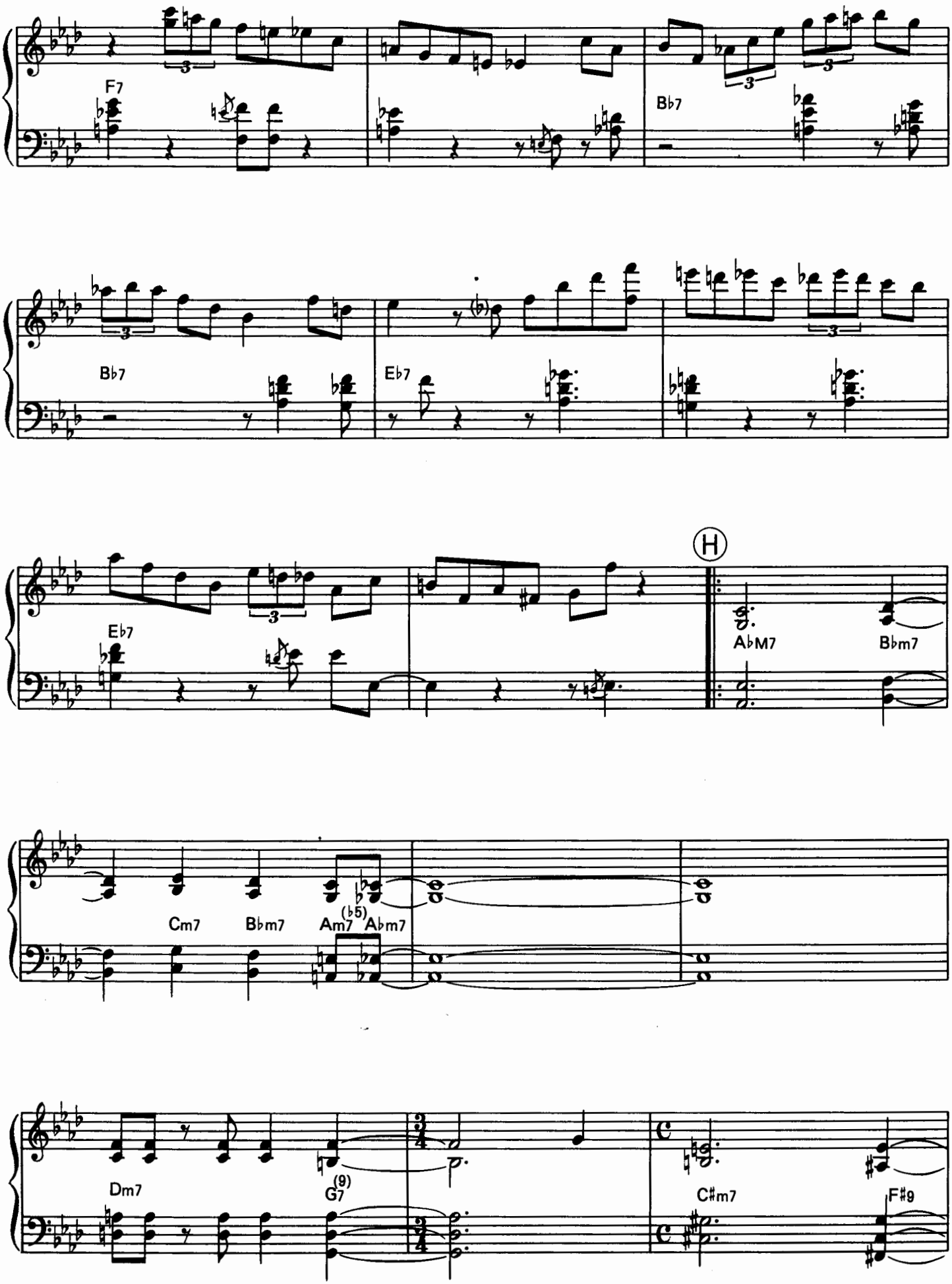

Down
8va
A7
D7
B
G
Gm7
C7
F♯7
(8va)
B7 (♭13)
E7
to
A7

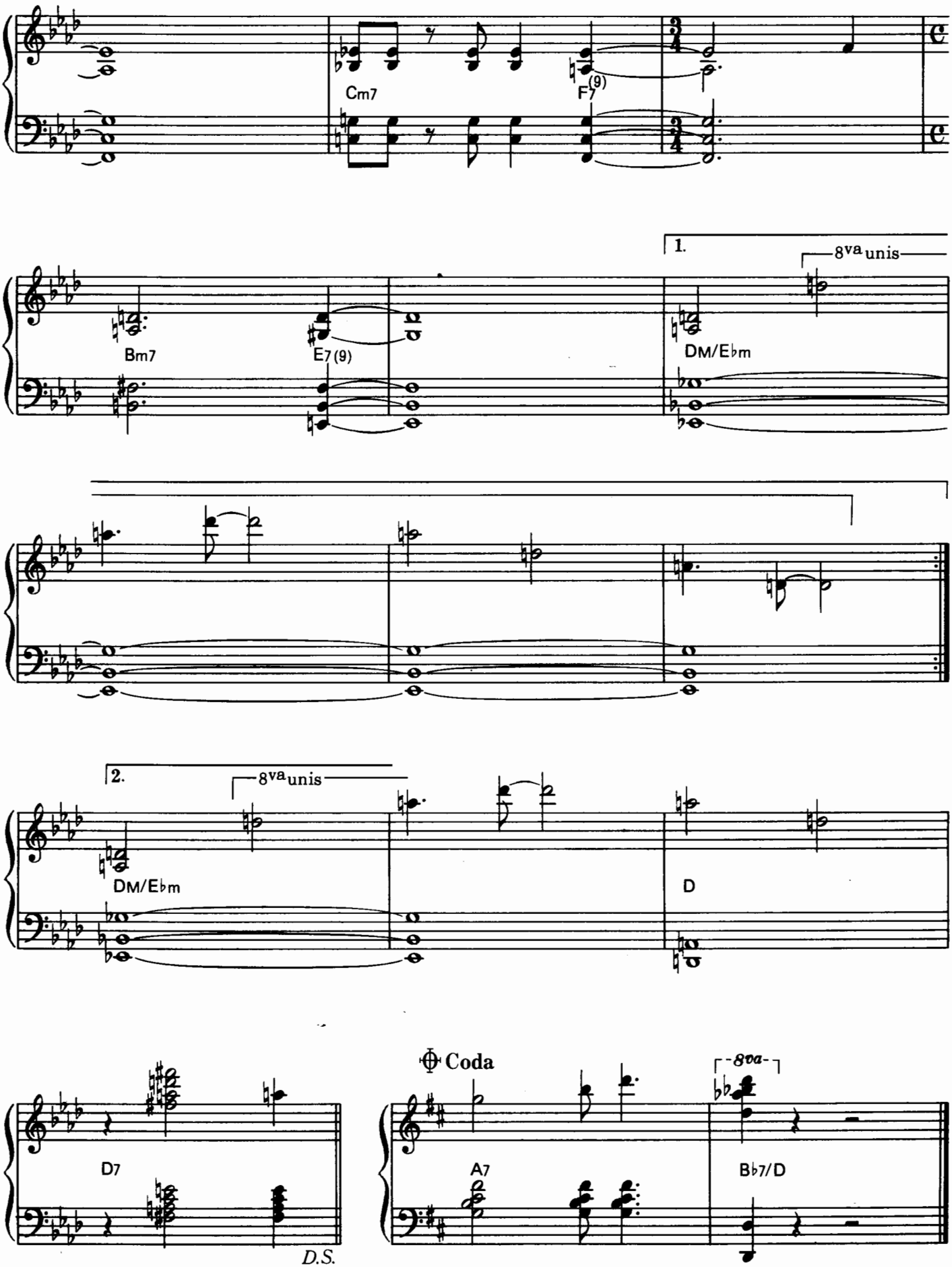

D7
A7
D7
Eb7
D7
C
D7
G7
Gm7
C7
F#7
F#7
B7
E7
A7


D7
D
G
Gm7
C7 (sus4)
F♯7
B7
E7
E7
A7


E
Am7
D7
G
G
Gm7
C7
F#7
B7
B7
E7
F
A7
D7

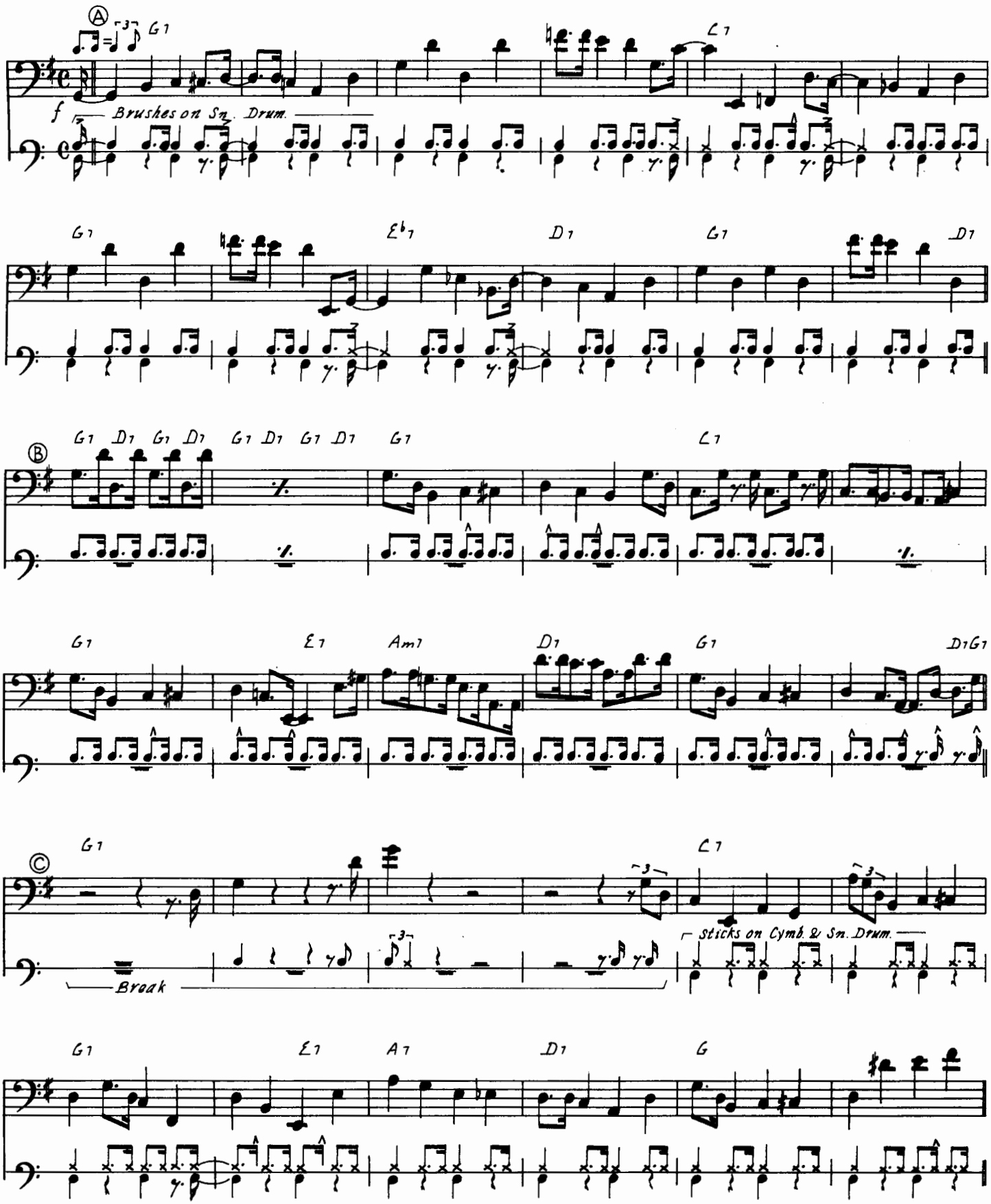

D7
3
3
D7
G
D7
Ab
Abm7
Db7
G7
C7
C7


F7
Bb7
Bb7
Eb7
Eb7
H
AbM7
Bbm7
Cm7
Bbm7
Am7 (b5)
Abm7
Dm7
G7 (9)
C#m7
F#9

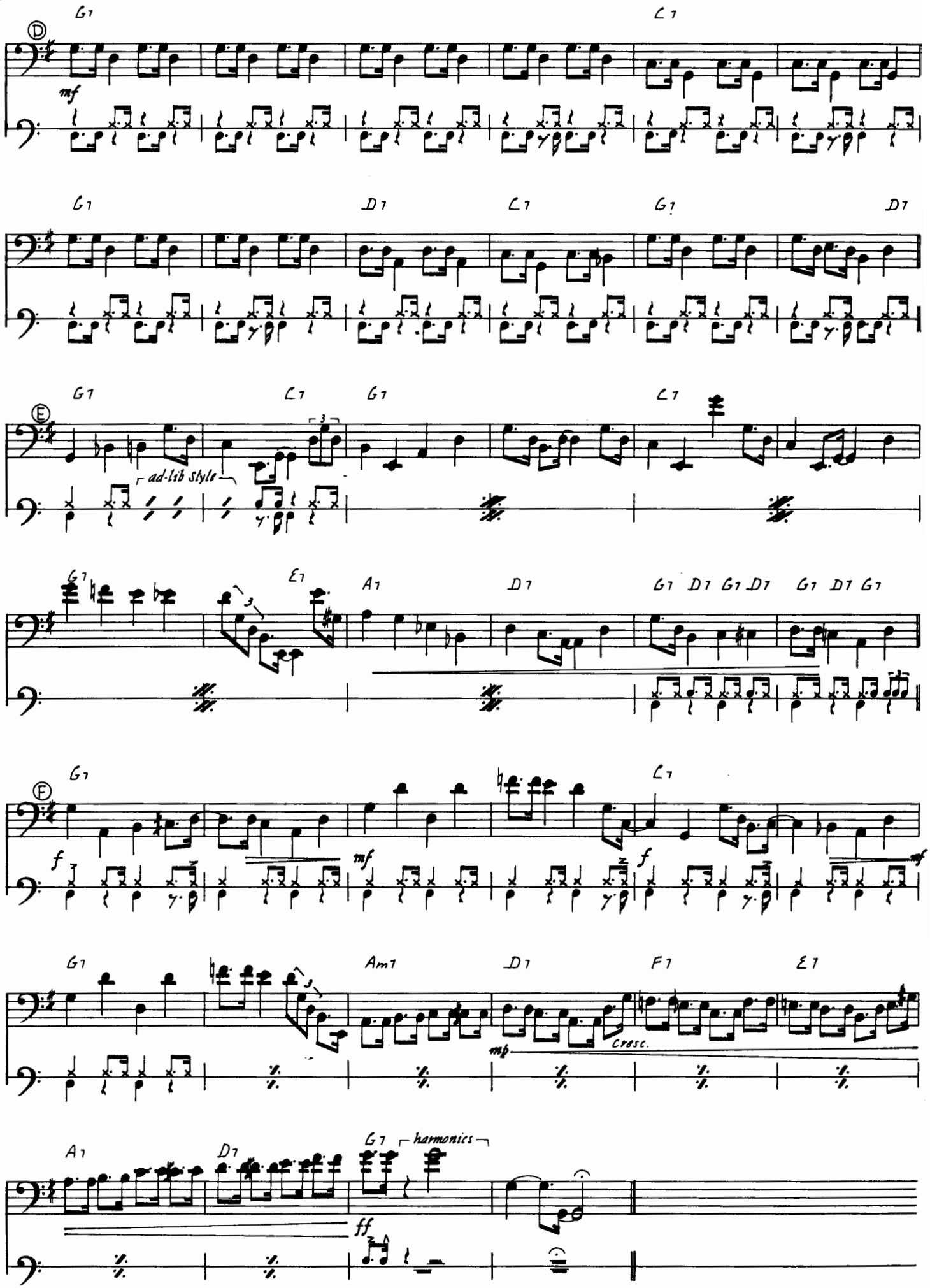

Cm7
F7(9)
Bm7
E7(9)
1.
8va unis
DM/Eb m
2.
8va unis
DM/Eb m
D
D7
D.S.
Coda
8va
A7
Bb7/D

NIGHT TRAIN

By Jimmy Forrest, Oscar Washington, Lewis Simpkins

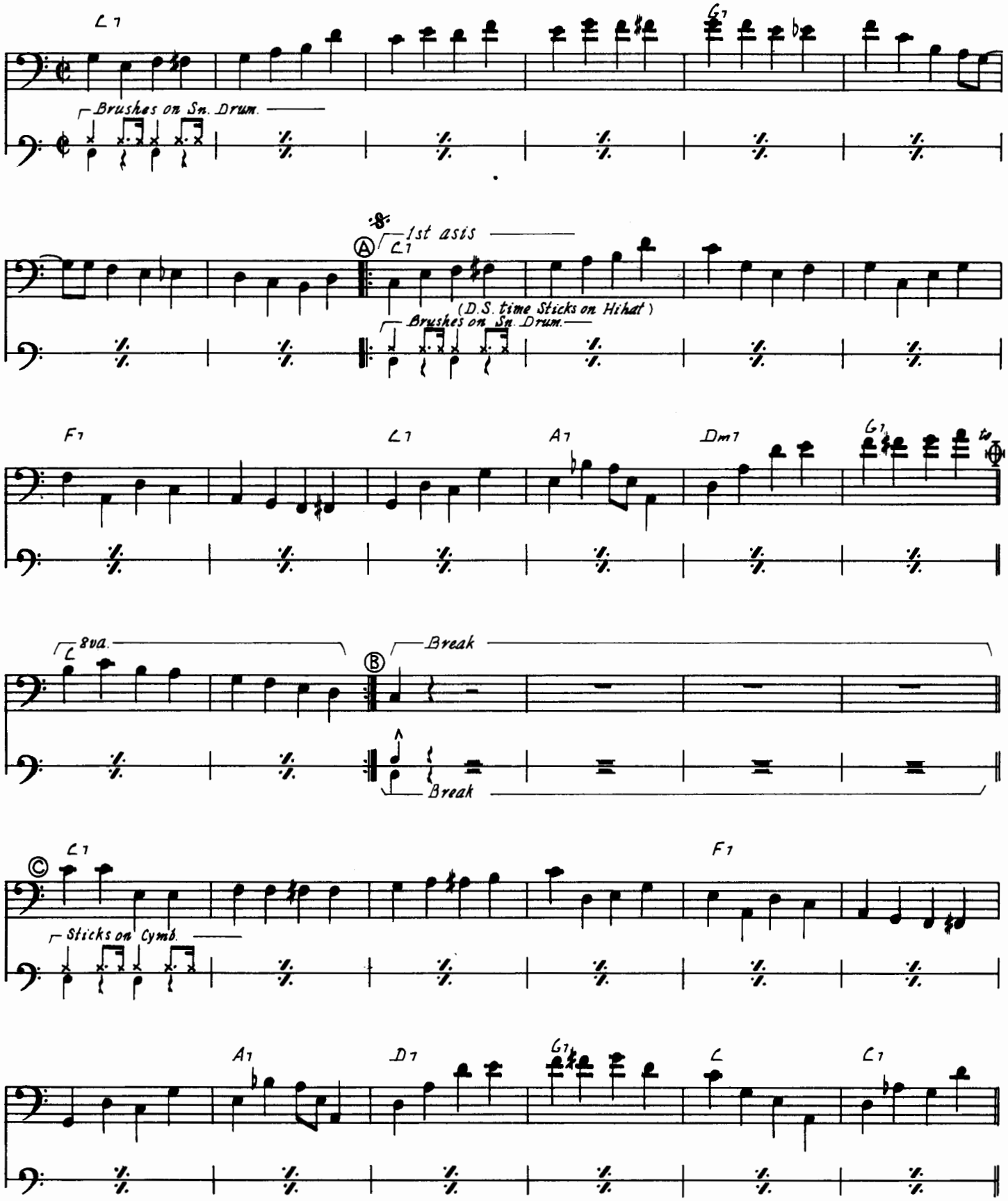


© Copyright 1952 by Pamlee Music Co.
All rights through out the World controlled by Frederick Music Co.
The rights for Japan assigned to Nichion, Inc.

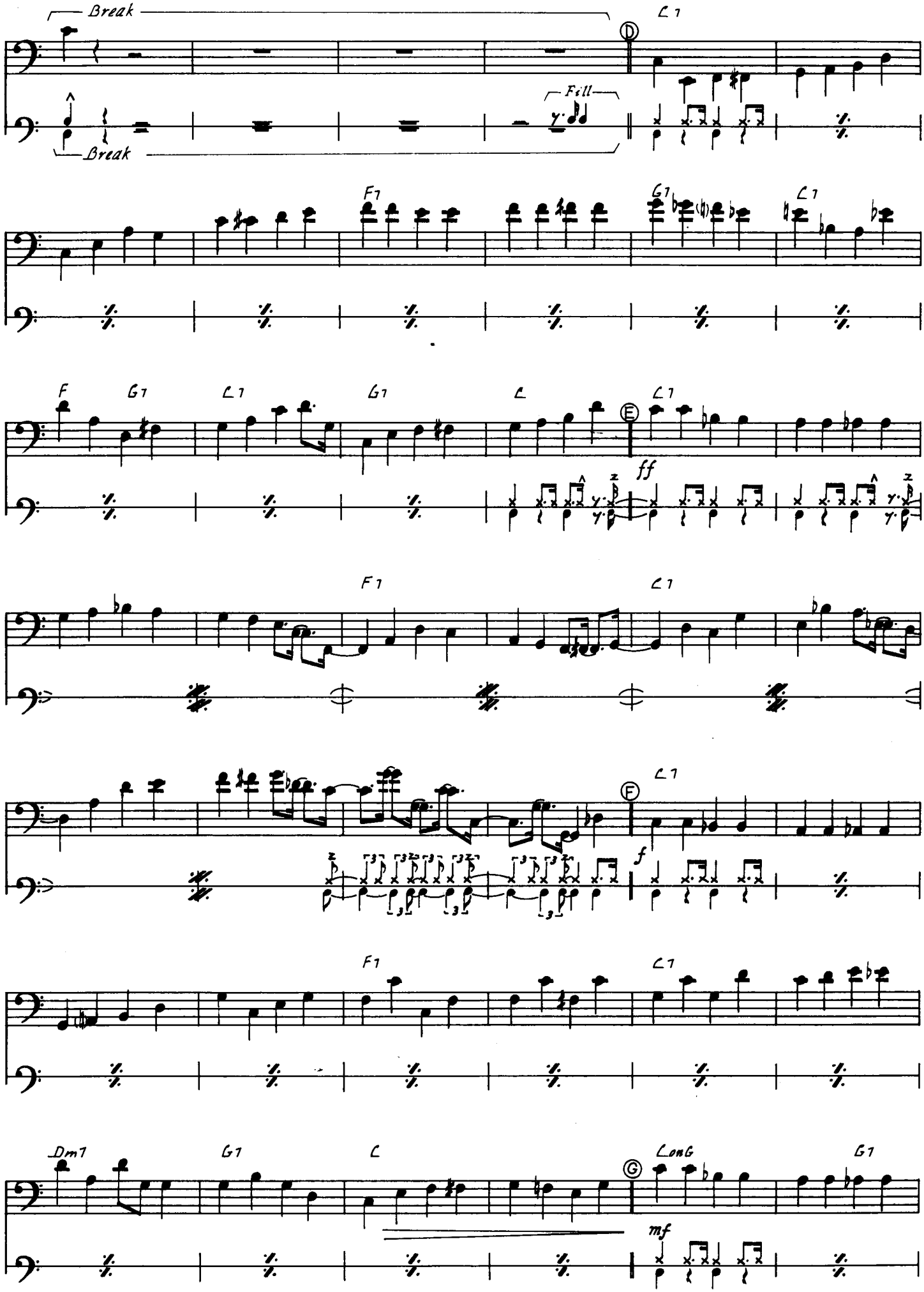

G7
C7
mf
D
G7
D7
C7
G7
D7
G7
C7
G7
C7
E
ad-lib style
3
G7
E7
A7
D7
G7 D7 G7 D7
G7 D7 G7
G7
C7
F
f
mf
f
mf
G7
Am7
D7
F7
E7
mp
cresc.
A7
D7
G7
harmonics
ff

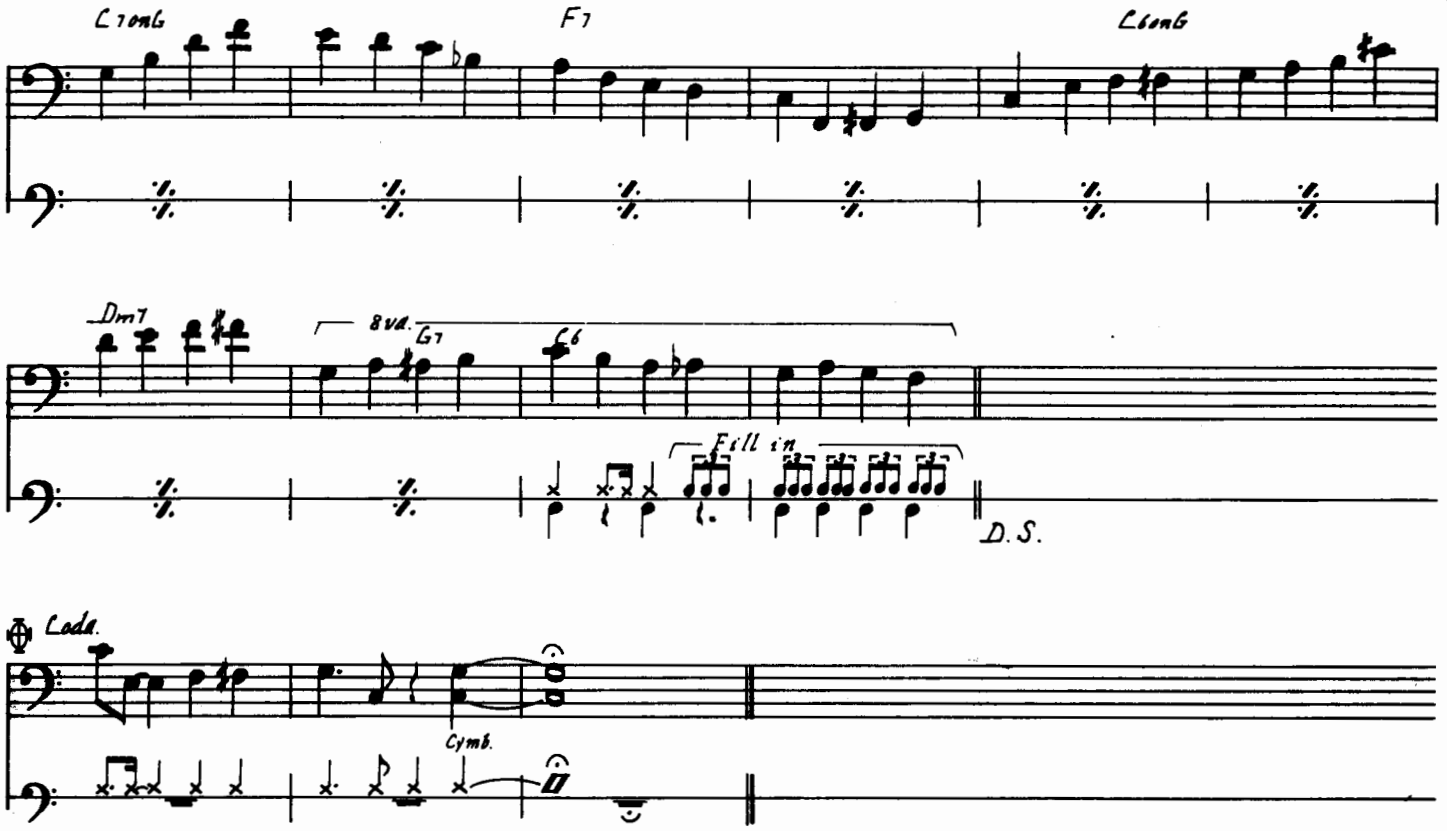
C JAM BLUES

By Duke Ellington



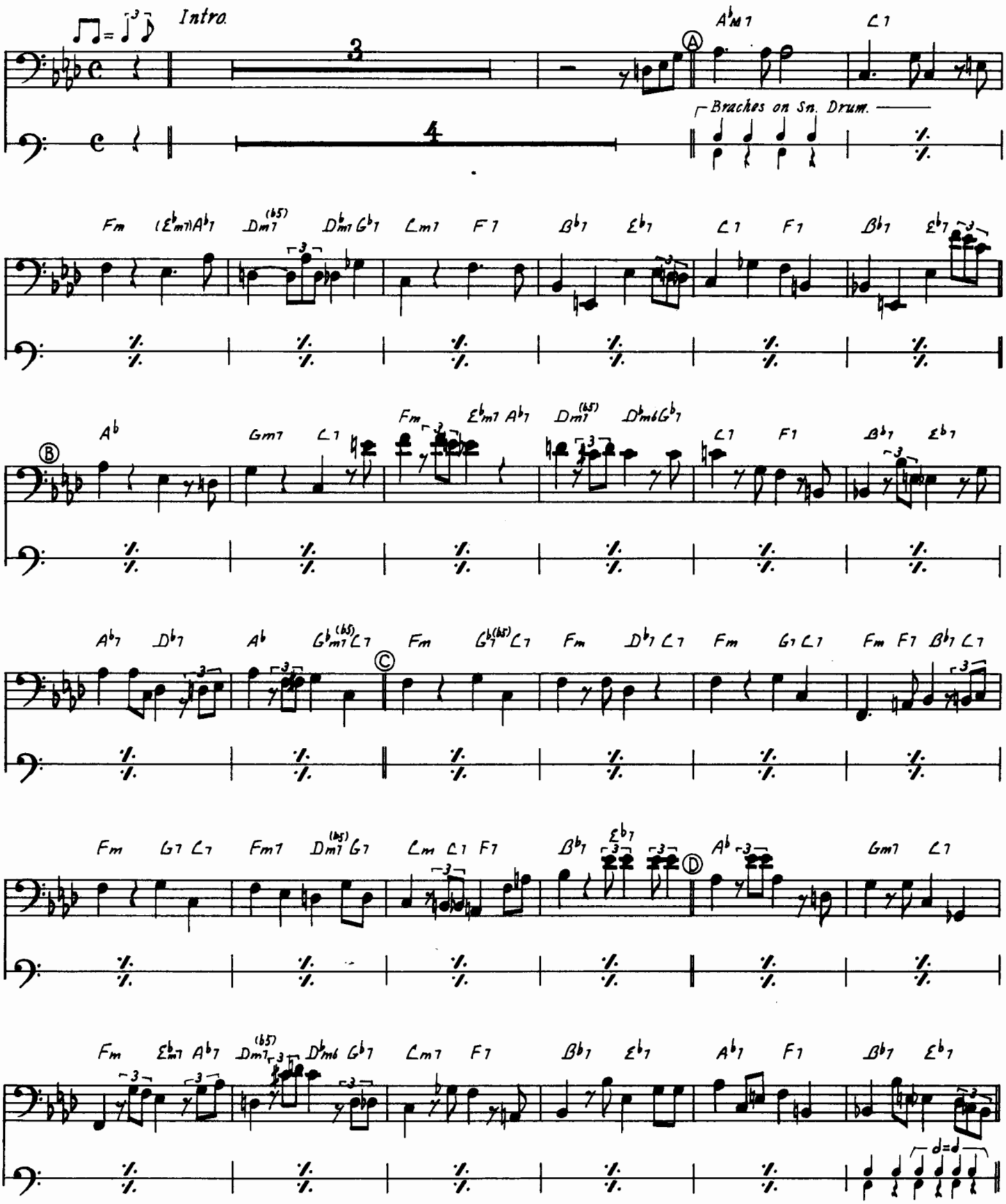
© Copyright 1942 by Robbins Music Corp.
Assigned for Japan to United Artist Music (Japan), Inc.


Break
C7
D
Fill
Break
F7
G7
C7
F
G7
C7
G7
C
C7
E
ff
F7
C7
C7
F
f
F7
C7
Dm7
G7
C
CmG
G7
G
mf

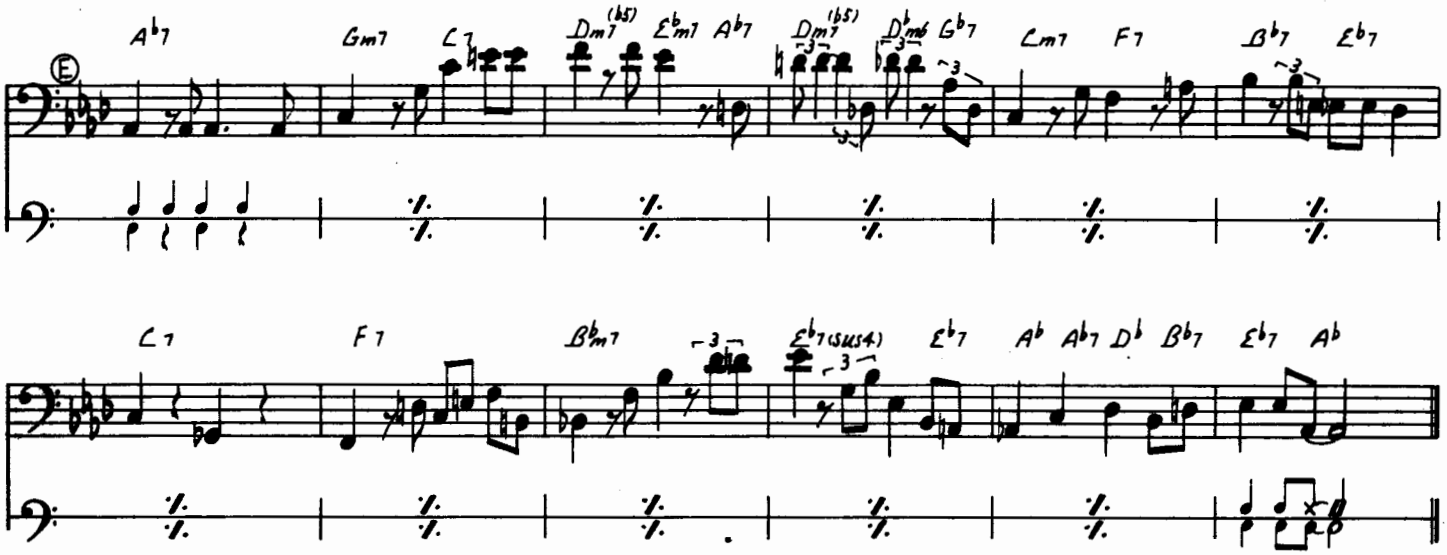

C7onG
F7
L6onG
Dm7
8va.
G7
C6
Fill in
D.S.
Coda
Cymb.

GEORGIA ON MY MIND

By Hoagy Carmichael, Stuart Gorrell



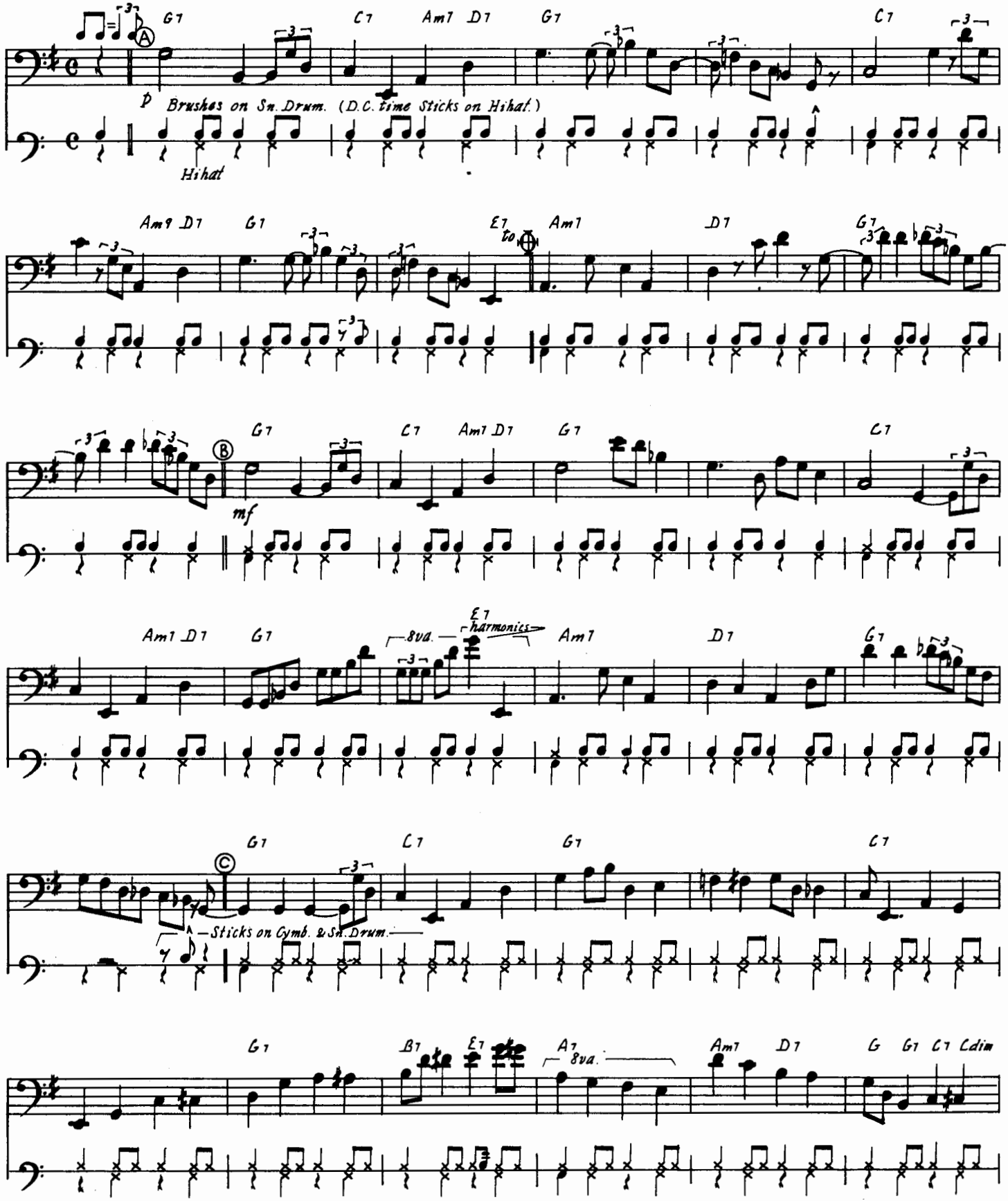
© Copyright 1930 by Peer International Corp.
Authorized Selling Agent in Japan, High Note Publishing Co., Ltd.


Ⓔ
A♭7
Gm7
C7
Dm7(b5)
E♭m7
A♭7
Dm7(b5)
D♭m6
G♭7
Cm7
F7
B♭7
E♭7

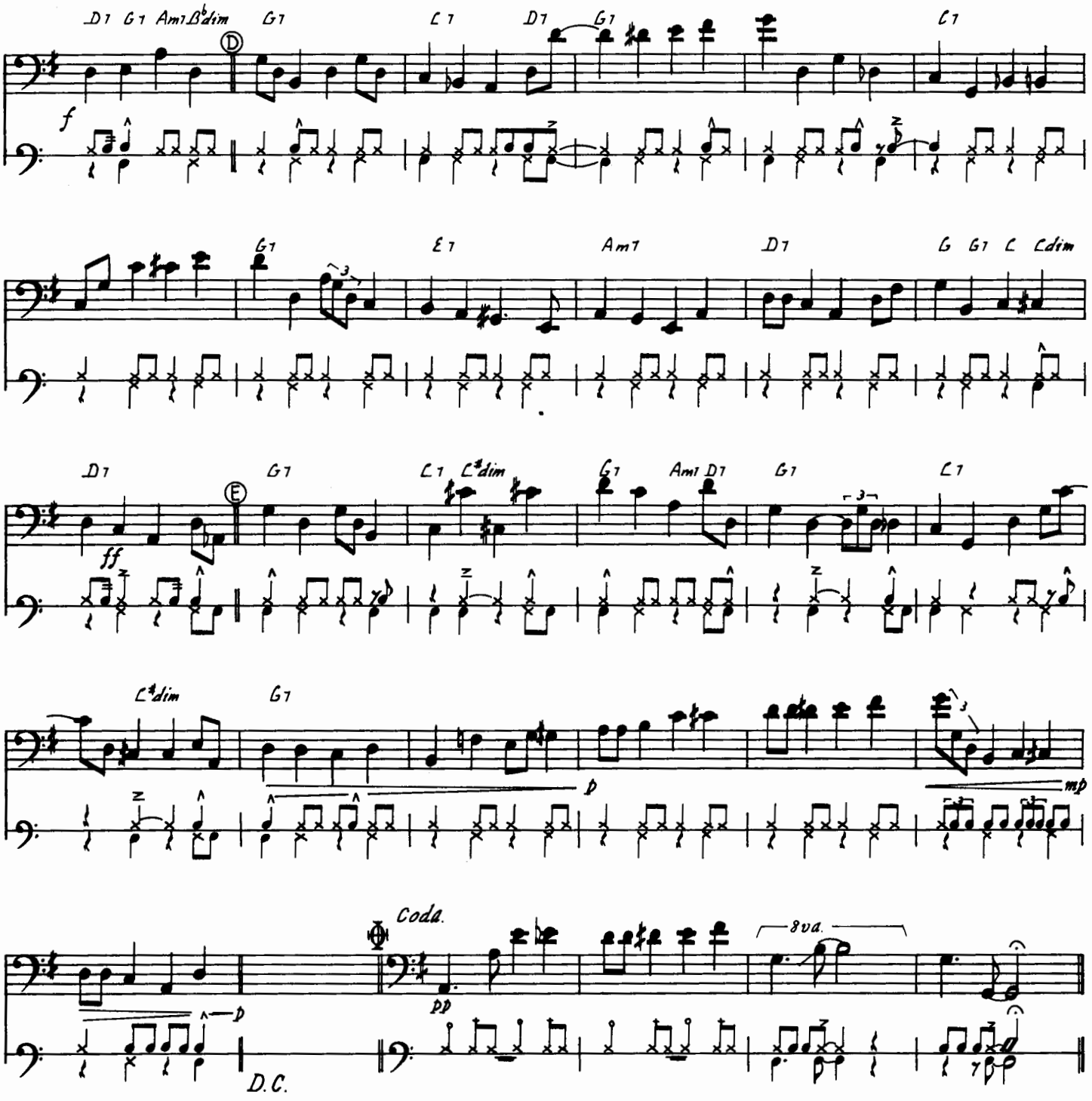
C7
F7
B♭m7
E♭7(sus4)
E♭7
A♭
A♭7
D♭
B♭7
E♭7
A♭

BAG'S GROOVE

By Milt Jackson

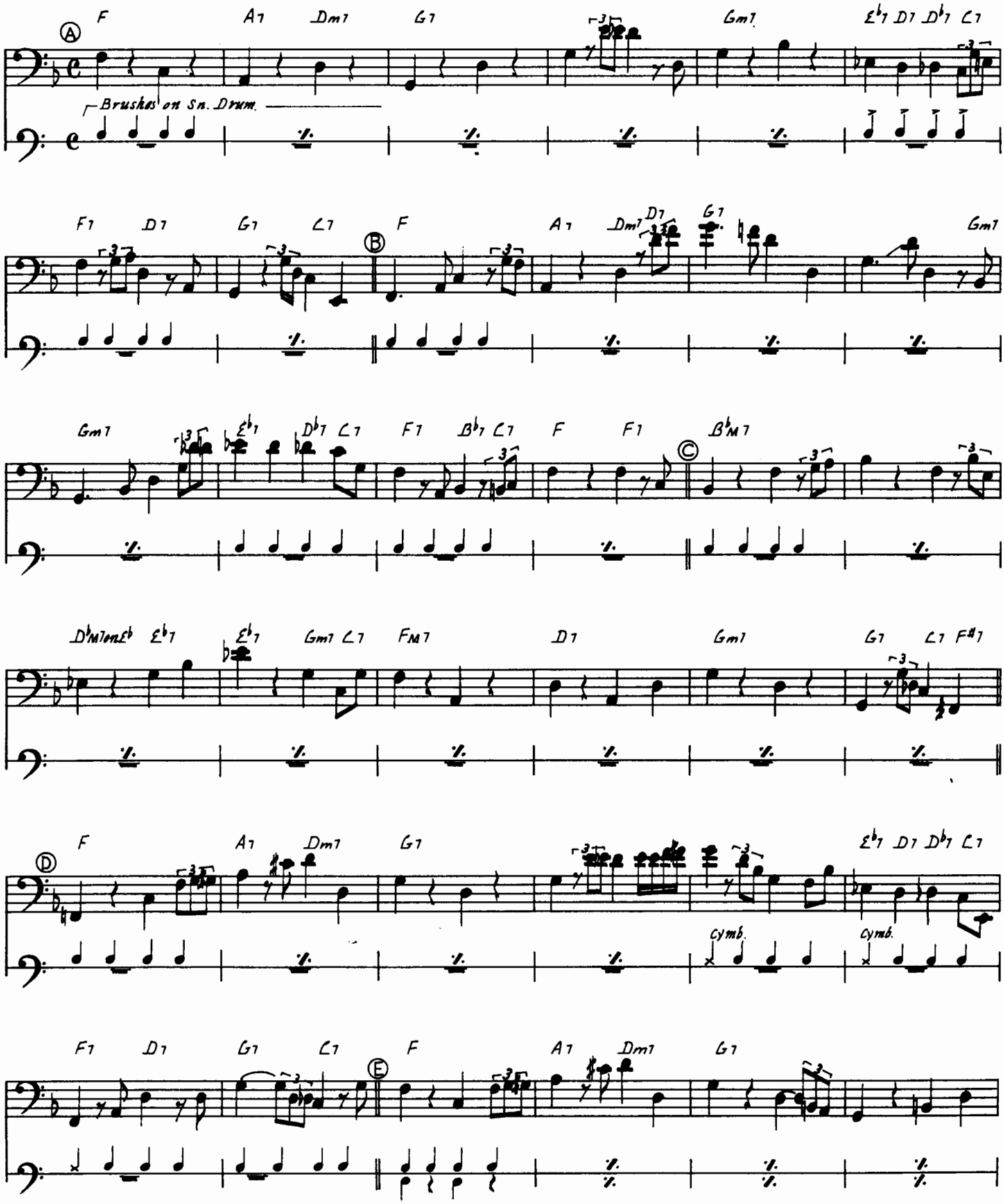


© Copyright 1954 by Wemar Music Corp. New York.
Rights for Japan assigned to Kogakusha Music Pub. Co., Ltd.

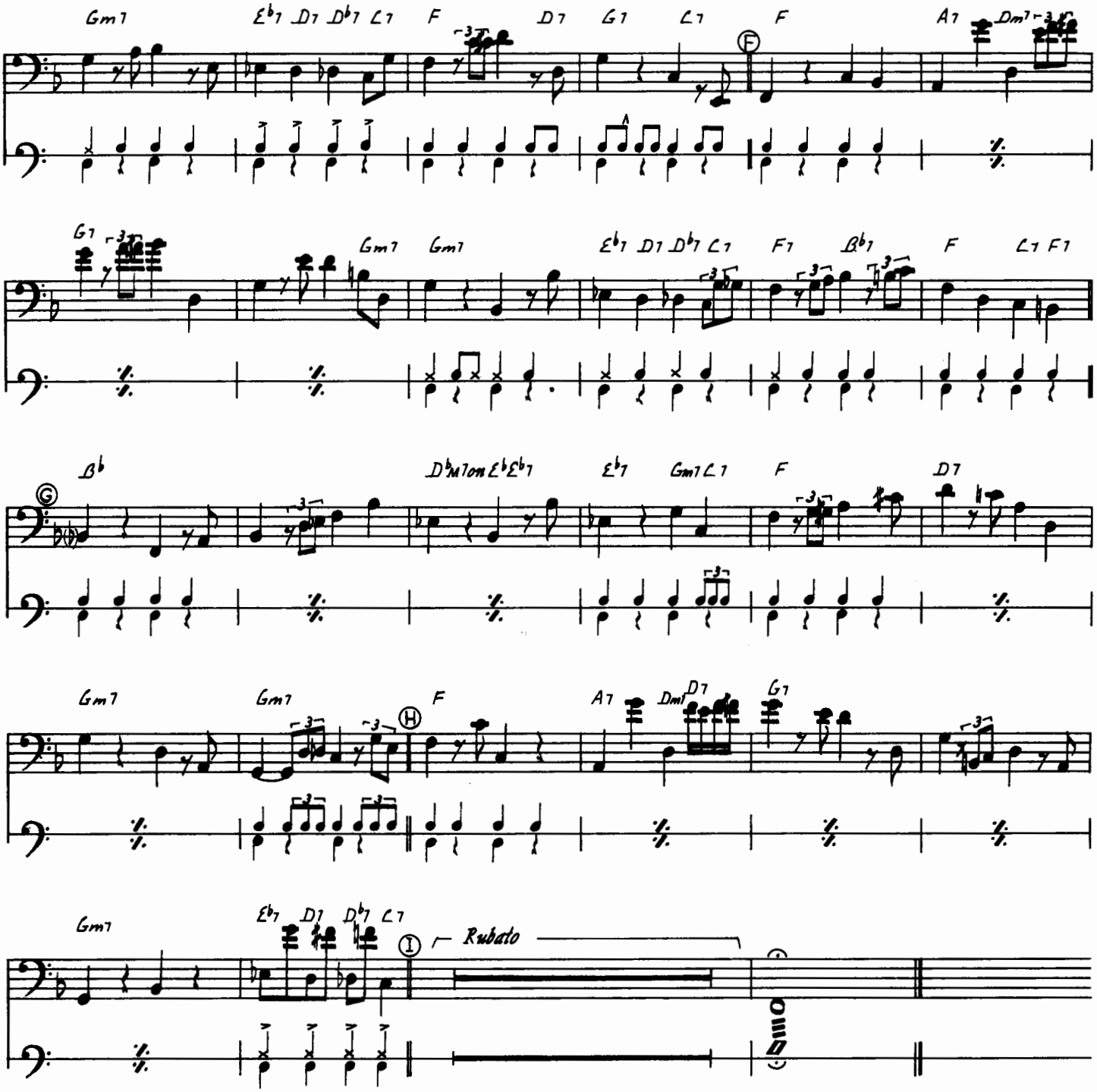

D7 G7 Am7 B♭dim G7 C7 D7 G7 C7
f
G7 E7 Am7 D7 G C G7 C Cdim
D7 G7 C7 C♯dim G7 Am7 D7 G7 C7
ff
C♯dim G7
p
mp
Coda.
8va.
pp
p
D.C.

I GOT IT BAD AND THAT AIN'T GOOD

By Duke Ellington, Paul Webster

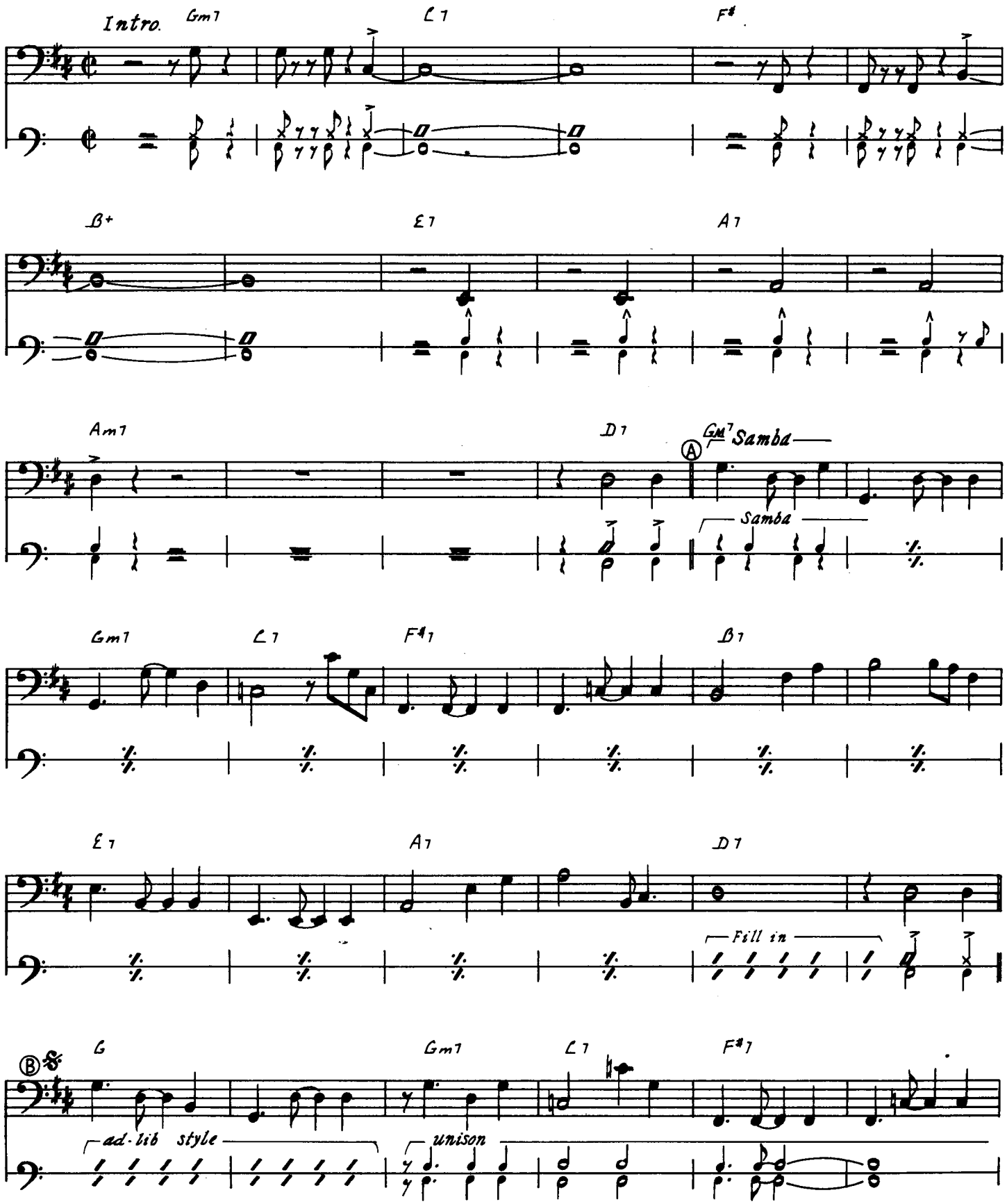


© Copyright 1941 by Robbins Music Corp.
Assigned for Japan to United Artist Music (Japan), Inc.

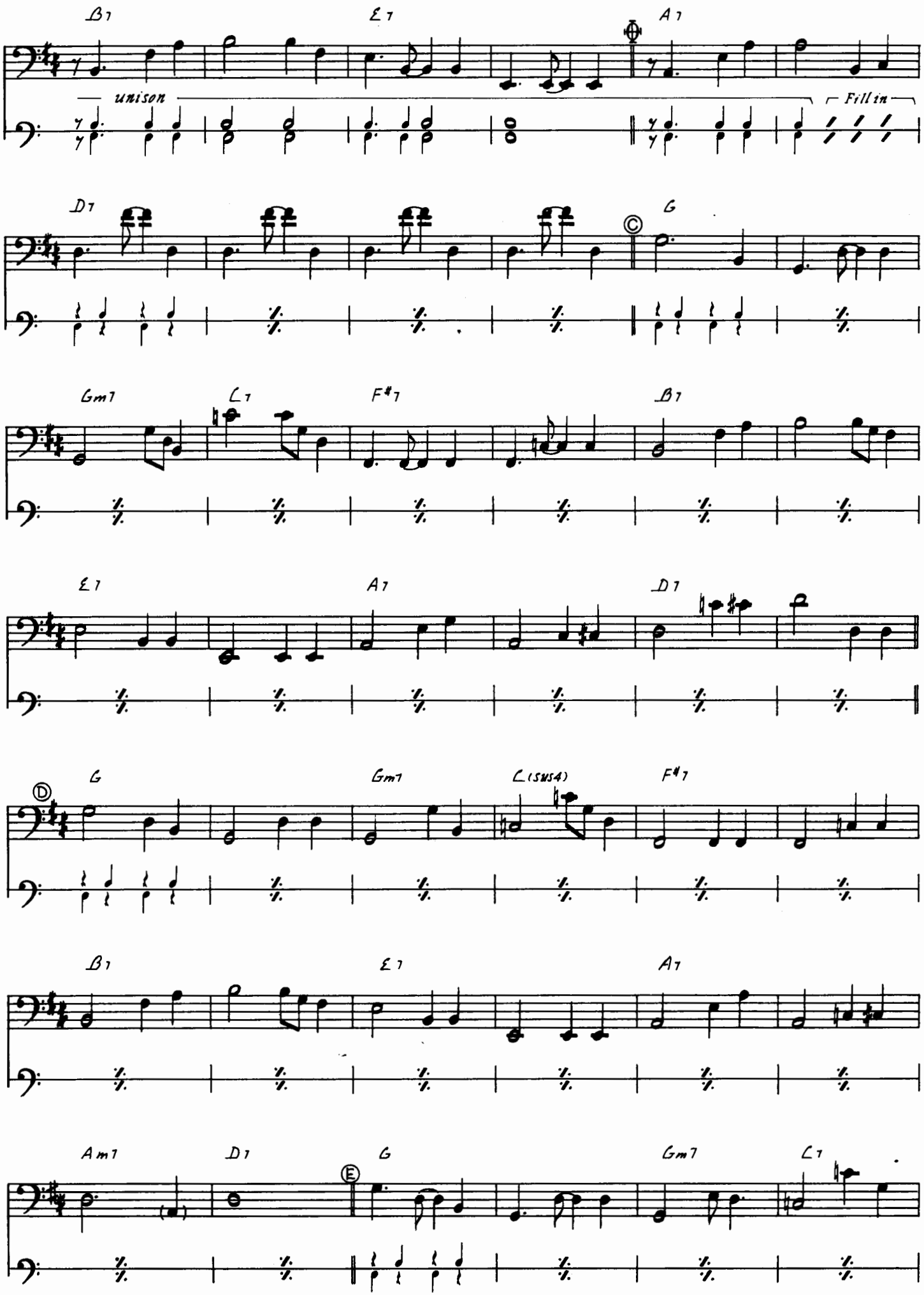

Gm7
Eb7 D7 Db7 C7
F
D7
G7
C7
F
A7
Dm7
G7
Gm7
Gm7
Eb7 D7 Db7 C7
F7
Bb7
F
C7 F7
Bb
Dbmaj7 Eb Eb7
Eb7
Gm7 C7
F
D7
Gm7
Gm7
F
A7
Dm7
D7
G7
Gm7
Eb7 D7 Db7 C7
Rubato

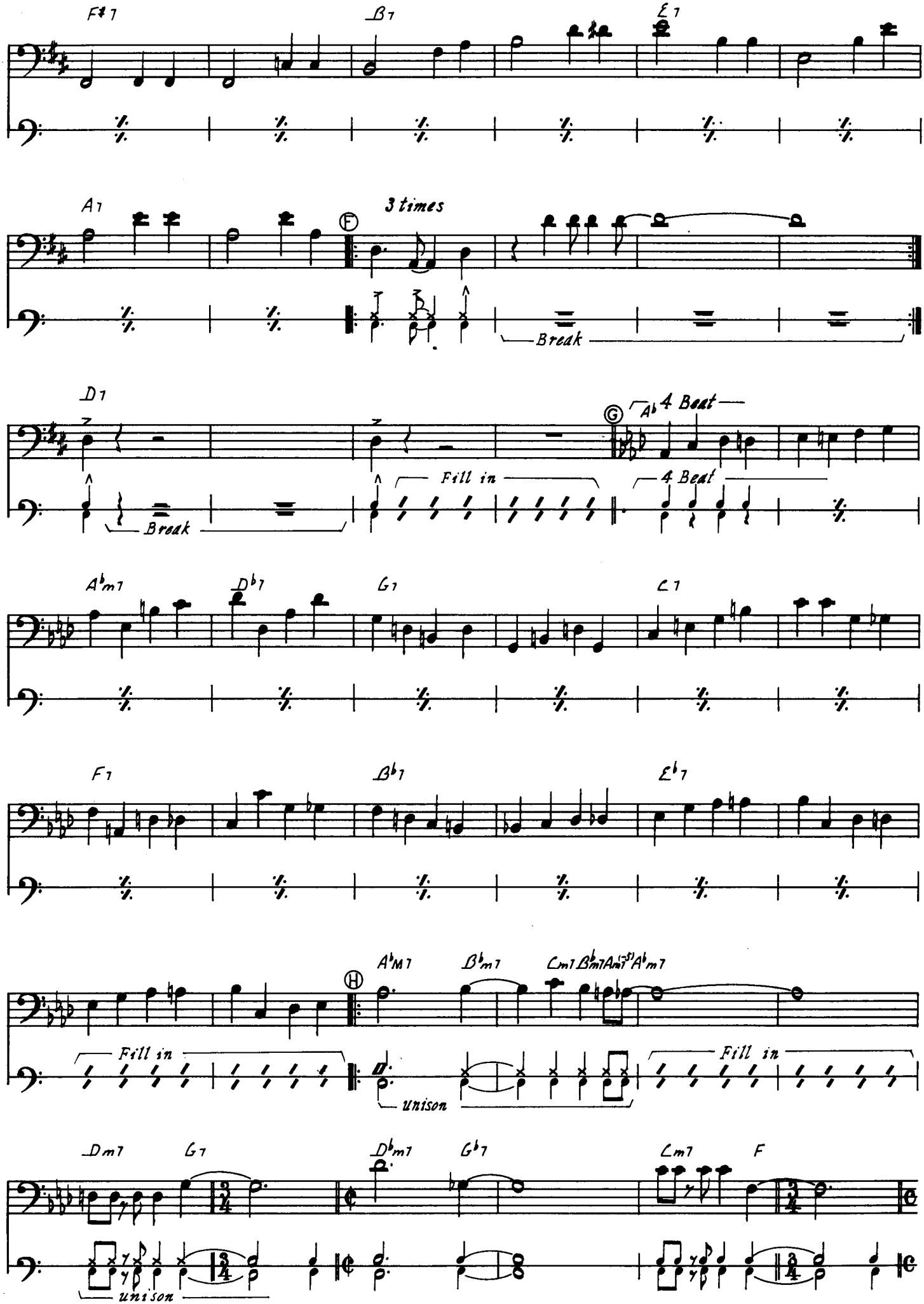
TRISTEZA

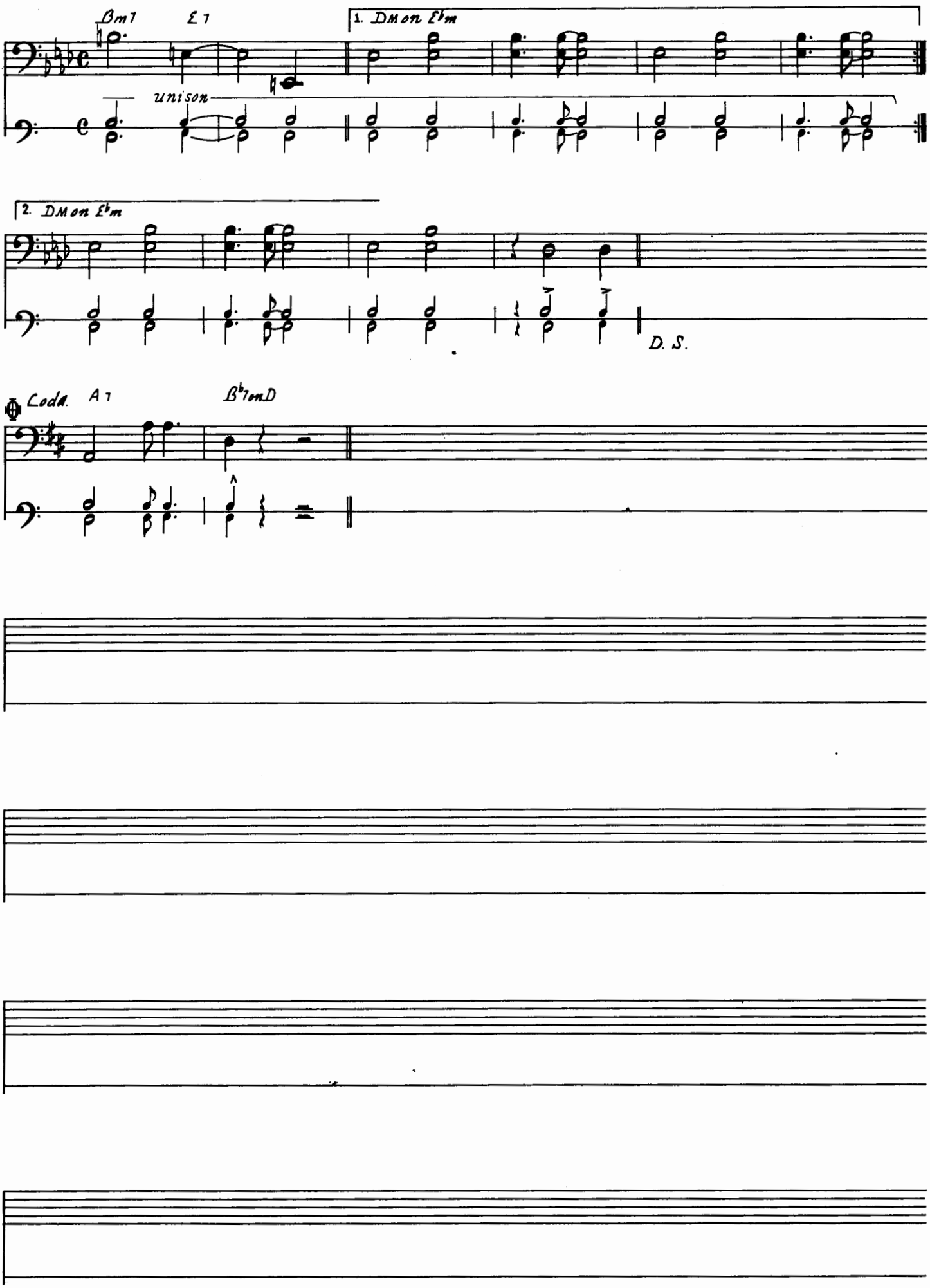
By Haroldo Lobo, Niltinho



© Copyright 1966 by Editora Arapua (Fermata Group) Sao Paulo.
© Copyright 1976 assigned for Japan to Nipo-Americana Music Pub. Co.


B♭7
E♭7
A7
unison
Fill in
D7
G
Gm7
C7
F#7
B♭7
E♭7
A7
D7
G
Gm7
C(SUS4)
F#7
B♭7
E♭7
A7
Am7
D7
G
Gm7
C7


F#7
B7
E7
A7
3 times
Break
D7
Ab
4 Beat
Fill in
Break
4 Beat
Abm7
Db7
G7
C7
F7
Bb7
Eb7
AbM7
Bbm7
Cm7 Bbm7 Am7(♭5) Abm7
Fill in
unison
Fill in
Dm7
G7
Dbm7
Gb7
Cm7
F
unison


Bm7
E7
1. DM on Eb m
unison
2. DM on Eb m
D. S.
Coda
A7
Bb7 on D